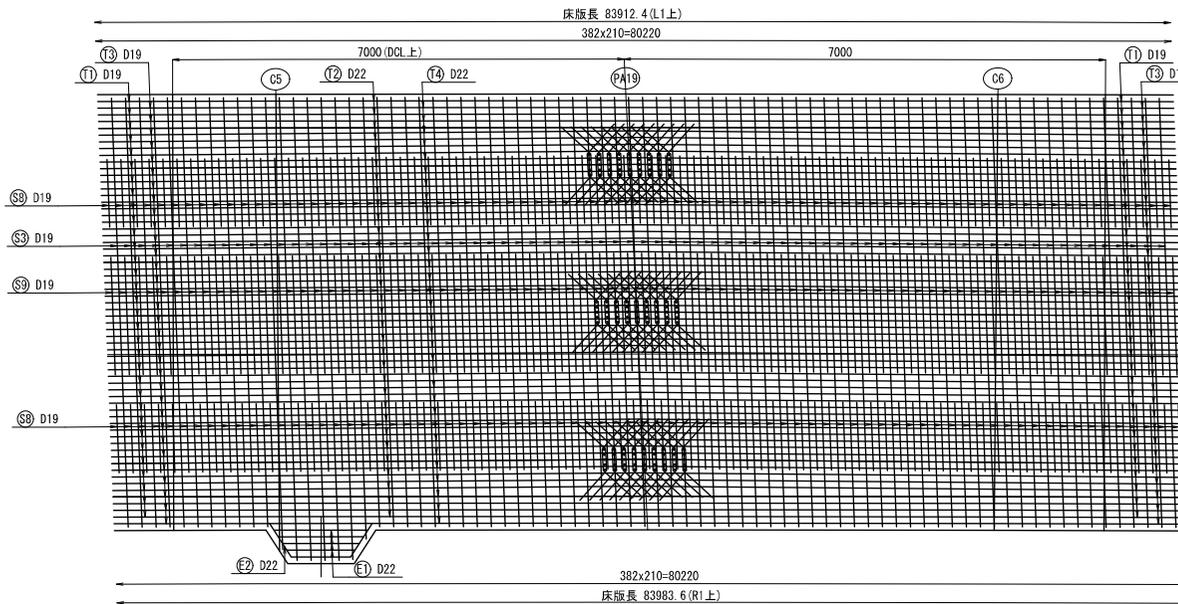
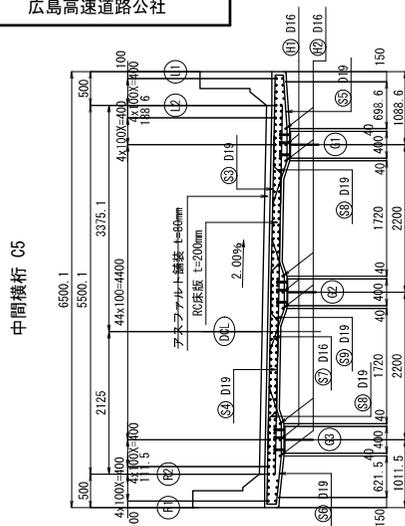


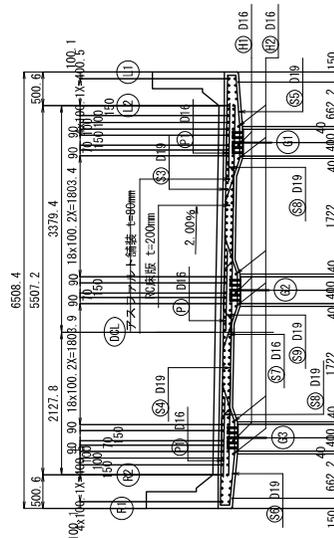
Dランプ第3橋 床版配筋図(その2) S=1:40

上面配筋

工事名	広島高速5号線品川CT橋上部工事(2工区)		
図面番号	47 / 97	縮尺	1/40
図名	Dランプ第3橋 床版配筋図(その2)	仕様	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

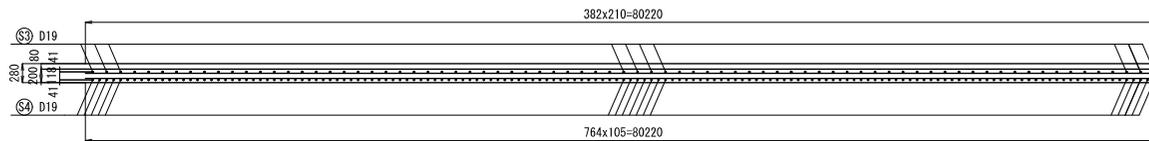
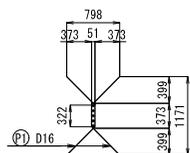


中間支点横桁 PA19



ジベル補強筋組合せ寸法

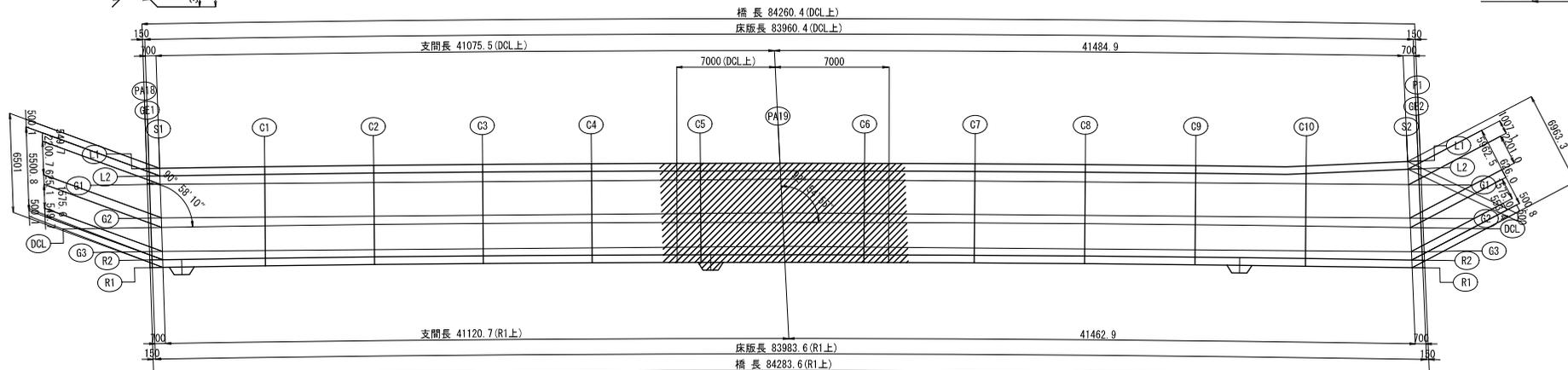
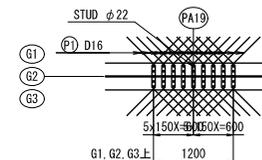
G1, G2, G3上



配置図 S=1:150

ジベル補強筋詳細

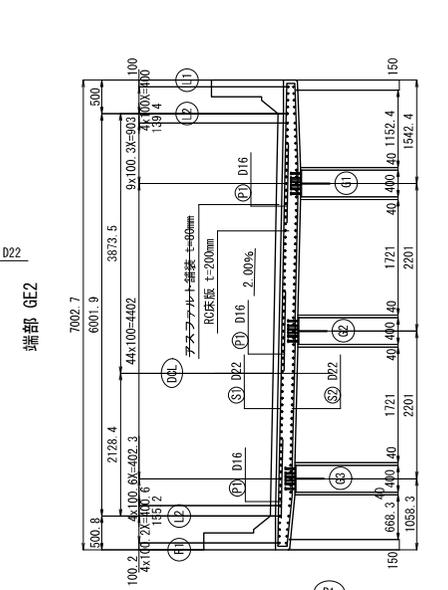
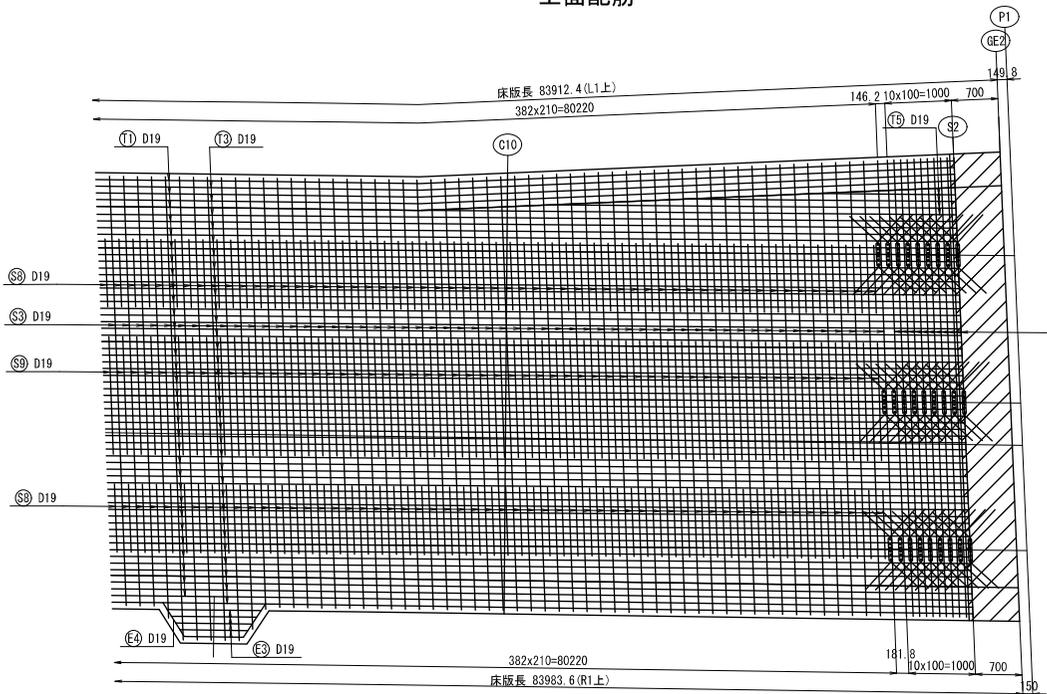
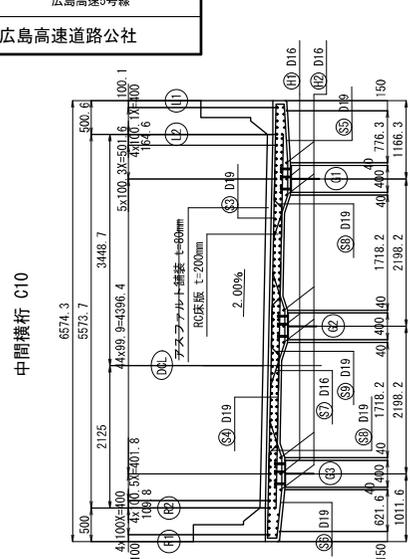
PA19側



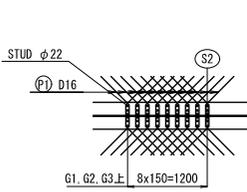
Dランプ第3橋 床版配筋図(その3) S=1:40

工事名	広島高速5号線品川CT橋上部工事(2工区)		
図面番号	48 / 97	縮尺	1/40
図名	Dランプ第3橋 床版配筋図(その3)	油断	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

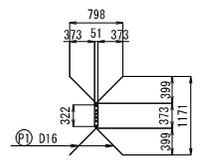
上面配筋



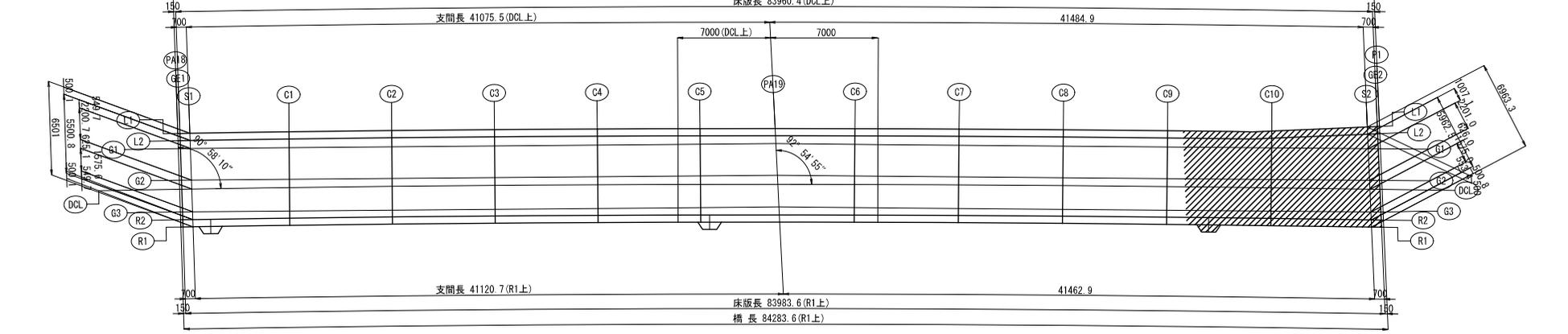
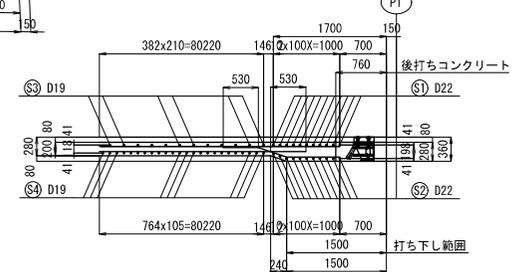
ジベル補強筋詳細 S2側



ジベル補強筋組合せ寸法 G1, G2, G3上



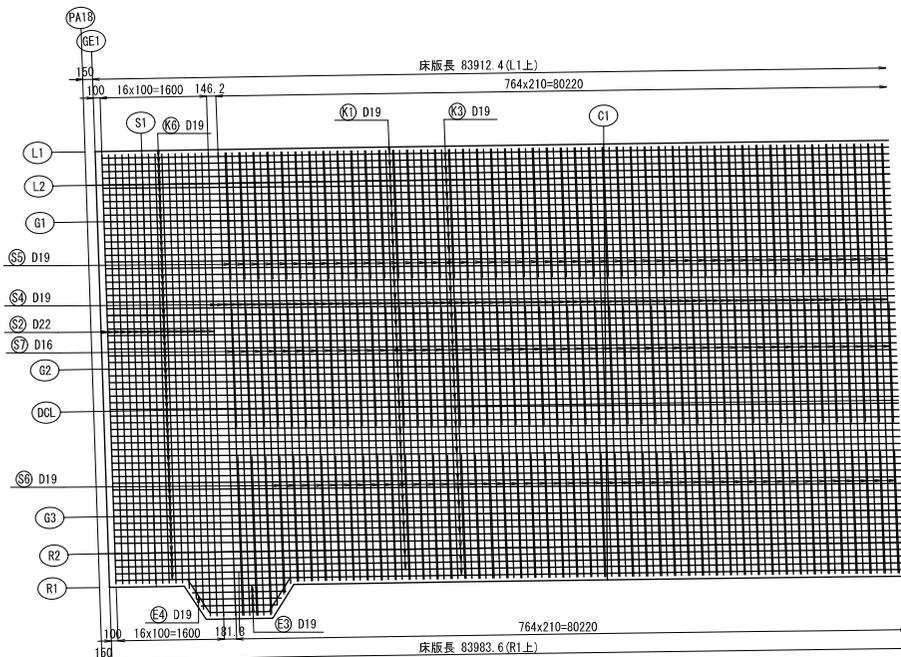
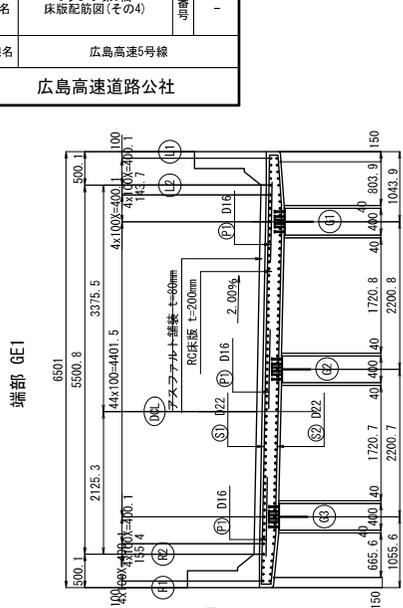
配置図 S=1:150



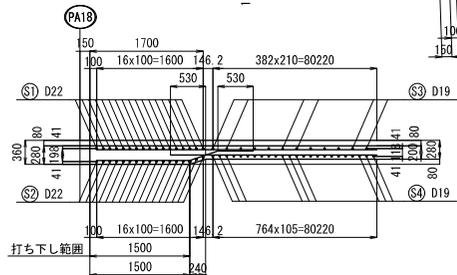
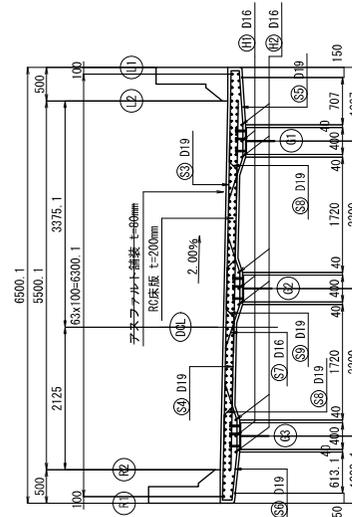
Dランプ第3橋 床版配筋図(その4) S=1:40

工事名	広島高速5号線道路JCT橋上部工事(2工区)		
図面番号	49	縮尺	1/40
図名	Dランプ第3橋 床版配筋図(その4)		
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

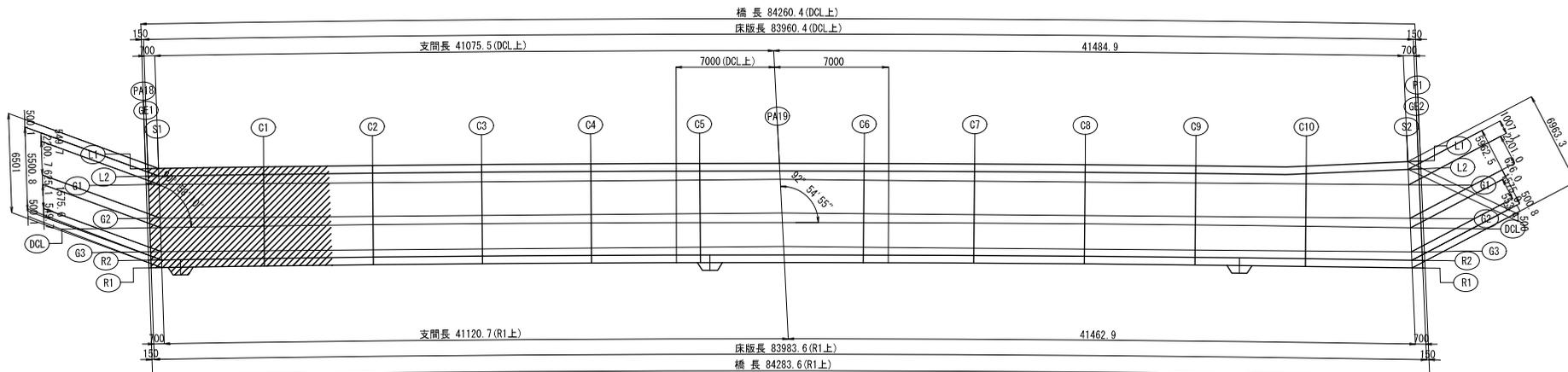
下面配筋



中間横桁 C1



配置図 S=1:150

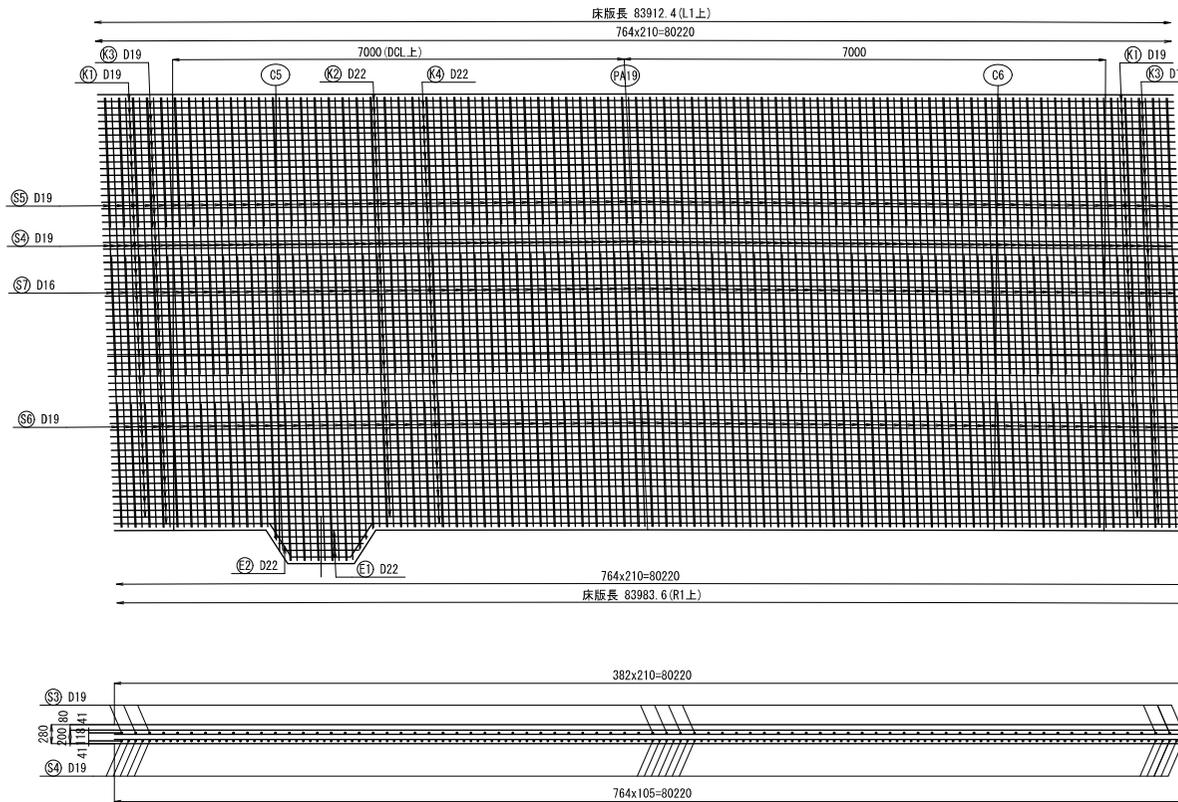
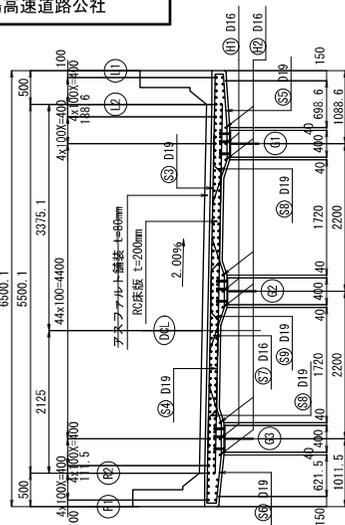


Dランプ第3橋 床版配筋図(その5) S=1:40

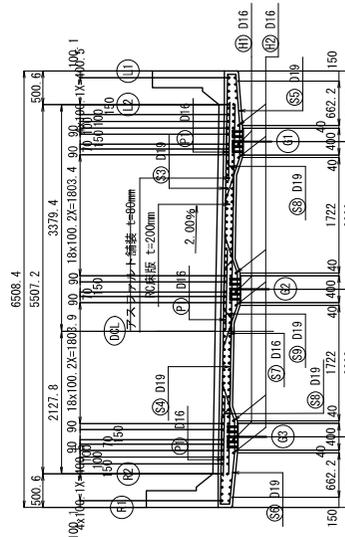
下面配筋

工事名	広島高速5号線道路JCT橋上工工事(2工区)		
図面番号	50 / 97	縮尺	1/40
図名	Dランプ第3橋 床版配筋図(その5)	仕様	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

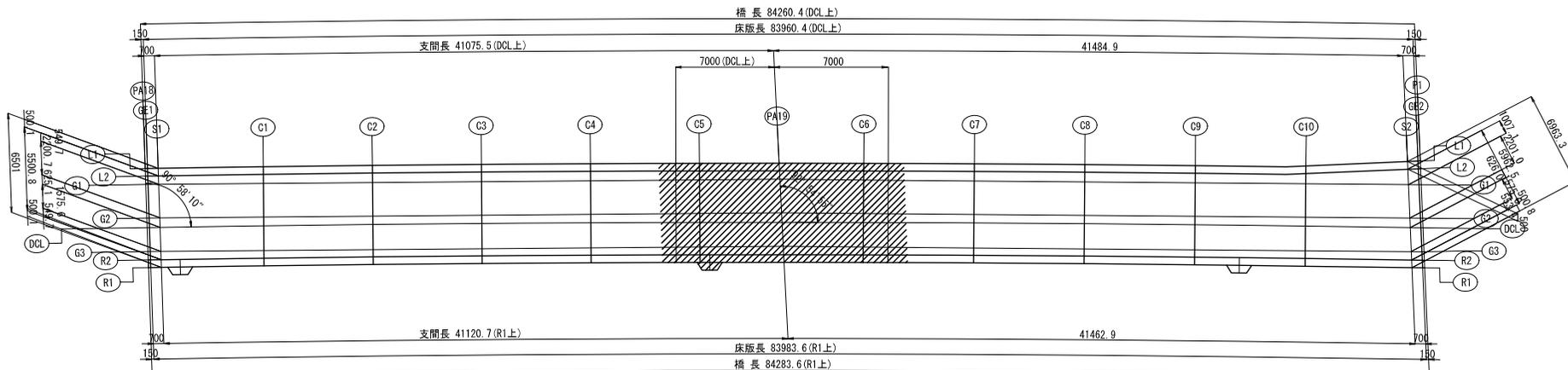
中間横桁 C5



中間支点横桁 PA19



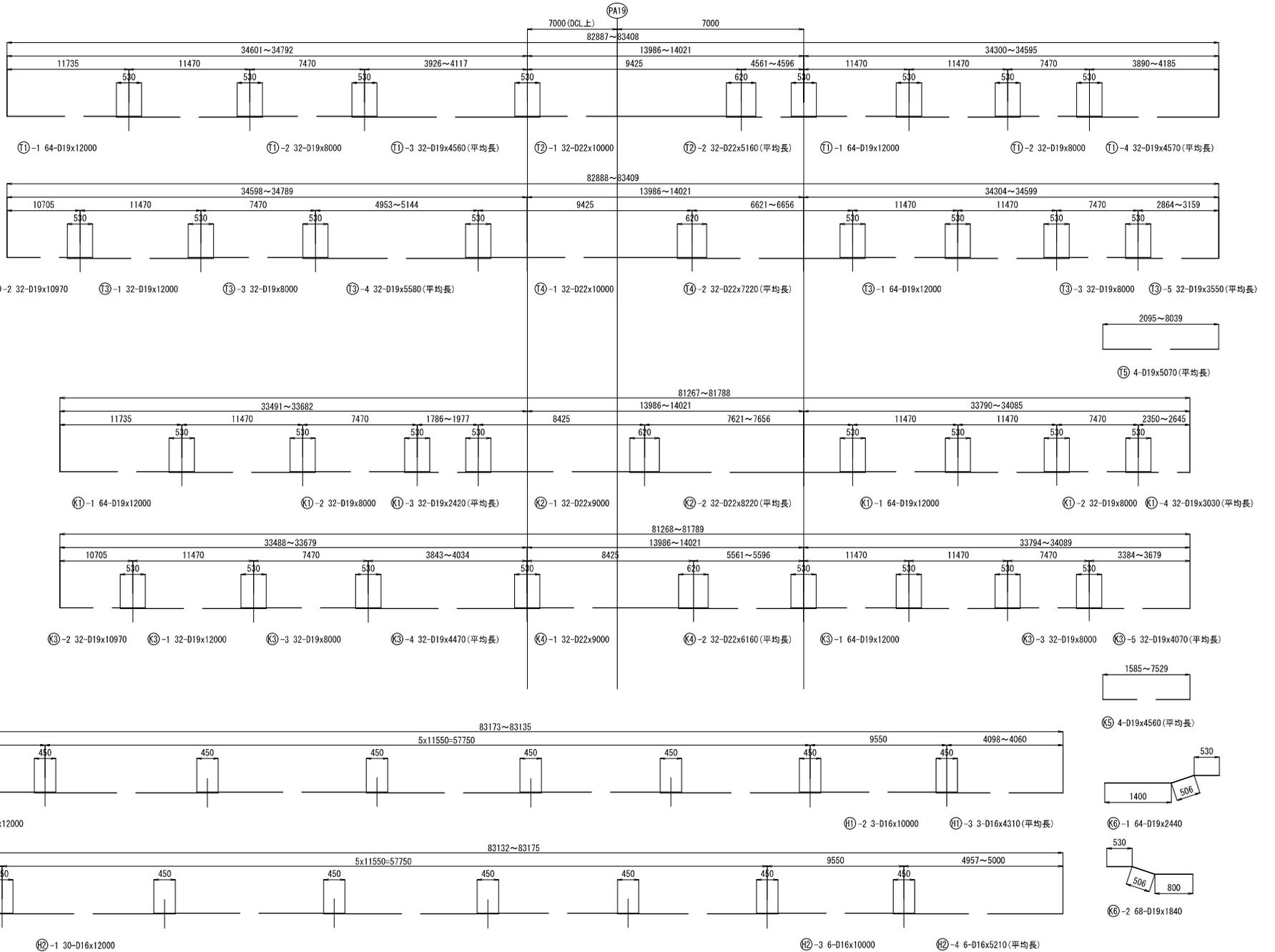
配置図 S=1:150



Dランプ第3橋 床版配筋図(その7)

S=1:40

工事名	広島高速5号線諸品JCT橋上部工事(2工区)			
図面番号	52 / 97	縮尺	1/40	
図名	Dランプ第3橋 床版配筋図(その7)		番号	-
路線名	広島高速5号線			
広島高速道路公社				

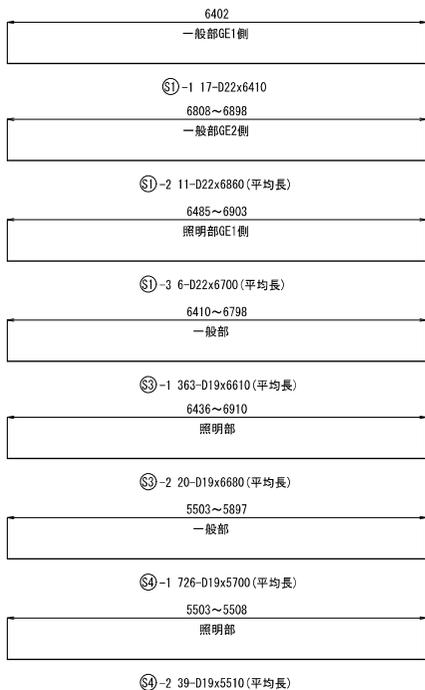
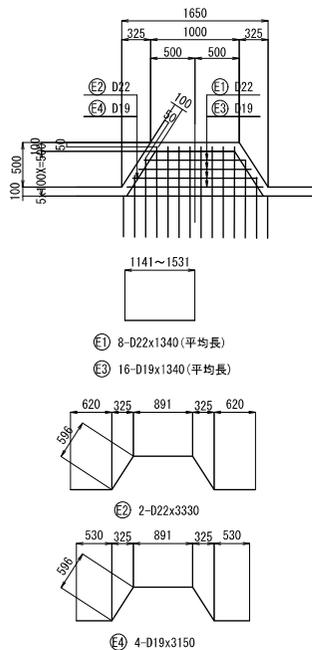


Dランプ第3橋 床版配筋図(その8)

S=1:40

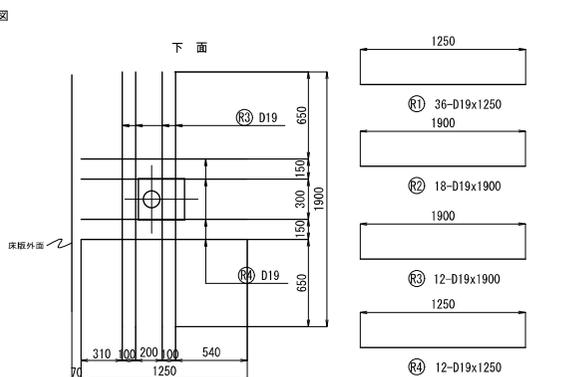
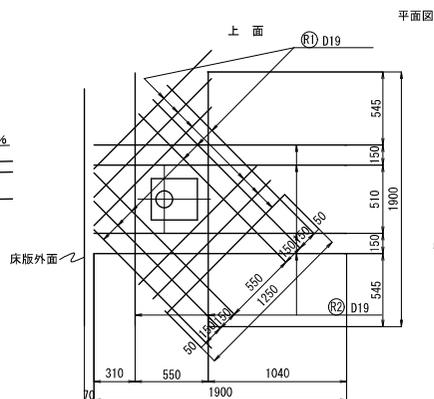
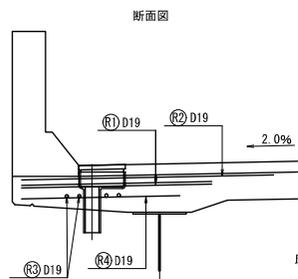
工事名	広島高速5号線道路JCT橋上部工事(2工区)		
図面番号	53 / 97	縮尺	1/40
図名	Dランプ第3橋 床版配筋図(その8)	番号	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

照明部詳細 S=1:30



排水樹部補強配筋図 S=1:20

3ヶ所

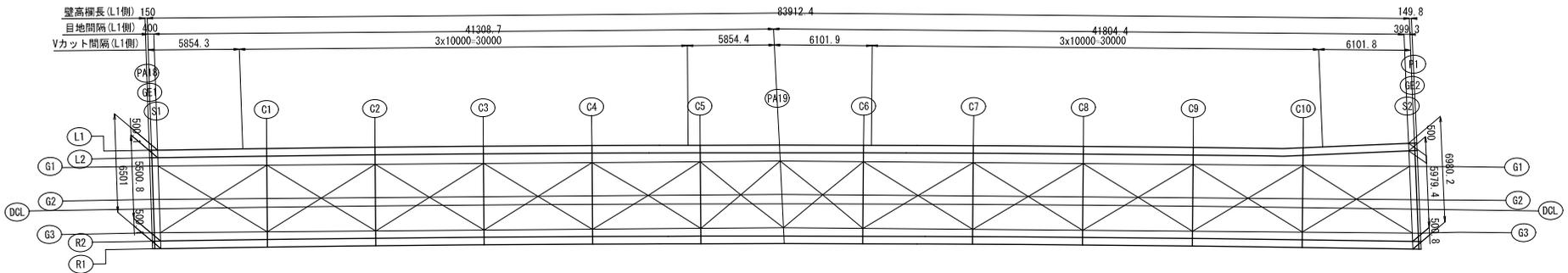
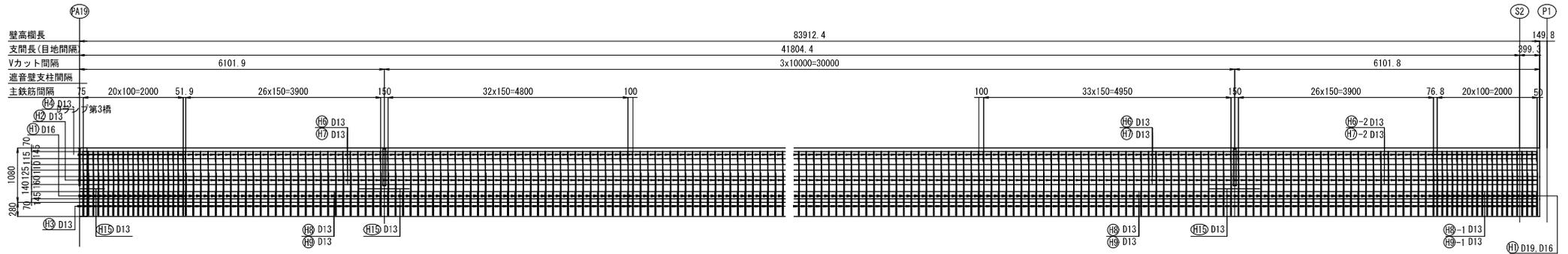
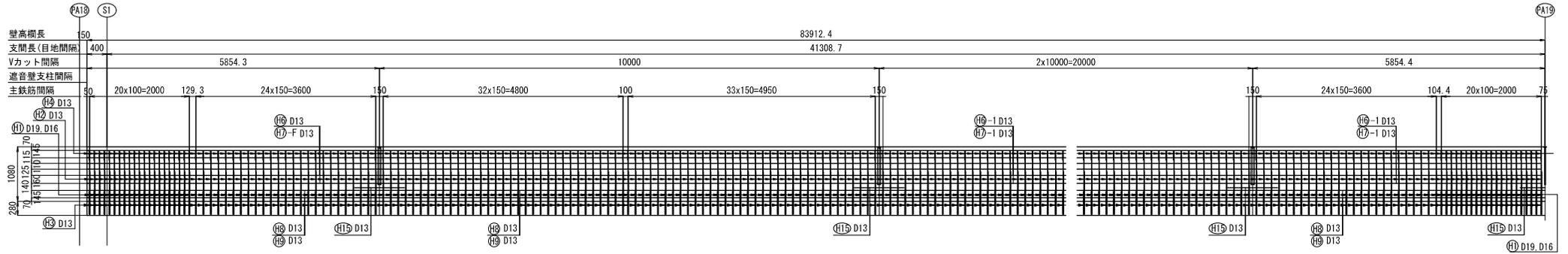


記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当質量	合計質量	形状	摘要
S1-1	D22	6410	17	3.04	19.49	331	—	
S1-2	D22	6860	11	3.04	20.85	229	—	平均長
S1-3	D22	6700	6	3.04	20.37	122	—	平均長
S2-1	D22	6680	17	3.04	20.31	345	—	
S2-2	D22	7130	11	3.04	21.68	238	—	平均長
S2-3	D22	6990	6	3.04	21.25	128	—	平均長
S3-1	D19	6610	363	2.25	14.87	5398	—	平均長
S3-2	D19	6680	20	2.25	15.03	301	—	平均長
S4-1	D19	5700	726	2.25	12.83	9315	—	平均長
S4-2	D19	5510	39	2.25	12.40	484	—	平均長
S5-1	D19	2260	364	2.25	5.09	1853	—	平均長
S5-2	D19	2100	18	2.25	4.73	85	—	平均長
S6-1	D19	1960	364	2.25	4.41	1605	—	平均長
S6-2	D19	2210	18	2.25	4.97	89	—	平均長
S7	D16	1740	382	1.56	2.71	1035	—	
S8	D19	1230	764	2.25	2.77	2116	—	
S9	D19	2020	382	2.25	4.55	1738	—	
T1-1	D19	12000	128	2.25	27.00	3456	—	
T1-2	D19	8000	64	2.25	18.00	1152	—	
T1-3	D19	4560	32	2.25	10.26	328	—	平均長
T1-4	D19	4570	32	2.25	10.28	329	—	平均長
T2-1	D22	10000	32	3.04	30.40	973	—	
T2-2	D22	5160	32	3.04	15.69	502	—	平均長
T3-1	D19	12000	96	2.25	27.00	2592	—	
T3-2	D19	10970	32	2.25	24.68	790	—	
T3-3	D19	8000	64	2.25	18.00	1152	—	
T3-4	D19	5580	32	2.25	12.56	402	—	平均長
T3-5	D19	3550	32	2.25	7.99	256	—	平均長
T4-1	D22	10000	32	3.04	30.40	973	—	
T4-2	D22	7220	32	3.04	21.95	702	—	平均長
T5	D19	5070	4	2.25	11.41	46	—	平均長
K1-1	D19	12000	128	2.25	27.00	3456	—	
K1-2	D19	8000	64	2.25	18.00	1152	—	
K1-3	D19	2420	32	2.25	5.45	174	—	平均長
K1-4	D19	3030	32	2.25	6.82	218	—	平均長
K2-1	D22	9000	32	3.04	27.36	876	—	
K2-2	D22	8220	32	3.04	24.99	800	—	平均長
K3-1	D19	12000	96	2.25	27.00	2592	—	
K3-2	D19	10970	32	2.25	24.68	790	—	
K3-3	D19	8000	64	2.25	18.00	1152	—	
K3-4	D19	4470	32	2.25	10.06	322	—	平均長
K3-5	D19	4070	32	2.25	9.16	293	—	平均長
K4-1	D22	9000	32	3.04	27.36	876	—	
K4-2	D22	6160	32	3.04	18.73	599	—	平均長
K5	D19	4560	4	2.25	10.26	41	—	平均長
K6-1	D19	2440	64	2.25	5.49	351	—	
K6-2	D19	1840	68	2.25	4.14	282	—	
H1-1	D16	12000	18	1.56	18.72	337	—	
H1-2	D16	10000	3	1.56	15.60	47	—	
H1-3	D16	4310	3	1.56	6.72	20	—	平均長
H2-1	D16	12000	30	1.56	18.72	562	—	
H2-2	D16	11100	6	1.56	17.32	104	—	
H2-3	D16	10000	6	1.56	15.60	94	—	
H2-4	D16	5210	6	1.56	8.13	49	—	平均長
P1	D16	1530	168	1.56	2.39	402	—	
R1	D19	1250	36	2.25	2.81	101	—	
R2	D19	1900	18	2.25	4.28	77	—	
R3	D19	1900	12	2.25	4.28	51	—	
R4	D19	1250	12	2.25	2.81	34	—	
E1	D22	1340	8	3.04	4.07	33	—	平均長
E2	D22	3330	2	3.04	10.12	20	—	
E3	D19	1340	16	2.25	3.02	48	—	平均長
E4	D19	3150	4	2.25	7.09	28	—	
55046 kg								
D22 7747 kg								
D19 44649 kg								
D16 2650 kg								
SD345 合計 55046 kg								
アスファルト舗装面積 (t=80mm) 463.9 m ²								
コンクリート体積 (床版・ハンチ)(σck=30N/mm ²) 130.2 m ³								
型枠面積 (床版・ハンチ) 490.3 m ²								

Dランプ第3橋 壁高欄配筋図(その1) S=1:40

L側

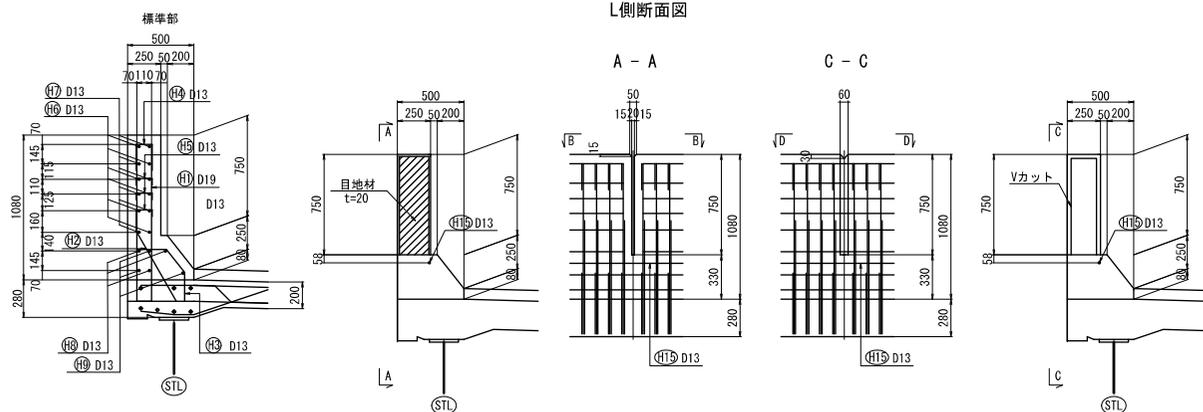
工事名	広島高速5号線品川CT側上部工事(2工区)		
図面番号	54 / 97	縮尺	1/40
図名	Dランプ第3橋 壁高欄配筋図(その1)	番	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			



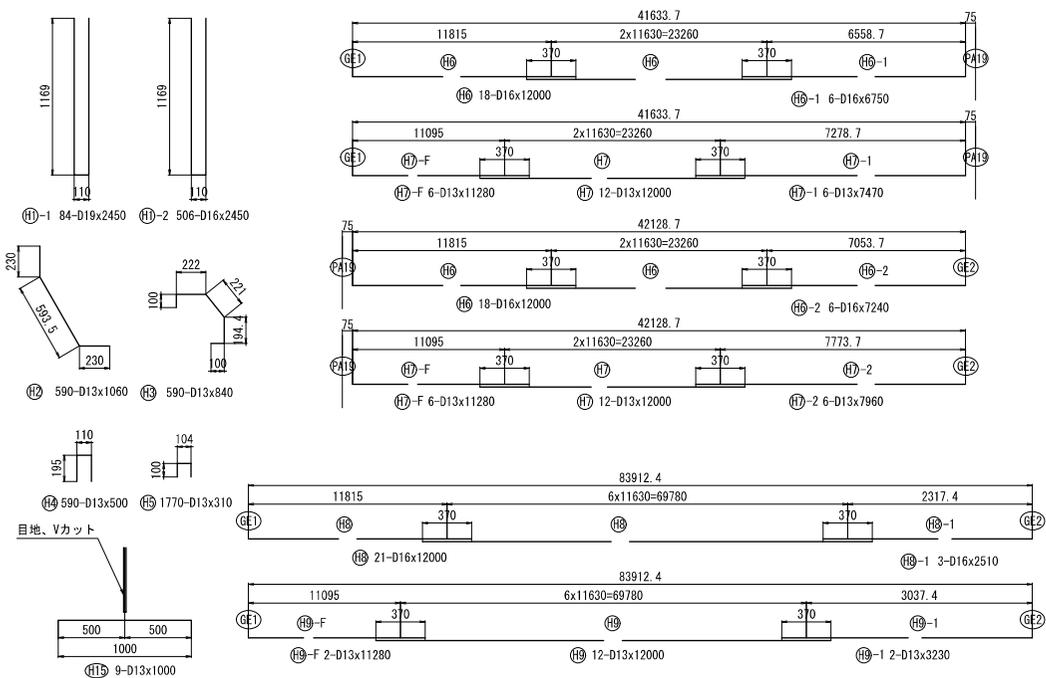
Dランプ第3橋 壁高欄配筋図(その2)

S=1:20

工事名	広島高速5号線道路JCT橋上部分工事(2工区)		
図面番号	55 / 97	縮尺	1/20
図名	Dランプ第3橋 壁高欄配筋図(その2)		仕様 -
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			



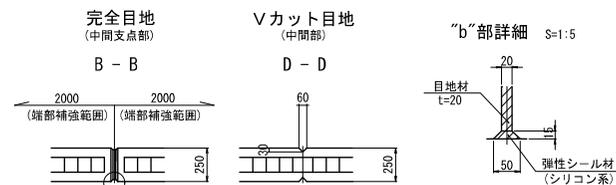
L側鉄筋加工



鉄筋表(L1側壁高欄工鉄筋重量)

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量(kg)	摘要
H1-1	D19	2450	42	2.25	5.51	231	∩
H1-2	D16	2450	548	1.56	3.82	2093	∩
H2	D13	1060	590	0.995	1.05	620	∩
H3	D13	840	590	0.995	0.84	496	∩
H4	D13	500	590	0.995	0.50	295	∩
H5	D13	310	1770	0.995	0.31	549	∩
H6	D16	12000	36	1.56	18.72	674	—
H6-1	D16	6750	6	1.56	10.53	63	—
H6-2	D16	7240	6	1.56	11.29	68	—
H7	D16	12000	24	1.56	18.72	449	—
H7-F	D16	11280	12	1.56	17.60	211	—
H7-1	D16	7470	6	1.56	11.65	70	—
H7-2	D16	7960	6	1.560	12.42	75	—
H8	D16	12000	21	1.56	18.72	393	—
H8-1	D16	2510	3	1.560	3.92	12	—
H9	D16	12000	12	1.560	18.72	225	—
H9-F	D16	11280	2	1.560	17.60	35	—
H9-1	D16	3230	2	1.560	5.04	10	—
H15	D13	1000	9	0.995	1.00	9	—
合計						6578	kg
鉄筋質量				SD345	D19	231	kg
					D16	4378	kg
					D13	1969	kg
合計						6578	kg
コンクリート体積				$\sigma_{ck}=30N/mm^2$		111.60	m ³
型枠面積						205.59	m ²
伸縮目地面積						1.50	m ²
弾性シール材体積						0.02	m ³

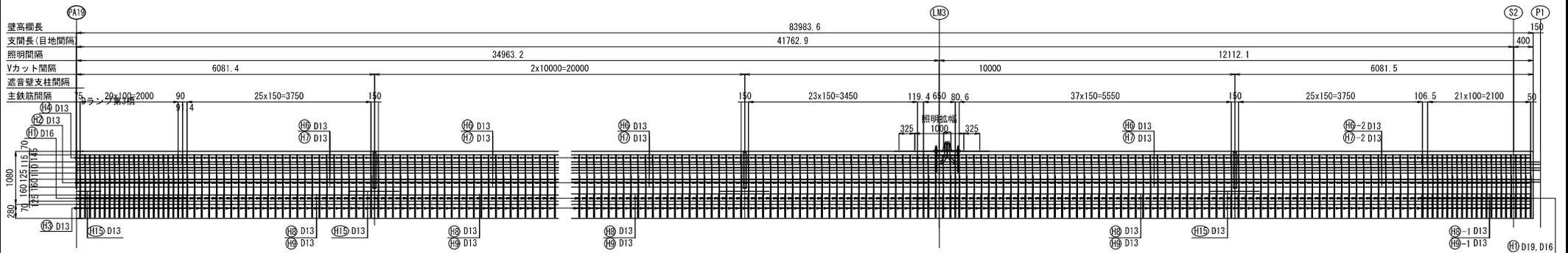
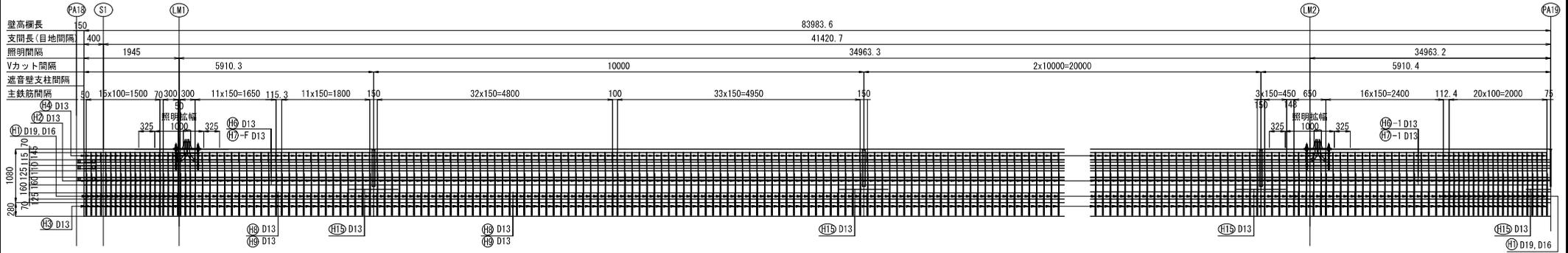
目地詳細



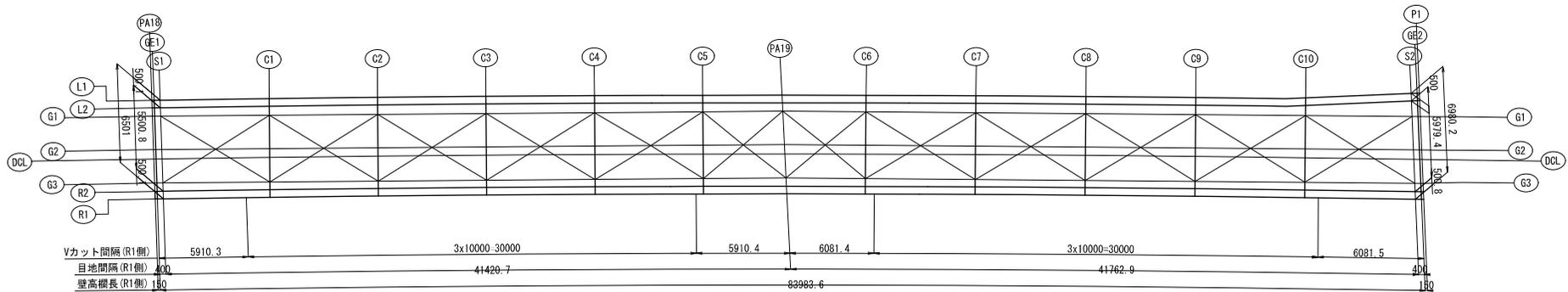
Dランプ第3橋 壁高欄配筋図(その3) S=1:40

R側

工事名	広島高速5号線橋詰JCT橋上部工事(2工区)		
図面番号	56 / 97	縮尺	1/40
図名	Dランプ第3橋 壁高欄配筋図(その3)	番号	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			



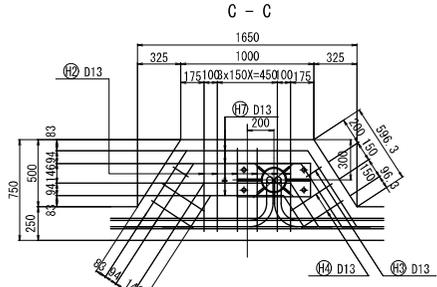
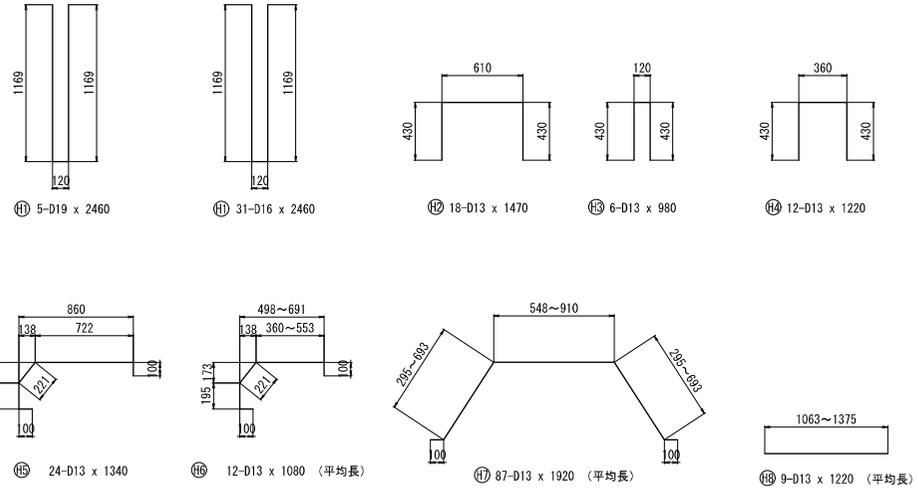
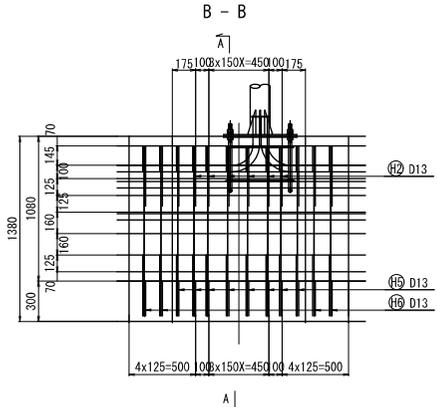
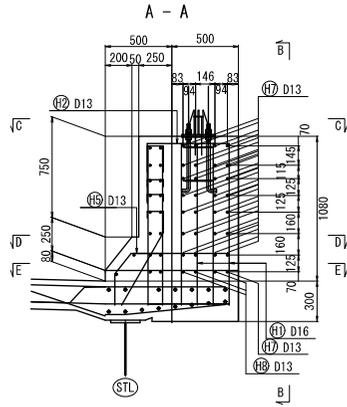
配置図



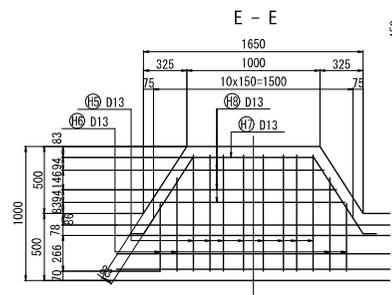
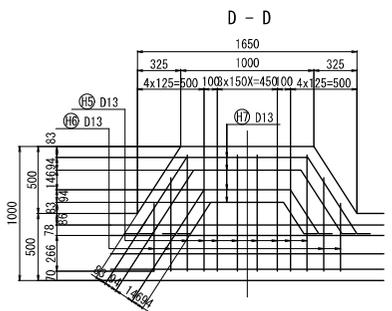
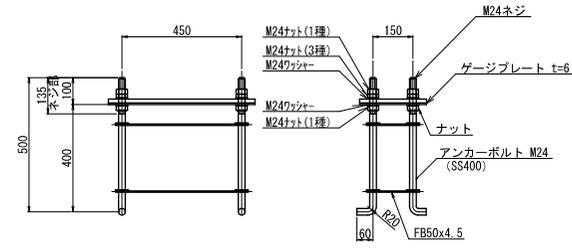
Dランプ第3橋 壁高欄配筋図(その5) S=1:20

工事名	広島高速5号線道路JCT橋上工事(2工区)		
図面番号	58 / 97	縮尺	1/20
図名	Dランプ第3橋 壁高欄配筋図(その5)	番付	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

照明柱拡幅部
(製作数:3箇所)



アンカーボルト詳細図 S=1:10



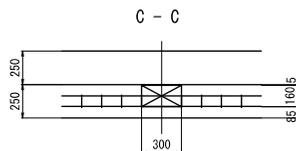
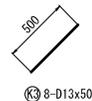
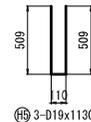
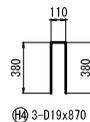
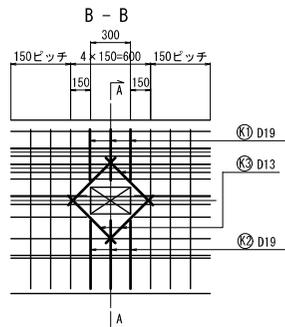
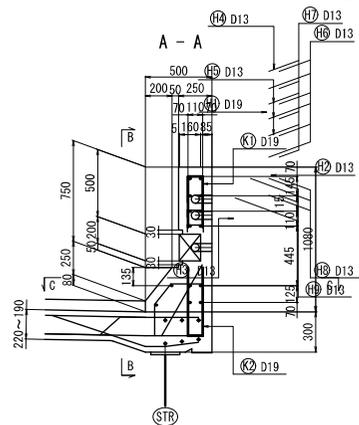
記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量(kg)	摘要
H1	D19	2460	5	2.25	5.54	28	U
H1-1	D16	2460	31	1.56	3.84	119	U
H2	D13	1470	18	0.995	1.46	26	□
H3	D13	980	6	0.995	0.98	6	n
H4	D13	1220	12	0.995	1.21	15	□
H5	D13	1340	24	0.995	1.33	32	∩
H6	D13	1080	12	0.995	1.07	13	∩ 平均長
H7	D13	1920	87	0.995	1.91	166	∩ 平均長
H8	D13	1220	9	0.995	1.21	11	∩ 平均長
合計						416	kg
鉄筋質量x3箇所				SD345	D19	28	kg
					D16	119	kg
					D13	269	kg
合計						416	kg
コンクリート体積					σ _{ck} =30N/mm ²	1.99	m ³
型枠面積						7.10	m ²
伸縮目地面積						0.00	m ²
弾性シール材体積						0.00	m ³

工事名	広島高速5号線品川CT側上部工事(2工区)		
図面番号	59 / 97	縮尺	1/20
図名	Dランプ第3橋 壁高欄配筋図(その6)	番号	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

Dランプ第3橋 壁高欄配筋図(その6) プルボックス部配筋図

S=1:20

壁高欄プルボックス
(N=1ヶ所)



プルボックス鉄筋質量表(1ヶ所当り)

(SD345)

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量(kg)	摘要	
K1	D19	870	3	2.25	1.96	6		
K2	D19	1130	3	2.25	2.54	8		
K3	D13	500	8	0.995	0.50	4		
						合計	18 kg	
						D19	14 kg	
						D16	4 kg	
						合計	18 kg	

Dランプ第3橋

Dランプ第3橋 橋面設備

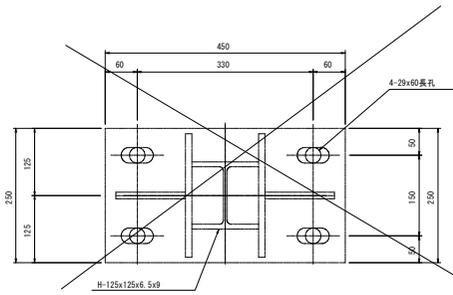
遮音壁アンカー詳細図

工事名	広島高速5号線 温品JCT橋上工区(2工区)		
図面番号	60 / 97	縮尺	図示
図名	Dランプ第3橋 橋面設備 遮音壁アンカー詳細図	番	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

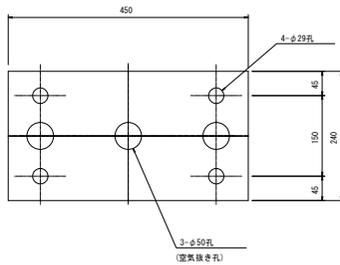
注記
1. 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
寸法量は、JIS H 8641 2種 HDZ77 とする。
但し、ナット・ワッシャー類は HDZ49 とする。

標準部

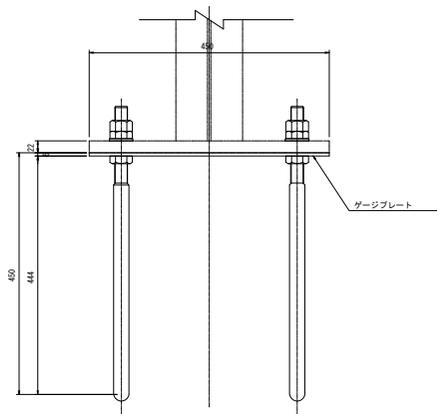
ベースプレート詳細 S=1:5



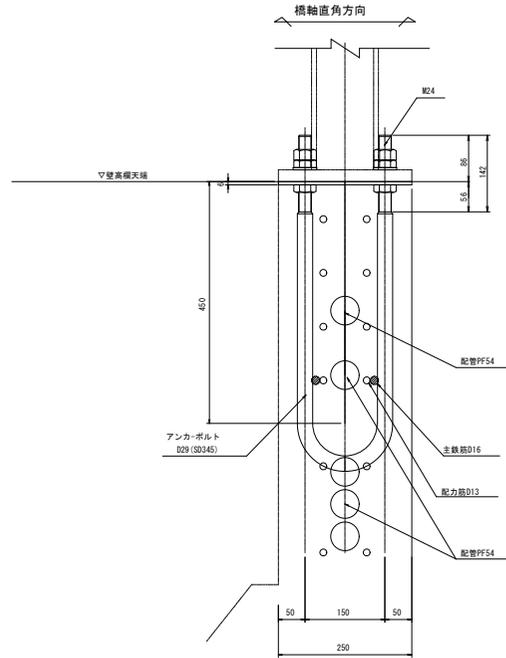
ゲージプレート詳細 S=1:5



橋軸方向



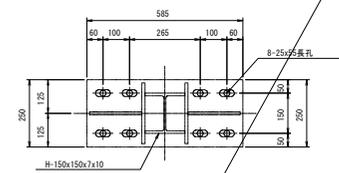
アンカーボルト詳細 S=1:5



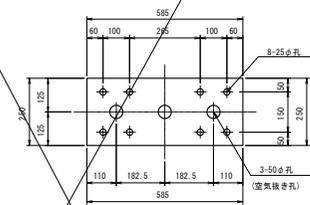
- N=06
- 1-PL 240 x 6 x 450 (SS400)
- 2-ANCHOR D29 x 1310 (SD345)
- 4-NUT M24 (1種)
- 8-NUT M24 (3種)
- 4-WASHER M24

遮音壁アンカー詳細 S=1:10

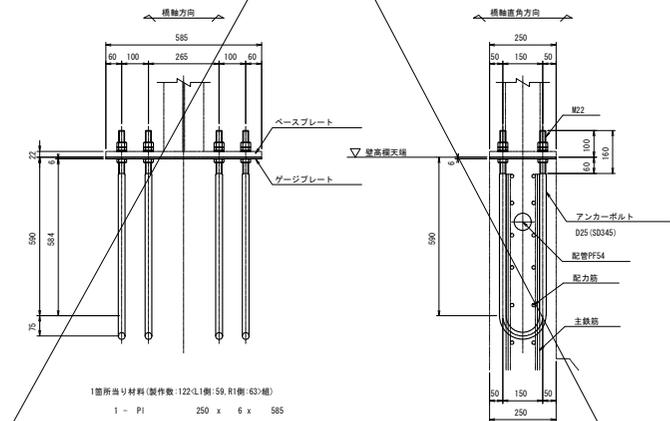
ベースプレート詳細 (別図工事)



ゲージプレート詳細



アンカーボルト詳細



1箇所当り材料(製作数:122(L)側:59、R側:63)組

- 1 - PL 250 x 6 x 585
- 4 - D.B D25 x 1616 (SD445)
- 8 - Nut M22 (第1種)
- 16 - Nut M22 (第2種)
- 8 - Washer M22

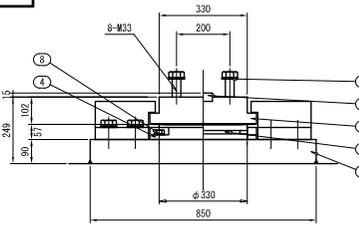
Dランプ第3橋 支承詳細図(その1) S=1:10

工事名	広島高速5号線道路JCT橋上部工事(2工区)		
図面番号	61 / 97	縮尺	1/10
図名	Dランプ第3橋 支承詳細図(その1)	番号	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

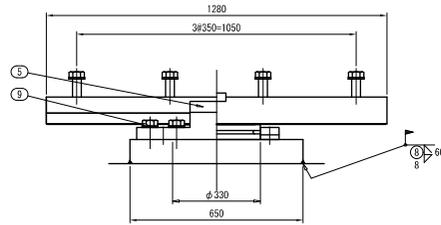
※本図相当

(PA18) (P1) 機能分離型支承装置 (荷重支持部)

断面図 S=1:20
(橋軸直角方向)

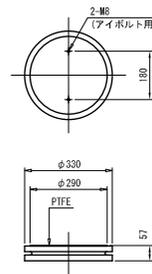


側面図 S=1:20
(橋軸方向)

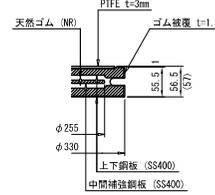


※溶接後は高濃度亜鉛未塗装を塗布のこと。

① 弾性荷重支持板 S=1:20
(1250KN用)



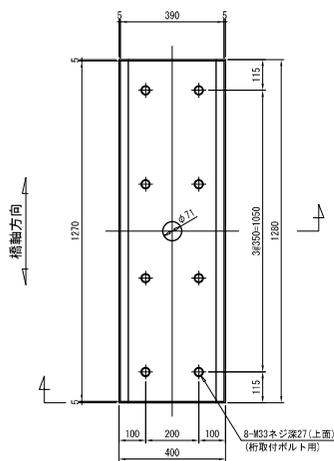
荷重支持板詳細図 S=1:10



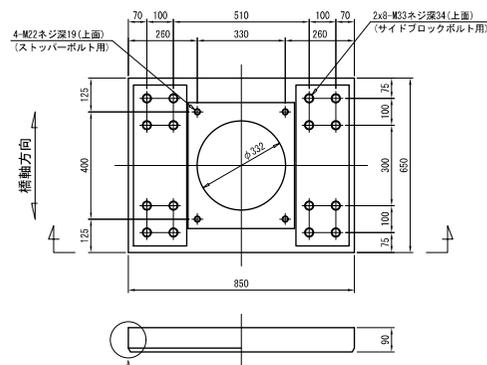
設計条件

反力 (kN)		PA18	P1
最大反力	Rmax	1056	1121
最大反力 (回転照査用)	Rmax2	661	686
死荷重反力	RD	546	558
照査荷重	R1L	256	282
最大水平力	橋軸方向	RHeq1	121
	橋軸直角方向	RHeq2	974
	サイドブロック	RHeq3	974
上向きの地震力	Ru	-1333	-978
変位量 (mm)			
照査荷重時の変位量	δcL	0.522	0.576
回転変位量	δr	0.364	0.354
水平変位量	温度時・橋軸方向	ΔL1	30
	地震時・橋軸方向	ΔLe1	448
	地震時・橋軸直角方向	ΔLe2	-
性能			
ゴムの種類及び呼び	材料・G	NR-G10	NR-G10
圧縮ばね定数 (kN/mm)	Kv	490	490
試験変位量	せん断ひずみ (%)	γS	-
	変位量 (mm)	Ub	-

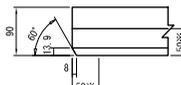
② スライディングプレート S=1:20



③ ベースプレート S=1:20

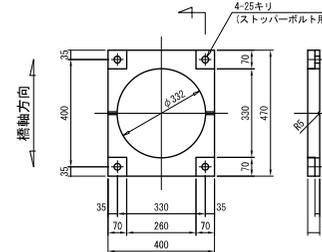


A部詳細図 S=1:10



※下番下面及び側面は図の範囲を不めっきとする。
不めっき部には、開先防錆剤塗布のこと。
溶接後は高濃度亜鉛未塗装を塗布のこと。

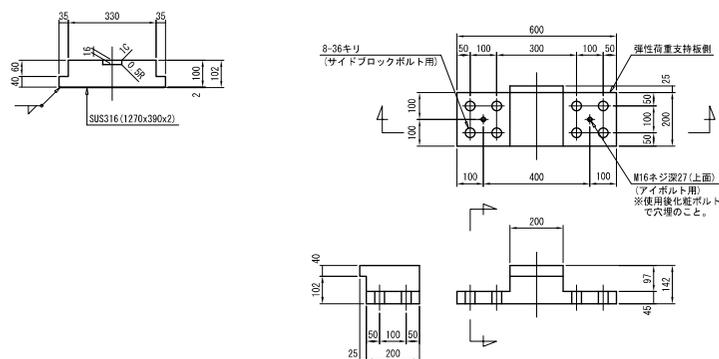
④ ストッパー S=1:20



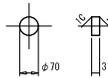
水切り溝詳細図 S=1:5



⑤ サイドブロック S=1:20



⑥ せん断キー S=1:20
上 用



位置図



材料表 (1組当り)

部番	部 品 名 称	材 質	個 数	重量 (kg)	備 考
1	弾性荷重支持板	NR, SS400, PTFE	1	25.8	NR (天然ゴム)
②	スライディングプレート	SM490A, SUS316	1	365.6	
③	ベースプレート	SM490A	1	386.4	
④	ストッパー	SM490A or SCM480N	1	31.3	
⑤	サイドブロック	SM490A or SCM480N	2	143.0	
⑥	せん断キー	SM490A or S35GN	1	0.9	上 用
⑦	桁取付ボルト, ワッシャー	強度区分 8.8	8	8.4	
⑧	ストッパーボルト, ワッシャー	強度区分 8.8	4	0.9	
⑨	サイドブロックボルト, ワッシャー	強度区分 8.8	16	15.2	
10	アイボルト	S45GN	-	-	M16
⑪	化粧ボルト, ワッシャー	強度区分 4.8	4	-	M16x20 (組確)
合 計				977.5	(kg)

- ※1 溶接材は高濃度亜鉛未塗装に適合。
- ※2 使用材料は道路橋支保構造設計規程に適合。
- ※3 照査窓口で開んだ部品は海程運船めっきとする。
JIS H 8641 H82777、ボルト類はHDZ149とする。
- ※4 ゴム支保の重量は施工上の参考重量を示す。
- ※5 製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること。
- ※6 必要なアイボルト本数は図面に示すこと。
- ※7 アイボルト穴は指形みぞ穴とする。
- ※8 桁取付ボルト重量はL=100mmとして参考値を示す。
- ※9 スライディングプレートSUS溶接部は、高濃度亜鉛粉末塗装を行うこと。
- ※10 架設運搬材の全体重量はアイボルトにて行うこと。

- ⑦ 桁取付ボルト, ワッシャー M33 x L 強度区分 8.8
- ⑧ ストッパーボルト, ワッシャー M22 x 40 強度区分 8.8
- ⑨ サイドブロックボルト, ワッシャー M33 x 85 強度区分 8.8

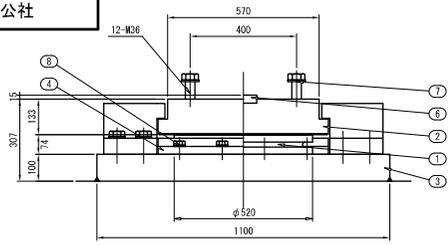
Dランプ第3橋 支承詳細図(その2) S=1:10

(PA19) 機能分離型支承装置 (荷重支持部)

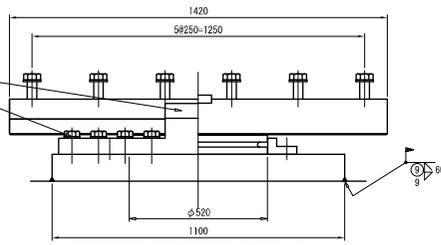
工事名	広島高速5号線品川CT橋上部工事(2工区)		
図面番号	62 / 97	縮尺	1/10
図名	Dランプ第3橋 支承詳細図(その2)	番付	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

※本図相当

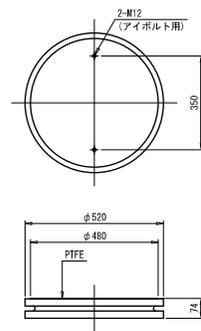
断面図 S=1:20
(橋軸直角方向)



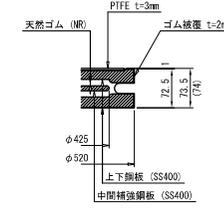
側面図 S=1:20
(橋軸方向)



① 弾性荷重支持板 S=1:20
(3500KN用)



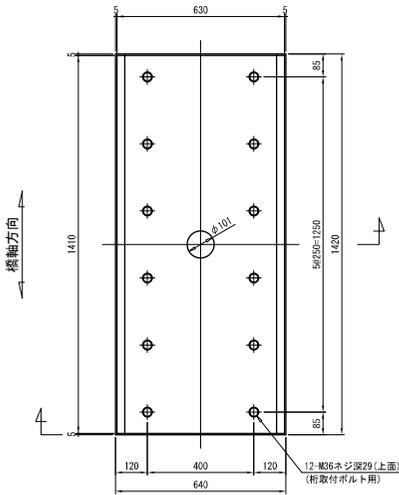
荷重支持板詳細図 S=1:10



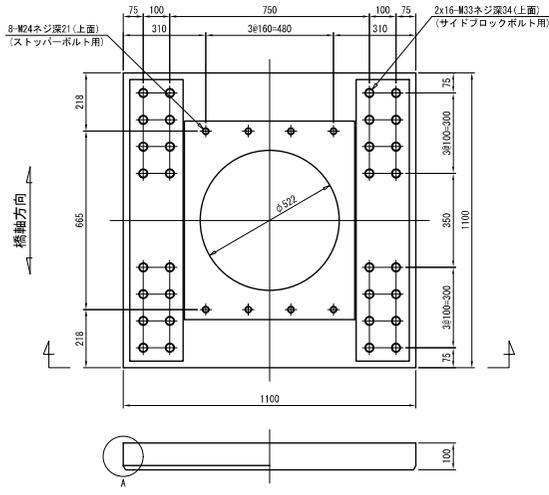
設計条件

反力 (kN)		PA19
最大反力	Rmax	2840
最大反力 (回転照査用)	Rmax2	2142
死荷重反力	RD	1897
照査荷重	R1L	-
最大水平力	RHeq1 (橋軸方向)	317
	RHeq2 (橋軸直角方向)	2142
	RHeq3 (サイドブロック)	2142
上向き地震力	Ru	-2149
変位量 (mm)		
照査荷重時の変位量	δcL	-
回転変位量	δr	0.386
水平変位量	温度時・橋軸方向 ΔL1	1
	地震時・橋軸方向 ΔLe1	440
	地震時・橋軸直角方向 ΔLe2	-
性能		
ゴムの種類及び呼び	材料-G	NR-G10
圧縮ばね定数 (kN/mm)	Kv	1530
試験変位量	せん断ひずみ (%)	γS
	変位量 (mm)	UB

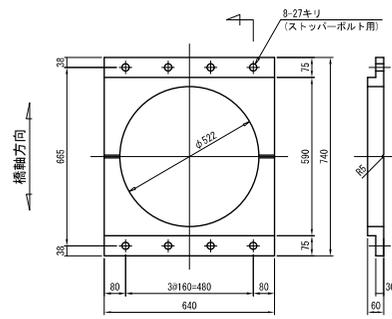
② スライディングプレート S=1:20



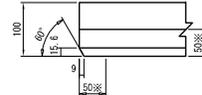
③ ベースプレート S=1:20



④ ストッパー S=1:20



A部詳細図 S=1:10

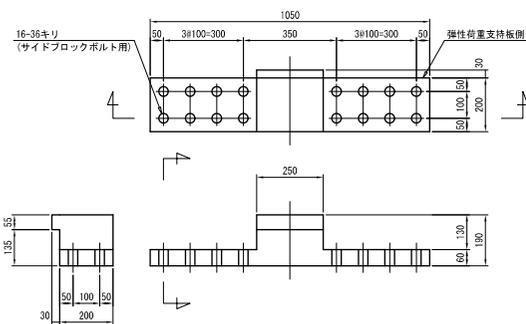


水切り溝詳細図 S=1:5

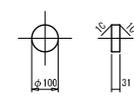


※下向き面及び側面は図の範囲を不めつきとする。
不めつき部には、開先防錆塗布のこと。
溶接後は高濃度亜鉛末塗装を塗布のこと。

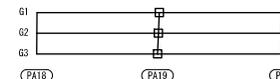
⑤ サイドブロック S=1:20



⑥ せん断キー S=1:20
上用



位置図



材料表 (1組当たり)

部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
1	弾性荷重支持板	NR, SS400, PTFE	1	83.0	NR(天然ゴム)
②	スライディングプレート	SM490A, SUS316	1	886.4	
③	ベースプレート	SM490A	1	942.0	
④	ストッパー	SM490A or SCM480N	1	98.6	
⑤	サイドブロック	SM490A or SCM480N	2	291.1	
⑥	せん断キー	SM490A or S355N	1	1.9	上用
⑦	桁取付ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	12	15.4	
⑧	ストッパーボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	8	2.7	
⑨	サイドブロックボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	32	33.5	
				合計	2354.6 (kg)

- ※1 道路橋支承便覧(H30)準拠。
- ※2 使用材料は道路橋支承便覧第3巻に適合。
- ※3 部番を○で囲んだ部品は海陸船積につきとする。
JIS H 8641 H02T77、ボルト類はH02T49とする。
- ※4 ゴム支那の重量は積工上の参考重量を示す。
- ※5 製作・運送に必要なアイボルト穴は別途図示すること。
- ※6 必要なアイボルト本数は協議して決定すること。
- ※7 アイボルト穴は用済み後穴埋めのこと。
- ※8 桁取付ボルト重量はL=100mmとして参考に計上する。
- ※9 スライディングプレートSIS溶接部は、高濃度亜鉛末塗装を行うこと。
- ※10 閉鎖状態時の全体用りはサイロンスリングにて行うこと。

- ⑦ 桁取付ボルト、ワッシャー M36 x 100 強度区分 8.8
- ⑧ ストッパーボルト、ワッシャー M24 x 55 強度区分 8.8
- ⑨ サイドブロックボルト、ワッシャー M33 x L 強度区分 8.8

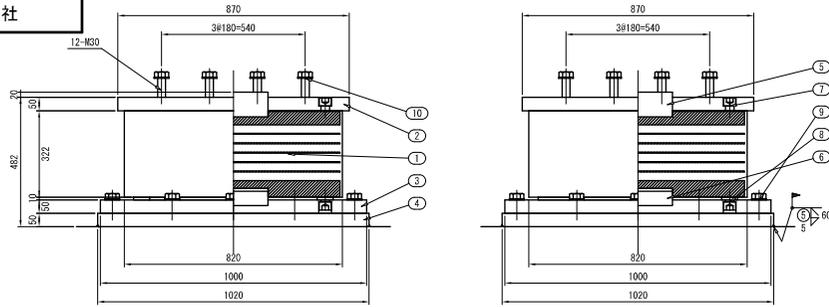
Dランプ第3橋 支承詳細図(その3) S=1:10

(PA18) 機能分離型支承装置 (バッファ部)

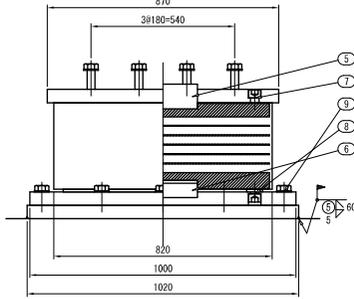
工事名	広島高速5号線品川CT橋上部工事(2工区)		
図面番号	63 / 97	縮尺	1/10
図名	Dランプ第3橋 支承詳細図(その3)	番付	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

※本図相当

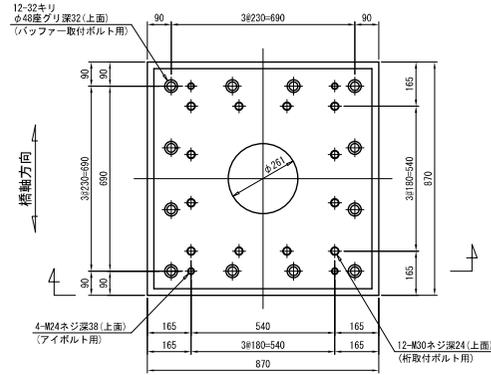
断面図 S=1:20
(橋軸直角方向)



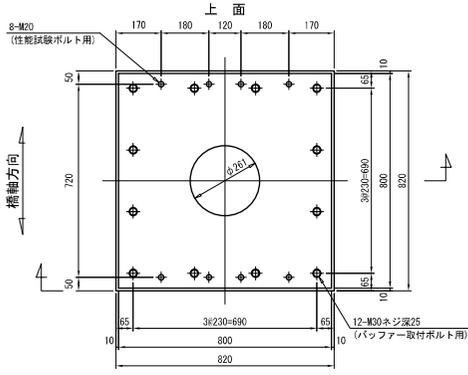
側面図 S=1:20
(橋軸方向)



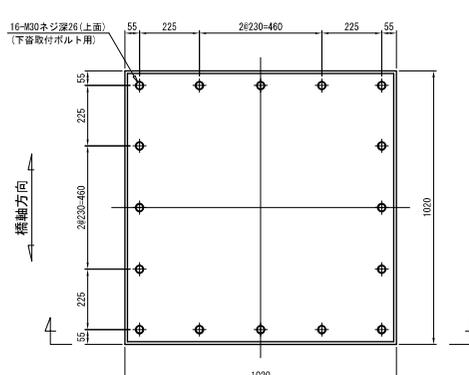
②上沓 S=1:20



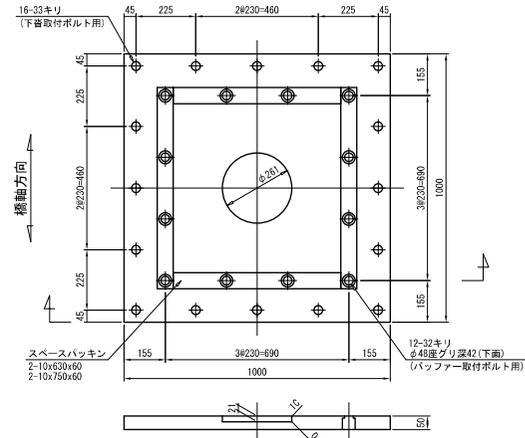
①ゴムバッファー S=1:20



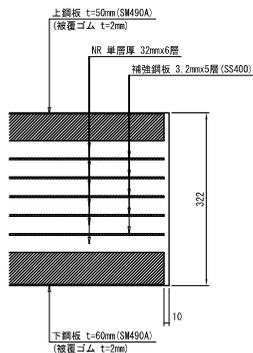
④ベースプレート S=1:20



③下沓 S=1:20



A部詳細図 S=1:10

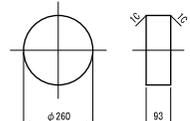


B部詳細図 S=1:10

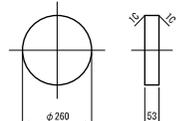


※下沓下面及び側面は図の範囲をぬめきとする。
ぬめき部には、開先防錆剤塗布のこと。
溶接後は高濃度亜鉛未塗装を塗布のこと。

⑤せん断キー 上 用 S=1:20



⑥せん断キー 下 用 S=1:20



設計条件

反力 (kN)		PA18	
最大水平力	橋軸方向	R1eq1	1792
	橋軸直角方向	R1eq2	-
変位量 (mm)			
水平変位量	温度時・橋軸方向	ΔL1	30
	地震時・橋軸方向	ΔLe1	448
	地震時・橋軸直角方向	ΔLe2	-
性能			
ゴムの種類及び呼び	材料-G	NR-G12	
せん断ばね定数 (kN/mm)	KS	4,000	
試験変位量	せん断ひずみ (%)	γS	175
	変位量 (mm)	UB	336
1次形状係数	S1	6.25	
2次形状係数	S2	4.17	

材料表 (1組当り)

部番	部品名称	材質	枚数	重量(kg)	備考
1	ゴムバッファー	NR SS400, SM490A	1	811.3	NR(天然ゴム)
②	上 沓	SM490A	1	267.6	
③	下 沓	SM490A	1	370.5	
④	ベースプレート	SM490A	1	406.1	
⑤	せん断キー	SM490A or S35CN	1	38.8	上 用
⑥	せん断キー	SM490A or S35CN	1	22.1	下 用
⑦	バッファ取付ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	12	6.0	上 用
⑧	バッファ取付ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	12	6.0	下 用
⑨	下沓取付ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	16	11.7	
⑩	桁取付ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	12	10.1	
11	アイボルト	SS400	-	-	
				合計	1950.2 (kg)

- ※1 道路橋支保脚(900)準拠。
- ※2 使用材料は道路橋支保脚第3章に適合。
- ※3 断面を○で囲んだ部品は溶接部をぬめきとする。
JIS H 8641 H2177、ボルト部はH2149とする。
- ※4 ゴム変形の量は施工上の参考量を示す。
- ※5 製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること。
- ※6 必要なアイボルト本数は協議して決定すること。
- ※7 アイボルト穴は埋め戻し処理のこと。
- ※8 桁取付ボルト重量はL=100mmとして参考に計上する。
- ※9 鋼接部材の金具類はアイボルトで行うこと。

- ⑦ バッファ取付ボルト、ワッシャー M30 x 45 強度区分 8.8 (上 用)
- ⑧ バッファ取付ボルト、ワッシャー M30 x 45 強度区分 8.8 (下 用)
- ⑨ 下沓取付ボルト、ワッシャー M30 x 80 強度区分 8.8
- ⑩ 桁取付ボルト、ワッシャー M30 x L 強度区分 8.8

位置図



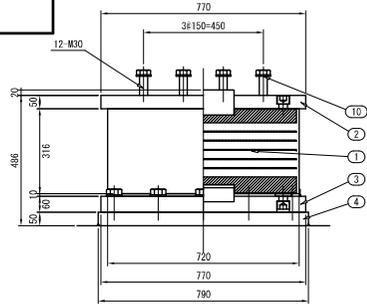
Dランプ第3橋 支承詳細図(その4) S=1:10

(PA19) 機能分離型支承装置 (バッファ部)

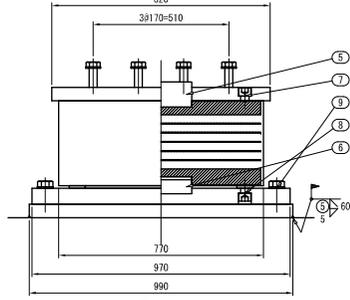
工事名	広島高速5号線品川CT橋上部工事(2工区)		
図面番号	64 / 97	縮尺	1/10
図名	Dランプ第3橋 支承詳細図(その4)	番号	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

※本図相当

断面図 S=1:20
(橋軸直角方向)

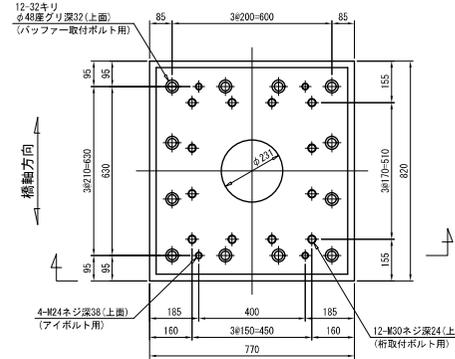


側面図 S=1:20
(橋軸方向)

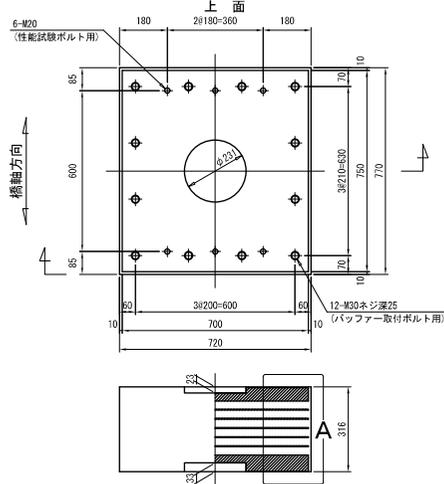


※溶接後は高温度亜鉛未塗装を塗布のこと。

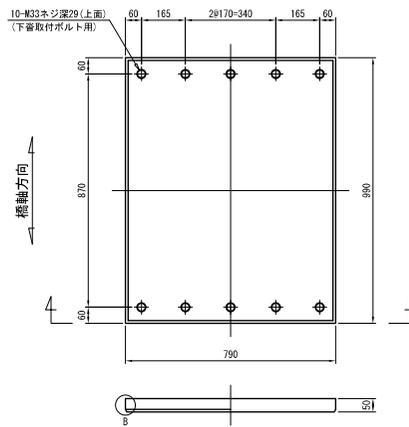
② 上 沓 S=1:20



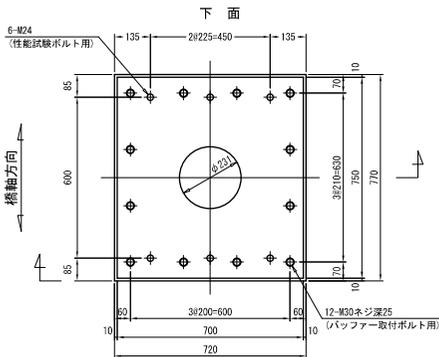
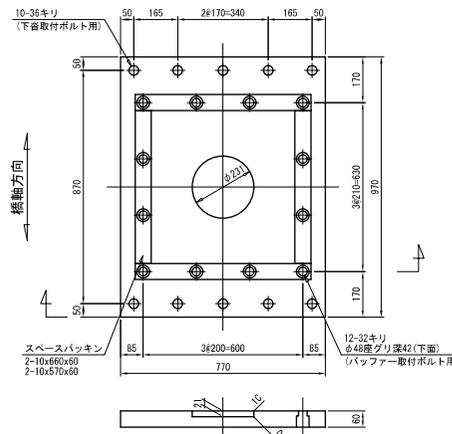
① ゴムバッファー S=1:20



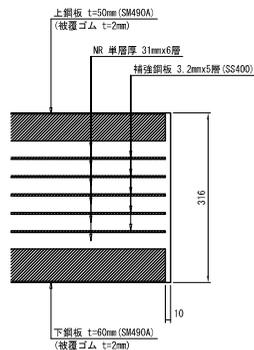
④ ベースプレート S=1:20



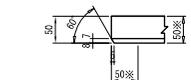
③ 下 沓 S=1:20



A 部詳細図 S=1:10

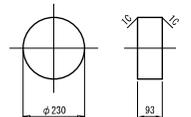


B 部詳細図 S=1:10

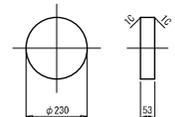


※下沓下面及び側面は図の範囲をぬめつきとする。
ぬめつき部には、開先防錆剤塗布のこと。
溶接後は高温度亜鉛未塗装を塗布のこと。

⑤ せん断キー 上 用 S=1:20



⑥ せん断キー 下 用 S=1:20



設計条件

反力 (kN)		PA19		
最大水平力	橋軸方向	Rheq1	1739	
	橋軸直角方向	Rheq2	-	
変位量 (mm)				
水平変位量	温度時・橋軸方向	ΔL1	1	
	地震時・橋軸方向	ΔLe1	440	
	地震時・橋軸直角方向	ΔLe2	-	
性 能				
ゴムの種類及び呼び		材料:G	NR-G14	
せん断ばね定数 (kN/mm)		KS	3.952	
試験変位量		せん断しずみ (%)	γS	1.75
		変位量 (mm)	US	326
1次形状係数		S1	5.84	
2次形状係数		S2	4.03	

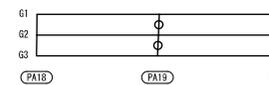
材料表 (1組当り)

番号	部 品 名 称	材 質	個 数	重量 (kg)	備 考
1	ゴムバッファー	NR SS400 SM490A	1	662.1	NR(天然ゴム)
②	上 沓	SM490A	1	222.8	
③	下 沓	SM490A	1	331.5	
④	ベースプレート	SM490A	1	305.1	
⑤	せん断キー	SM490A or S355N	1	30.3	上 用
⑥	せん断キー	SM490A or S355N	1	17.3	下 用
⑦	バッファ取得ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	12	6.0	上 用
⑧	バッファ取得ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	12	6.6	下 用
⑨	下沓取得ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	10	10.2	
⑩	桁取得ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	12	10.1	
11	アイボルト	SS400	-	-	
				合計	1602.1 (kg)

- ※1 道路橋支保架(93)準拠。
- ※2 使用材料は道路橋支保架規格第3章に適合。
- ※3 継ぎ目等にて開んだ部品は溶接熱めつきとする。
JIS H 3541 HZ177、ボルト類はHZ149とする。
- ※4 ゴム支保架の重量は施工上の参考重量を示す。
- ※5 製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜取捨すること。
- ※6 必要なアイボルト本数は適宜して決定すること。
- ※7 アイボルト穴は溶接後処理のこと。
- ※8 桁取得ボルト重量は100mmとして参考に計上すること。
- ※9 架設運搬時の全体吊りはアイボルトにて行うこと。

- ① バッファ取得ボルト、ワッシャー M30 x 45 強度区分 8.8 (上 用)
- ② バッファ取得ボルト、ワッシャー M30 x 55 強度区分 8.8 (下 用)
- ③ 下沓取得ボルト、ワッシャー M33 x 95 強度区分 8.8
- ④ 桁取得ボルト、ワッシャー M30 x L 強度区分 8.8

位置図



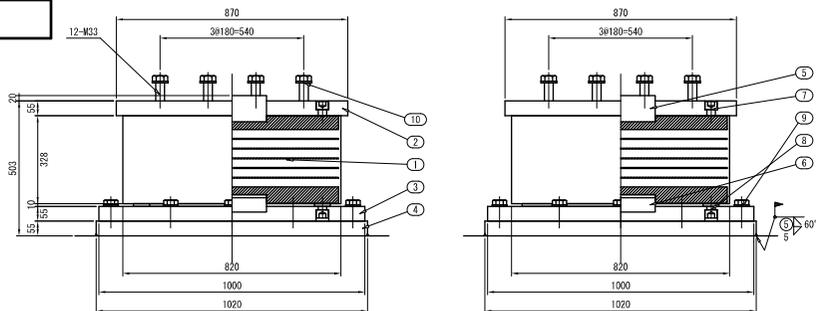
Dランプ第3橋 支承詳細図(その5) S=1:10

(P1) 機能分離型支承装置 (バッファ部)

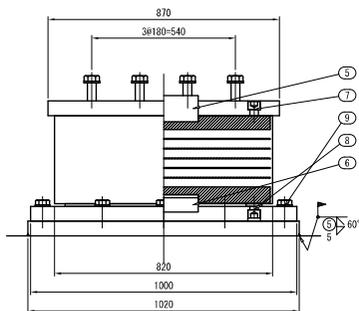
工事名	広島高速5号線橋詰JCT橋上部工事(2工区)		
図面番号	65 / 97	縮尺	1/10
図名	Dランプ第3橋 支承詳細図(その5)	番号	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

※本図相当

断面図 S=1:20
(橋軸直角方向)

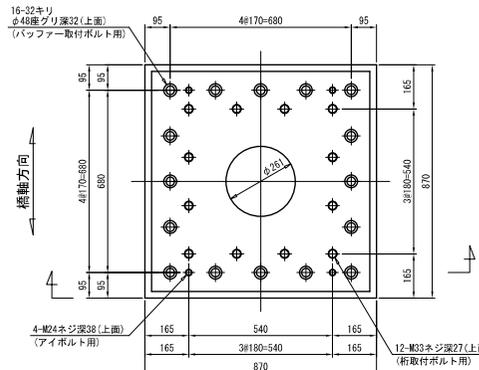


側面図 S=1:20
(橋軸方向)

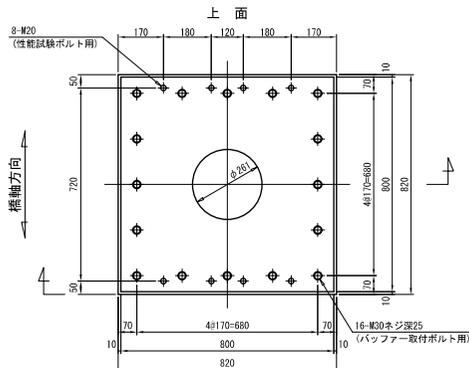


※溶接後は高濃度亜鉛未塗装を塗布のこと。

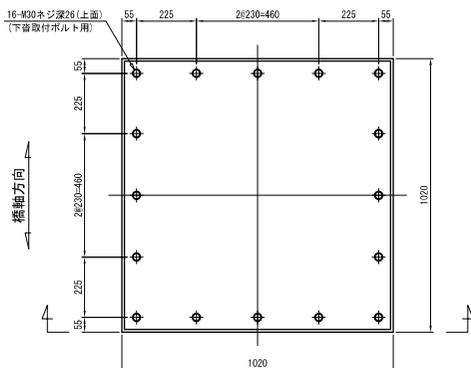
② 上 咨 S=1:20



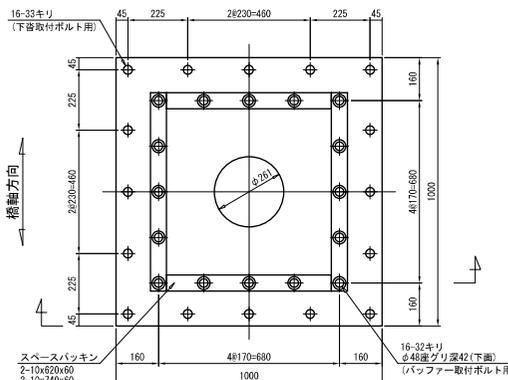
① ゴムバッファー S=1:20



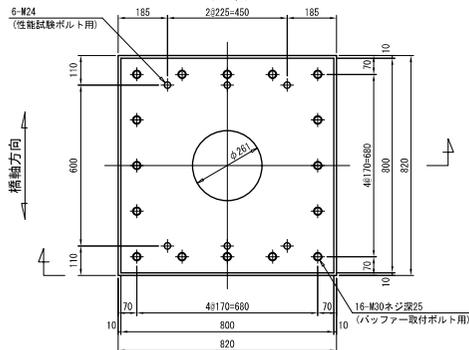
④ ベースプレート S=1:20



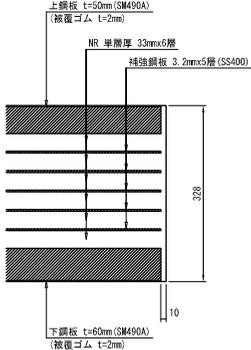
③ 下 咨 S=1:20



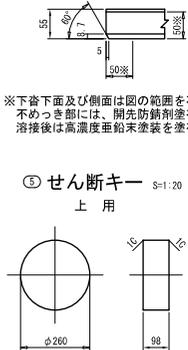
下面



A部詳細図 S=1:10

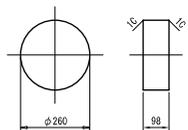


B部詳細図 S=1:10

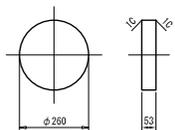


※下咨下面及び側面は図の範囲を不めっきとする。
不めっき部には、開先防錆剤塗布のこと。
溶接後は高濃度亜鉛未塗装を塗布のこと。

⑤ せん断キー 上 用 S=1:20



⑥ せん断キー 下 用 S=1:20



設計条件

反力 (kN)		P1	
最大水平力	橋軸方向	RHeq1	2077
	橋軸直角方向	RHeq2	-
変位量 (mm)			
水平変位量	温度時・橋軸方向	ΔL1	28
	地震時・橋軸方向	ΔLe1	459
	地震時・橋軸直角方向	ΔLe2	-
性能			
ゴムの種類及び呼び	材料+G	NR-G14	
せん断ばね定数 (kN/mm)	KS	4.525	
試験変位量	せん断ひずみ (%)	γS	1.75
	変位量 (mm)	UB	347
1次形状係数	S1	6.06	
2次形状係数	S2	4.04	

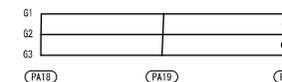
材料表 (1組当り)

部番	部 品 名 称	材 質	個 数	重量 (kg)	備 考
1	ゴムバッファー	NR, SS400, SM490A	1	816.2	NR(天然ゴム)
②	上 咨	SM490A	1	291.9	
③	下 咨	SM490A	1	406.3	
④	ベースプレート	SM490A	1	446.9	
⑦	せん断キー	SM490A or S35GN	1	40.8	上 用
⑧	せん断キー	SM490A or S35GN	1	22.1	下 用
⑦	バッファー取付ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	16	8.4	上 用
⑧	バッファー取付ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	16	8.4	下 用
⑨	下咨取付ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	16	12.1	
⑩	桁取付ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	12	12.6	
11	アイボルト	SS400	-	-	
合計				2065.7	(kg)

- *81 道路橋支保型 (H30) 準拠。
- *82 使用材料は道路橋支保型第3巻に適合。
- *83 部番を○で囲んだ部番は溶接部を指すこと。
JIS H 8641 H02T77、ボルト類はH02T49とする。
- *84 ゴム支承の重量は施工上の参考重量を示す。
- *85 製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること。
- *86 必要なアイボルト本数は協議して決定すること。
- *87 アイボルト穴は用済み穴埋めすること。
- *88 桁取付ボルト重量はL=100mmとして参考に計上する。
- *89 架設運轉時の全体再りはアイボルトにて行うこと。

- ① バッファー取付ボルト、ワッシャー M30 x 50 強度区分 8.8 (上 用)
- ② バッファー取付ボルト、ワッシャー M30 x 50 強度区分 8.8 (下 用)
- ③ 下咨取付ボルト、ワッシャー M30 x 85 強度区分 8.8
- ⑩ 桁取付ボルト、ワッシャー M33 x L 強度区分 8.8

位置図

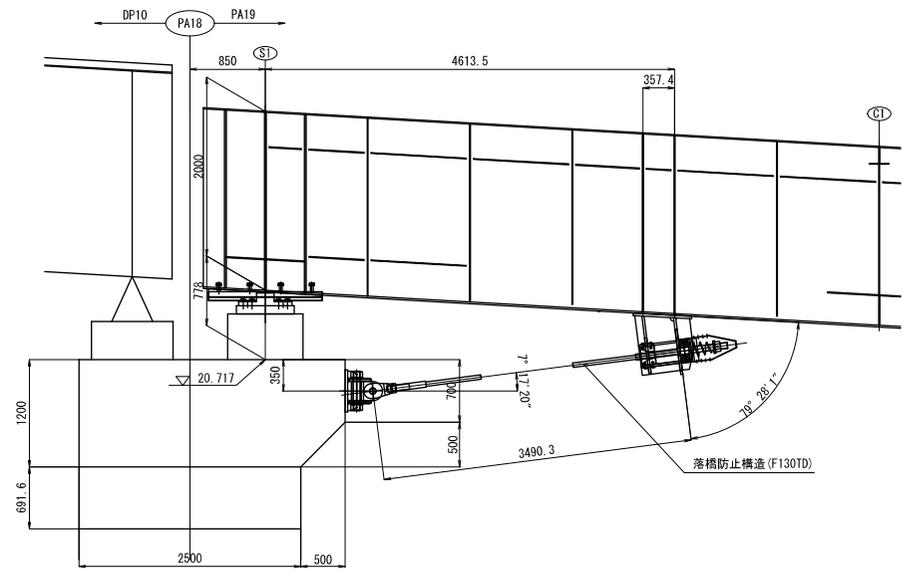
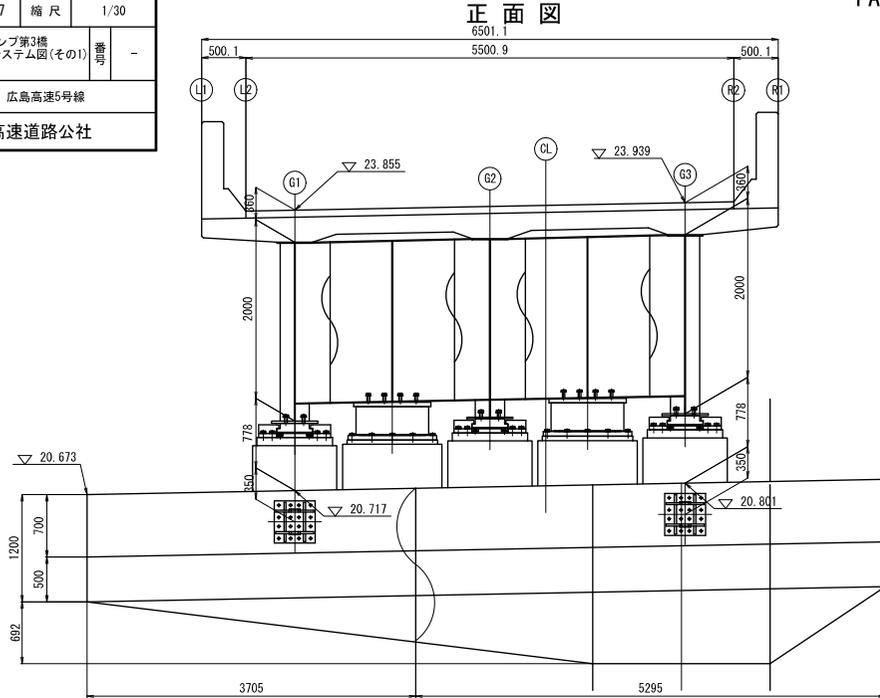


工事名	広島高速5号線道路JCT橋上工(2工区)		
図面番号	66 / 97	縮尺	1/30
図名	Dランプ第3橋 落橋防止システム図(その1)	番号	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

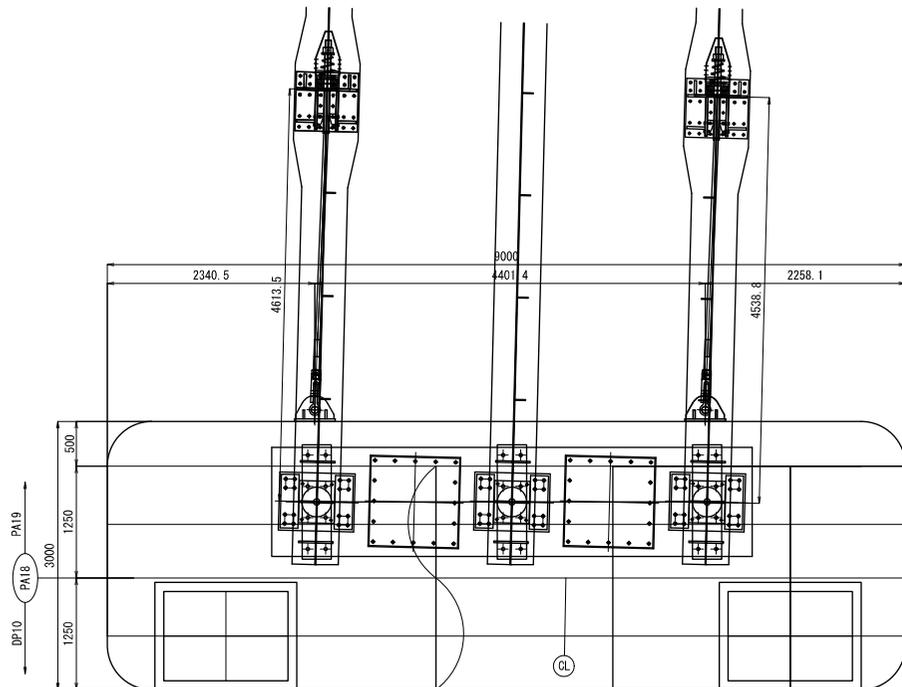
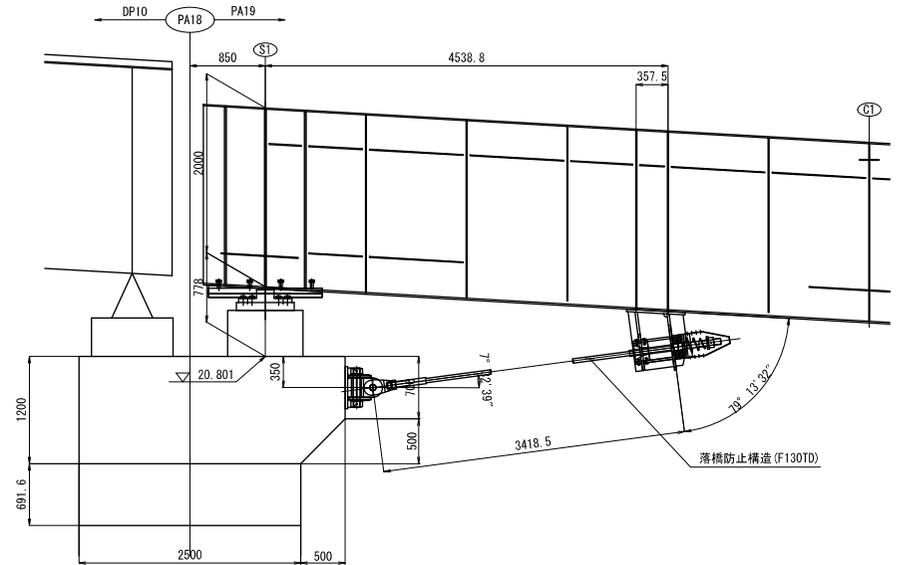
Dランプ第3橋 落橋防止システム図(その1) S=1:30

PA18橋脚:取付図

側面図
G1側



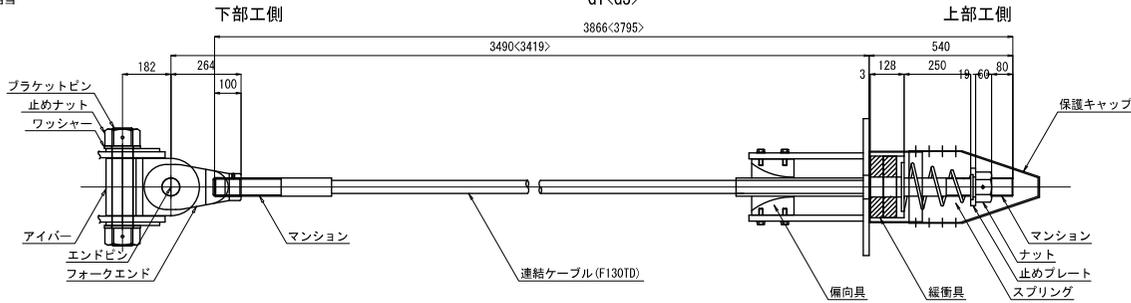
G3側



Dランプ第3橋 落橋防止システム図(その3) S=1:10

工事名	広島高速5号線品川CT橋上部工事(2工区)		
図面番号	68 / 97	縮尺	1/10
図名	Dランプ第3橋 落橋防止システム図(その3)	番号	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

取付詳細図 G1<G3>

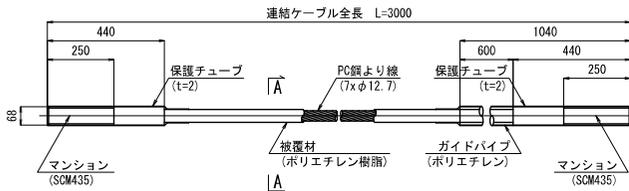


材料表(落橋防止構造1組当たり)

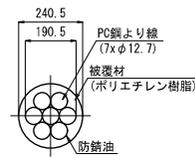
全2組

名称	規格	単位	数量	摘要
連結ケーブル (マンション)	F130TD相当 L=3866<3795>	本	1	PC鋼より線, ポリエチレン被覆
	F130TD相当用 標準	個	2	SCM435, ネジきり標準 <ケーブルに組込>
	F130TD相当用 600mm (ガイドパイプ)	本	1	ポリエチレン <ケーブルに組込>
ナット	F130TD相当用	個	1	S45C: 垂鉛めっき (HDZ55)
止めプレート	F130TD相当用	個	1	SS400: 垂鉛めっき (HDZ55)
スプリング	F130TD相当用 L=400	個	1	SW-C: 垂鉛めっき, クロメート処理
異型緩衝具	F130TD相当用	個	1	SS400: 垂鉛めっき (HDZ55) + クロロレンゴム
偏向具	F130TD相当用	個	1	ポリエチレン
保護キャップ	M16x50 1W付	本	8	SS400相当品: 垂鉛めっき (HDZ55) 接着剤付
保護キャップ	F130TD相当用	組	1	ポリエチレン: 8-止めビス付
ブラケットピン	F130TD相当用	本	1	SCM435, ダクロダイズ処理, DMコート
止めナット	F130TD相当用	個	2	S45C: 垂鉛めっき (HDZ55)
ワッシャー	F130TD相当用	個	2	SS400: 垂鉛めっき (HDZ55)
アイバー	F130TD相当用	個	1	S45C: 垂鉛めっき (HDZ55)
フォークエンド	F130TD相当用	個	1	S45C: 垂鉛めっき (HDZ55)
エンドピン (ピン)	F130TD相当用	本	1	SCM435, ダクロダイズ処理, DMコート
止めプレート	F130TD相当用	個	1	SS400: 垂鉛めっき

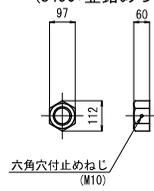
連結ケーブル



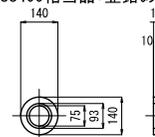
A-A断面図 S=1:2



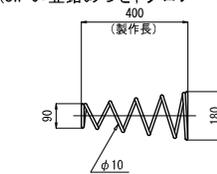
ナット (S45C: 垂鉛めっき)



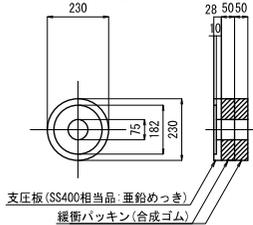
止めプレート (SS400相当品: 垂鉛めっき)



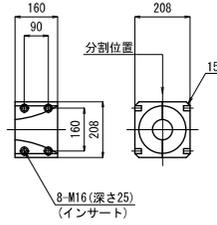
スプリング (SW-C: 垂鉛めっき, クロメート処理)



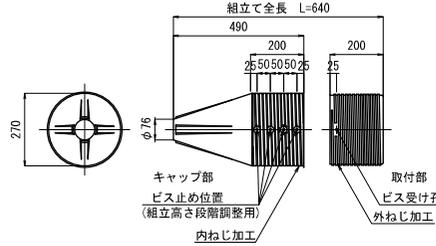
異型緩衝具 (支圧板+緩衝パッキン)



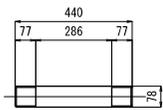
偏向具 (ポリエチレン)



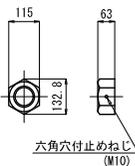
保護キャップ (ポリエチレン)



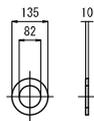
ブラケットピン (SCM435: DMコート)



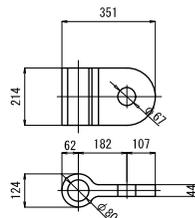
止めナット (S45C: 垂鉛めっき)



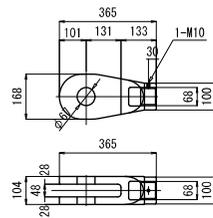
ワッシャー (SS400: 垂鉛めっき)



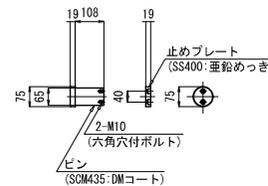
アイバー (S45C: 垂鉛めっき)



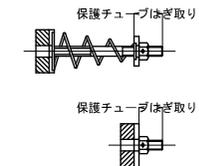
フォークエンド (S45C: 垂鉛めっき)



エンドピン (ピン+止めプレート)



マンション端部処理



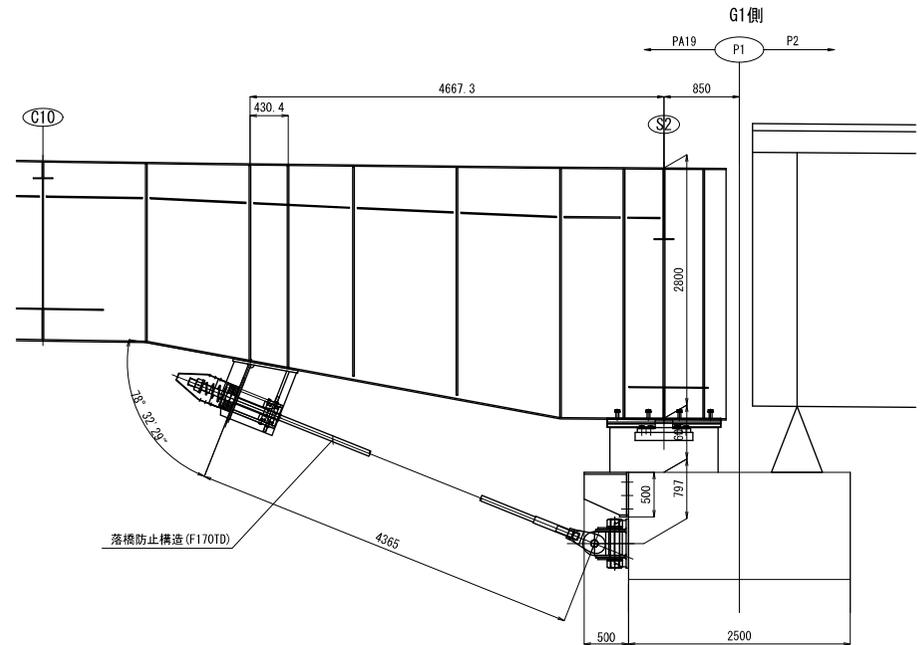
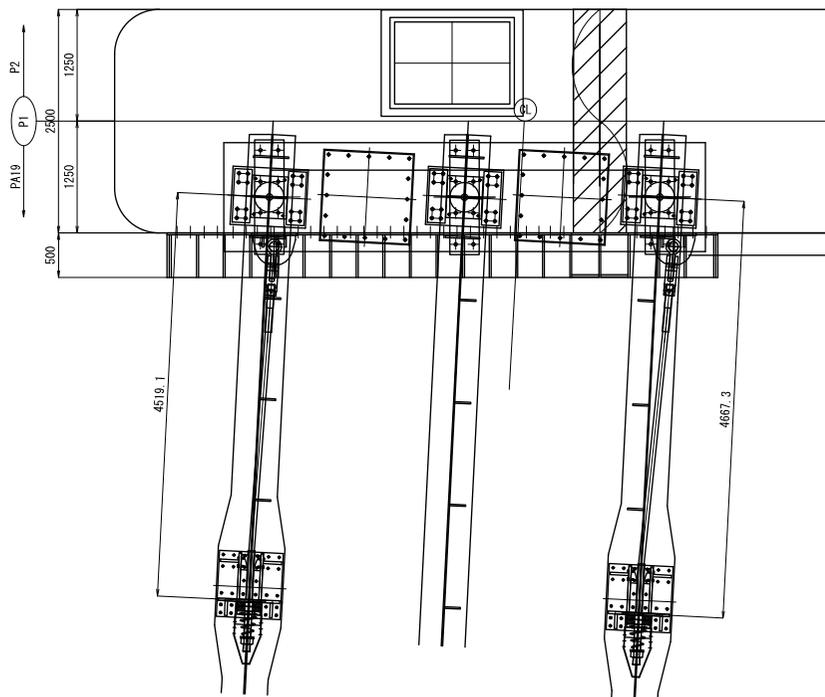
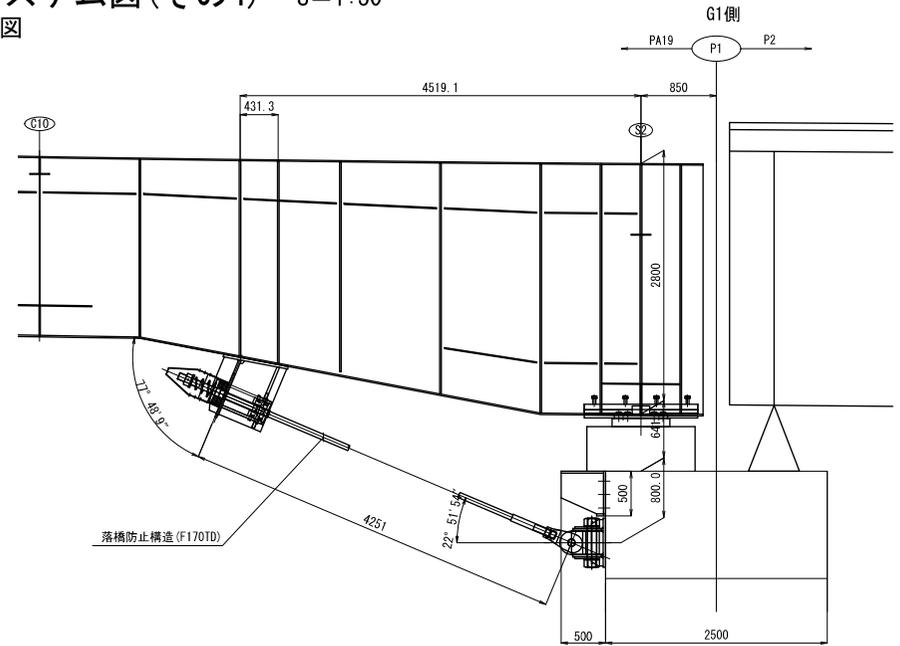
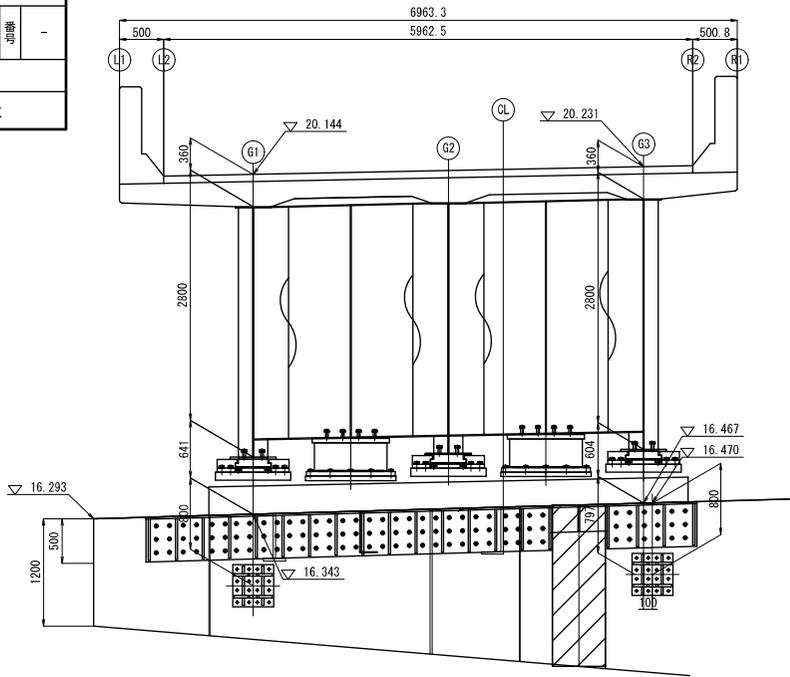
注記)
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間距離を確認のうえ、おこなうこと。

※取付前に保護チューブをはぎ取る。
取付後はマンション先端ねじ部に防錆処理をおこなうこと。

工事名	広島高速5号線品川CT側上部工事(2工区)		
図面番号	69 / 97	縮尺	1/30
図名	Dランプ第3橋 落橋防止システム図(その4)	欄	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

Dランプ第3橋 落橋防止システム図(その4) S=1:30

PA18橋脚:取付図



Dランプ第3橋 落橋防止システム図(その6) S=1:10

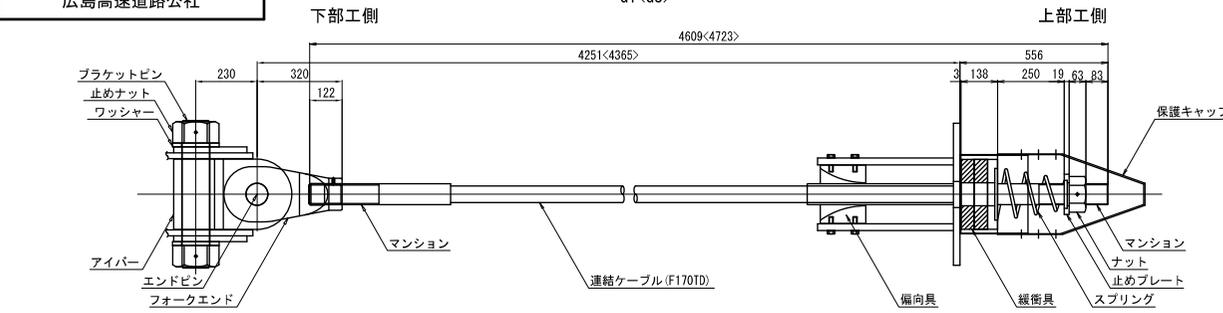
工事名	広島高速5号線品川CT橋上部工事(2工区)		
図面番号	71 / 97	縮尺	-
図名	Dランプ第3橋 落橋防止システム図(その6)	番号	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

取付詳細図 G1<G3>

材料表(落橋防止構造1組当たり)

全2組

名称	規格	単位	数量	備 考
連結ケーブル (マンション) (ガイドパイプ)	F170TDU L=4609<4723>mm	本	1	PC鋼より線、ポリエチレン被覆
	F170TDU 標準	個	2	SCM435、ネジきり標準 <ケーブルに組込>
	F170TDU 600mm	本	1	ポリエチレン <ケーブルに組込>
ナット	F170TDU用	個	1	S45C:垂鉛めっき(HDZ55)
止めプレート	F170TDU用	個	1	SS400:垂鉛めっき(HDZ55)
スプリング	F170TDU用 L=400	個	1	SW-C:垂鉛めっき、クロメート処理
異型緩衝具	F170TDU用	個	1	SS400:垂鉛めっき(HDZ55) + クロロブレンゴム
偏向具	F170TDU用	個	1	ポリエチレン
(取付ボルト)	M16x55 1W付	本	16	SS400相当品:垂鉛めっき(HDZ35) 接着剤付
保護キャップ	F170TDU用	組	1	ポリエチレン:6-止めビス付
ユニバーサルシステム	F170TDU用	本	1	SCM435、ダクロダイズ処理、DMコート
止めナット	F170TDU用	個	2	S45C:垂鉛めっき(HDZ55)
ワッシャー	F170TDU用	個	2	SS400:垂鉛めっき(HDZ55)
アイバー	F170TDU用	個	1	S45C:垂鉛めっき(HDZ55)
フォークエンド	F170TDU用	個	1	S45C:垂鉛めっき(HDZ55)
エンドピン (ピン)	F170TDU用	本	1	SCM435、ダクロダイズ処理、DMコート
止めプレート (止めプレート)	F170TDU用	個	1	SS400:垂鉛めっき



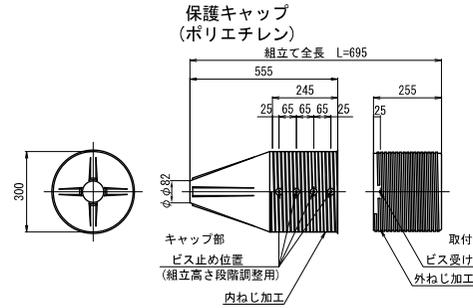
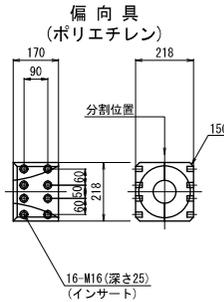
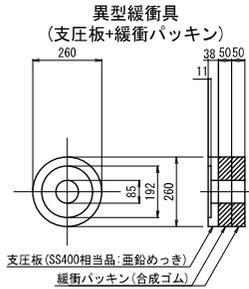
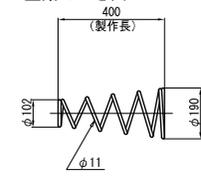
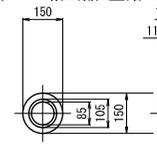
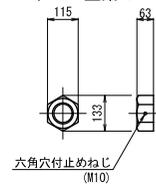
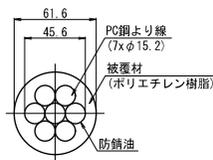
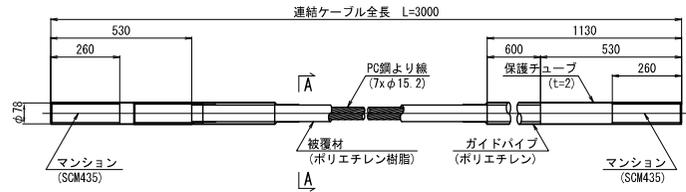
連結ケーブル

A-A断面図 S=1:2

ナット (S45C:垂鉛めっき)

止めプレート (SS400相当品:垂鉛めっき)

スプリング (SW-C:垂鉛めっき、クロメート処理)



ブラケットピン (SCM435:DMコート)

止めナット (S45C:垂鉛めっき)

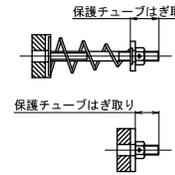
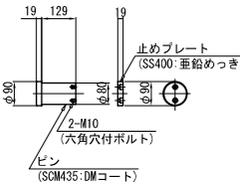
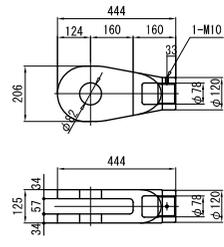
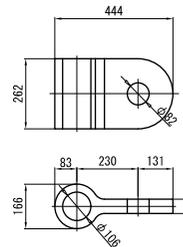
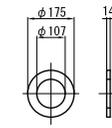
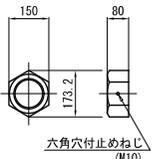
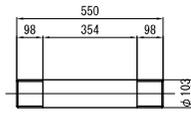
ワッシャー (SS400:垂鉛めっき)

アイバー (S45C:垂鉛めっき)

フォークエンド (S45C:垂鉛めっき)

エンドピン (ピン+止めプレート)

マンション端部処理



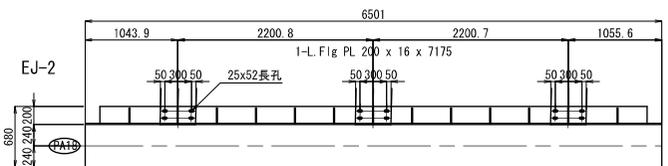
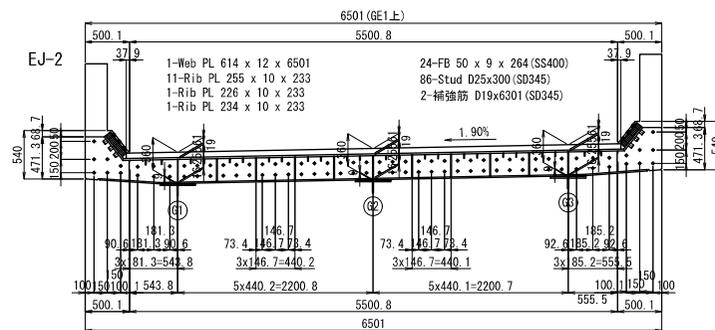
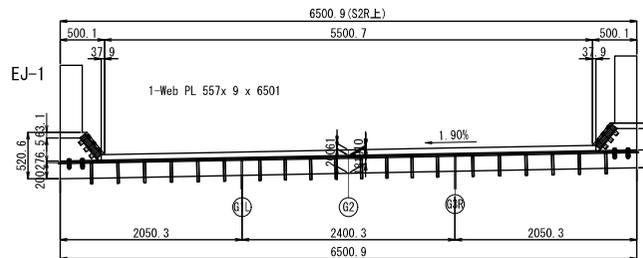
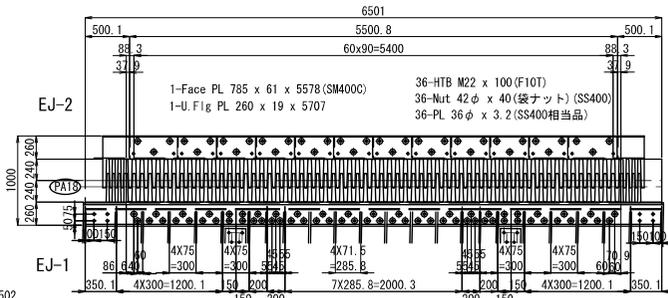
※取付前に保護チューブをはぎ取る。
取付後はマンション先端ねじ部に防錆処理をおこなうこと。

工事名	広島高速5号線品川CT橋上部工事(2工区)		
図面番号	72 / 97	縮尺	1/30
図名	Dランプ第3橋 伸縮装置詳細図(その1)	番付	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

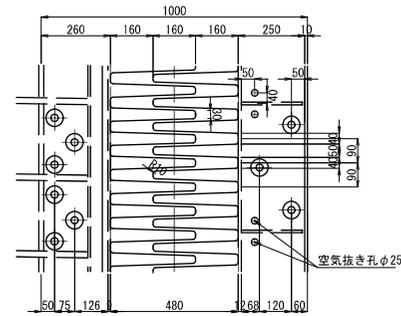
Dランプ第3橋 伸縮装置詳細図(その1) S=1:30

PA18

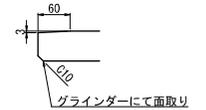
1-U Fig PL 251 x 10 x 6502
 1-FILL PL 230 x 9 x 6502 (SS400)
 63-HTB M22 x 135 (F10T) (2-N付き)
 8-HTB M22 x 95 (F10T) (2-N付き)



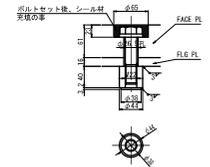
平面図 S=1:10



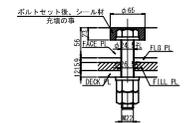
"a"部詳細 S=1:5



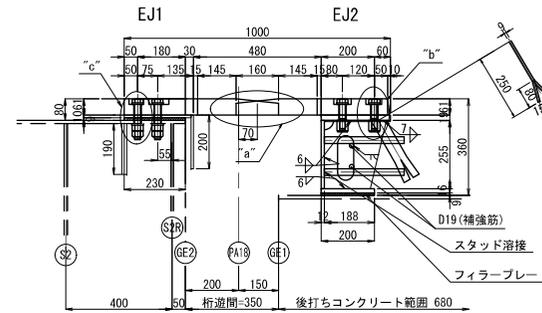
"b"部詳細 S=1:3



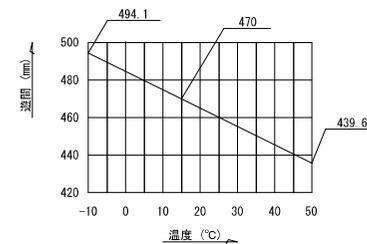
"c"部詳細 S=1:3



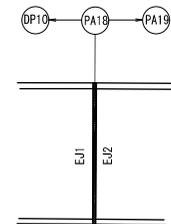
断面図 S=1:10



ウェブ遊間



配置図



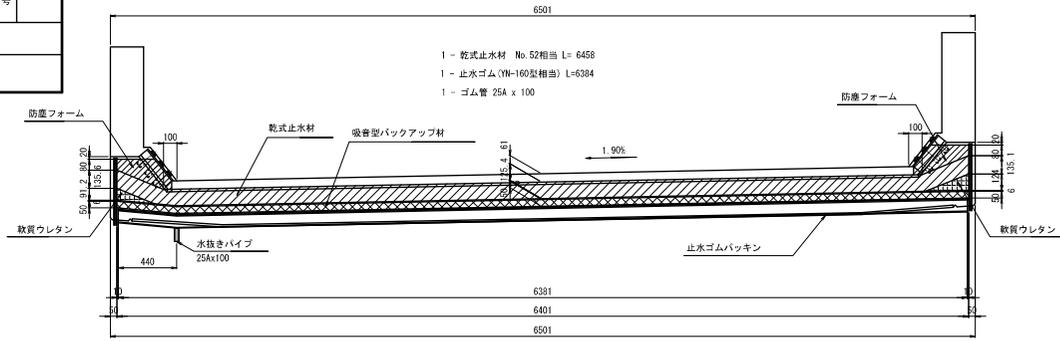
注記
 1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカラーは全てR=35とする。
 3. フィラープレートは現場実測後製作とする。

Dランプ第3橋 伸縮装置詳細図(その3)

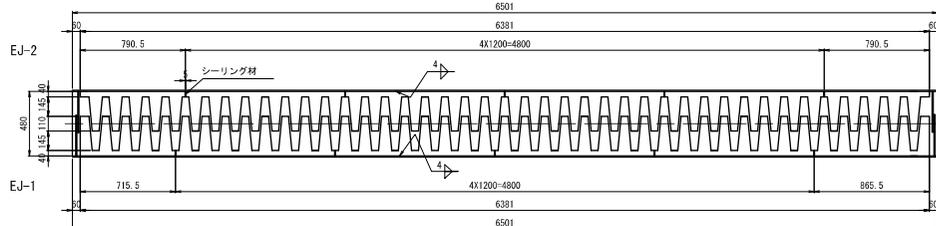
S=1:20

工事名	広島高速5号線道路JCT橋上施工工事(2工区)		
図面番号	74 / 97	縮尺	1/20
図名	Dランプ第3橋 伸縮装置詳細図(その3)	備考	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

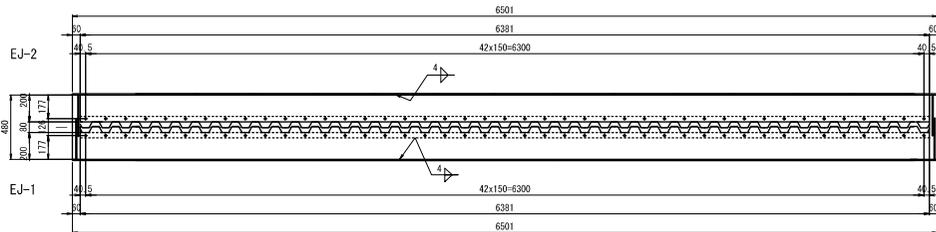
※乾式止水材については、本図相当



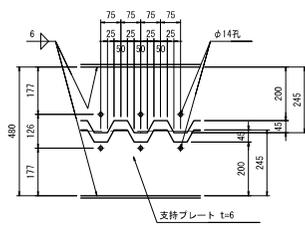
A - A



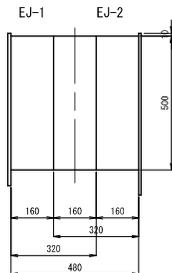
B - B



櫛型支持プレート詳細 S=1:10

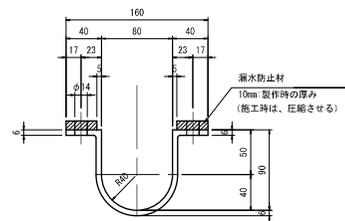


地覆部端部詳細 S=1:10

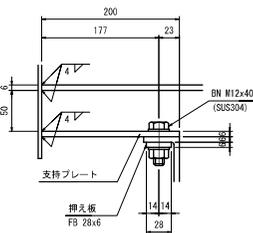


4-End PL 320 x 6 x 500

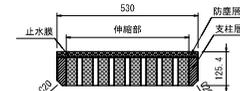
止水ゴムパッキン S=1:3
YN-160型相当



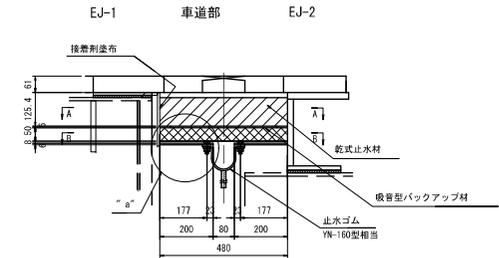
"a"部詳細 S=1:3



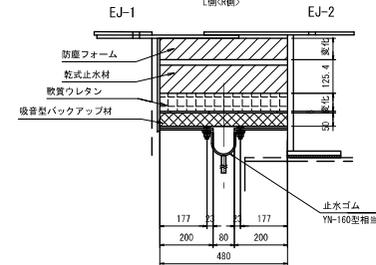
乾式止水材詳細 S=1:10
NO. 52相当



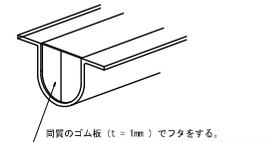
断面図 S=1:10



地覆部



止水ゴムパッキンの端部処理



注記

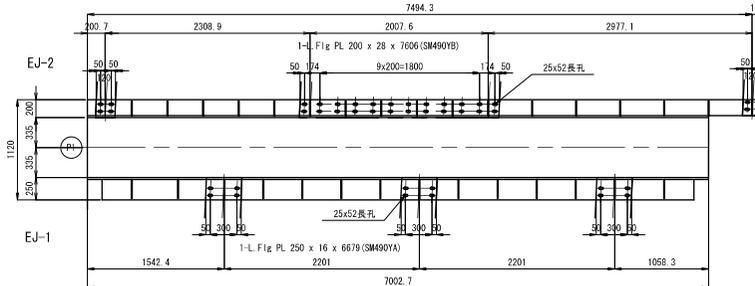
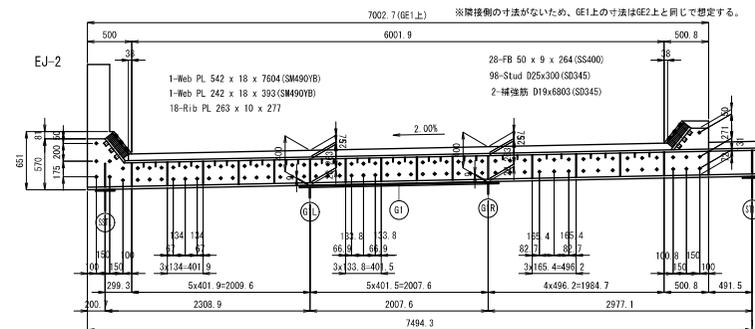
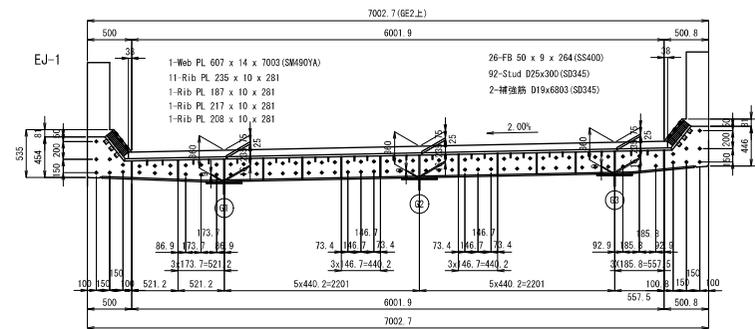
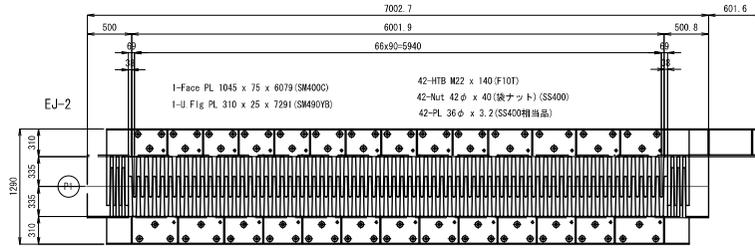
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカップは全てR=35とする。
3. ※印部材は、溶融亜鉛メッキを施す。
付着量は、JIS H8641 HDZ177とする。
ただし、鋼材については、
板厚5mm以上6mm未満の部材はHDZ170
板厚3mm以上5mm未満の部材はHDZ163
板厚2mm以上3mm未満の部材はHDZ156
板厚1mm以上2mm未満の部材および
ボルト・ナット類はHDZ149とする。

Dランプ第3橋 伸縮装置詳細図(その4)

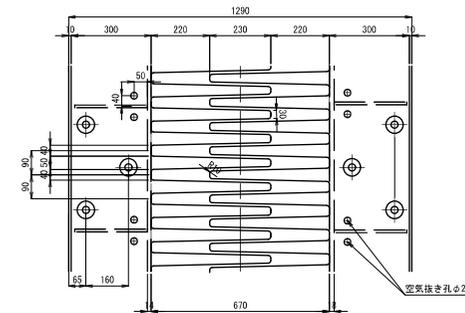
S=1:30

P1

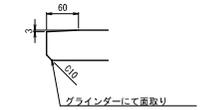
工事名	広島高速5号線道路「CT」橋上工(2工区)		
図面番号	75 / 97	縮尺	1/30
図名	Dランプ第3橋 伸縮装置詳細図(その4)		
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			



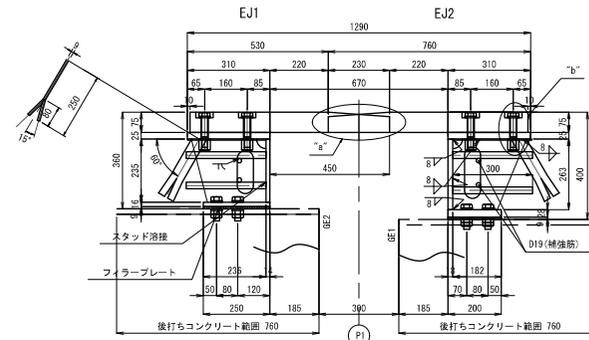
平面図 S=1:10



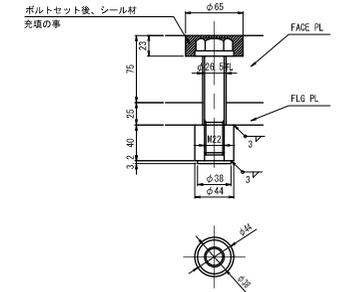
"a"部詳細 S=1:5



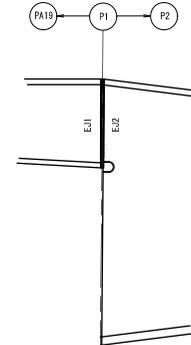
断面図 S=1:10



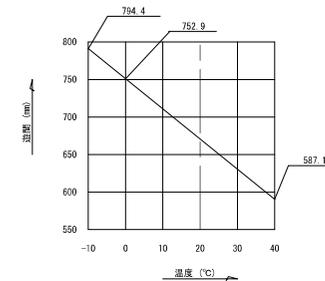
"b"部詳細 S=1:3



配置図



ウェブ遊間



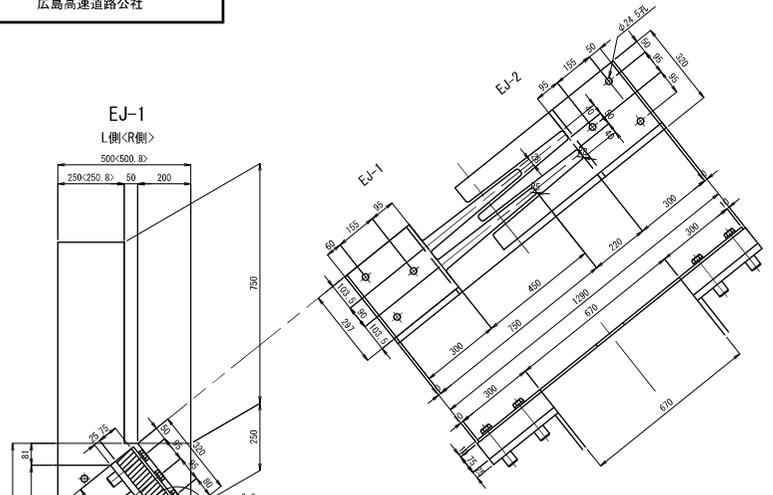
- 注 記
1. 特記なき材質は全てSM400とする。
 2. 特記なきスクリューは全てR-35とする。
 3. フィラプレートは現場実測後製作とする。

Dランプ第3橋 伸縮装置詳細図(その5)

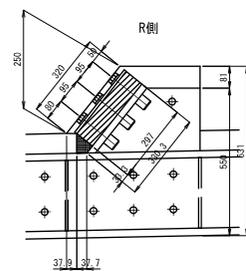
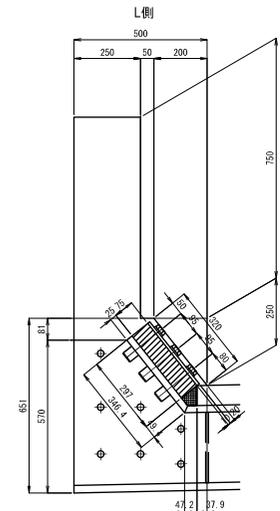
S=1:10

工事名	広島西通り号線道路JCT橋上施工(2工区)		
図面番号	76 / 97	縮尺	1/10
図名	Dランプ第3橋 伸縮装置詳細図(その5)	備考	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

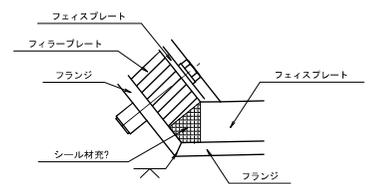
P1



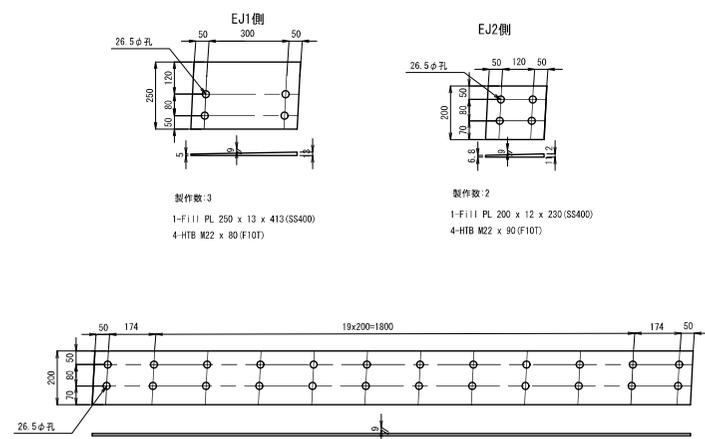
- L側**
- 1-FACE PL 1045 x 10 x 297
 - 2-FILL PL 300 x 75 x 297(SS400)
 - 2-FLG PL 310 x 25 x 346(SM490YB)
 - 6-HTB M22 x 140(F10T)
 - 6-NUT φ42 x 40(袋ナット)
 - 6-PL φ36 x 3.2(SS400相当品)
- R側**
- 1-FACE PL 1045 x 10 x 297
 - 2-FILL PL 300 x 75 x 297(SS400)
 - 1-FLG PL 310 x 25 x 342(SM490YB)
 - 1-FLG PL 310 x 25 x 330(SM490YB)
 - 6-HTB M22 x 140(F10T)
 - 6-NUT φ42 x 40(袋ナット)
 - 6-PL φ36 x 3.2(SS400相当品)



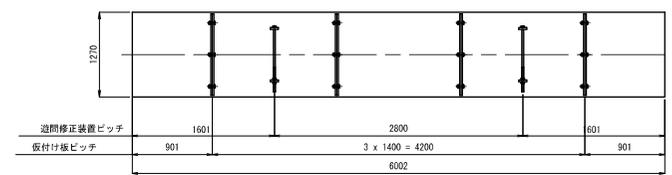
"a"部詳細 1:5



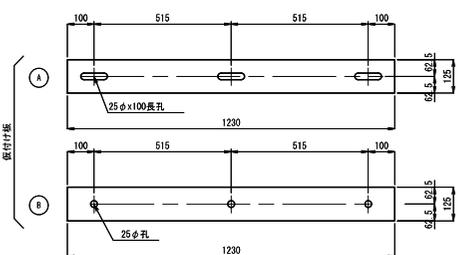
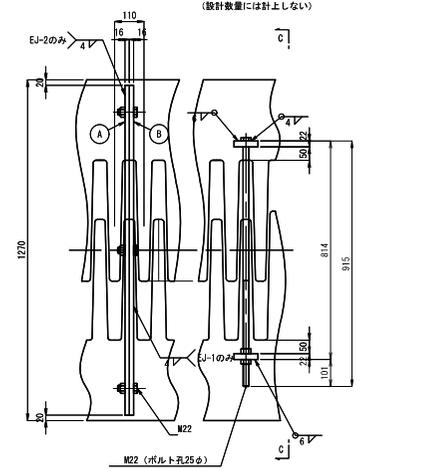
フィラープレート詳細



仮付け板及び遊間修正装置配置図

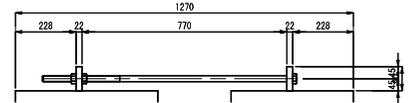


仮付け板及び遊間修正装置



- 仮付け板 製作数: 4組
- 2-PL 125 x 16 x 1230(SS400)
 - 3-BN M22 x 60(SS400)

C-C



- 遊間調整装置 製作数: 2組
- 2-PL 90 x 22 x 90(SS400)
 - 1-RB φ22 x 915(SS400)
 - 3-NUT M22(1種)(SS400)

注記

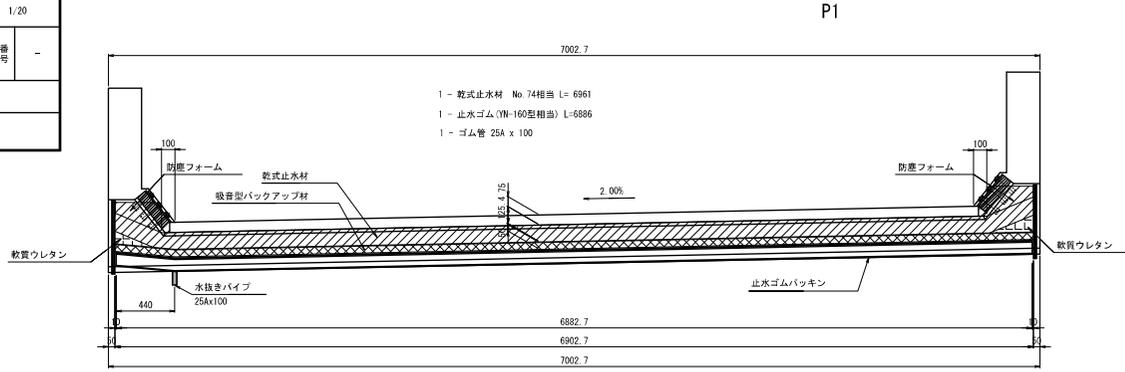
- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
- 特記なきスカラーは全てR-35とする。
- フィラープレートは現場実測後製作とする。

Dランプ第3橋 伸縮装置詳細図(その6)

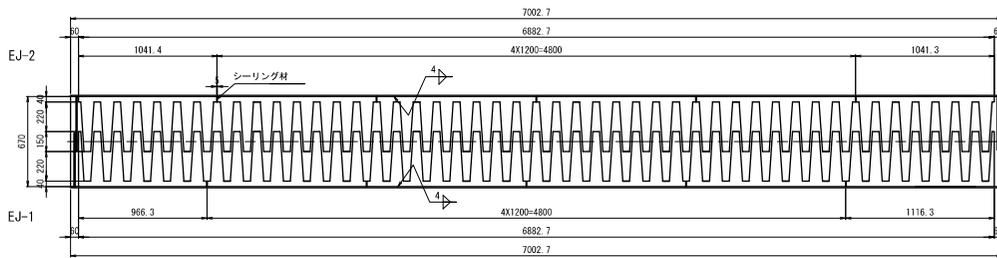
S=1:20

工事名	広島高速5号線道路JCT橋上施工(2工区)		
図面番号	77 / 97	階尺	1/20
図名	Dランプ第3橋 伸縮装置詳細図(その6)	備考	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

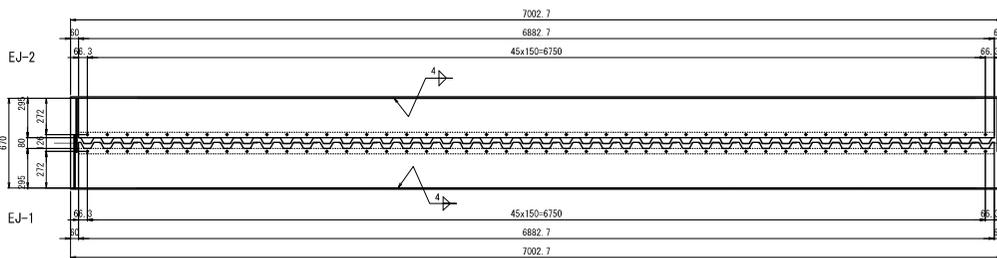
※乾式止水材については、本図相当



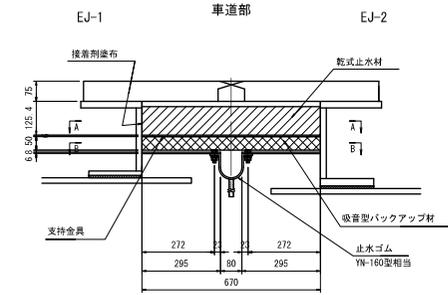
A - A



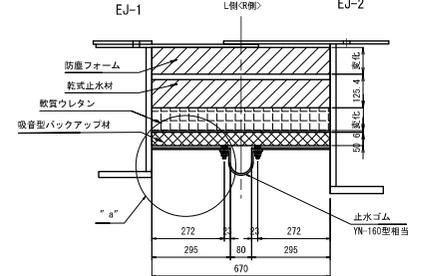
B - B



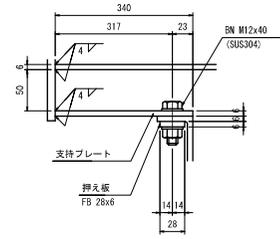
断面図 S=1:10



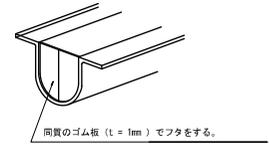
地覆部



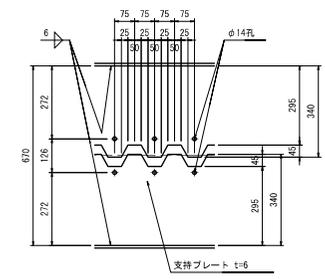
"a"部詳細 S=1:3



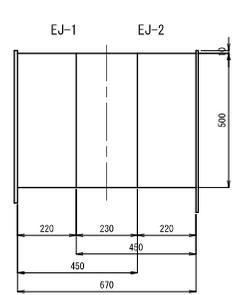
止水ゴムパッキンの端部処理



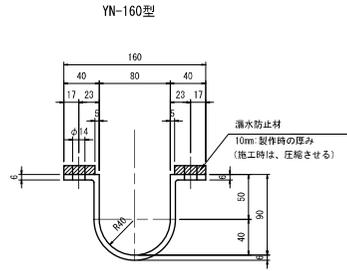
楯型支持プレート詳細 S=1:10



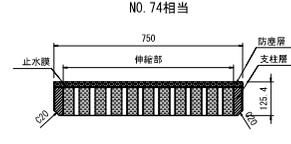
地覆部端部詳細 S=1:10



止水ゴムパッキン YN-160型 S=1:3



乾式止水材詳細 S=1:10



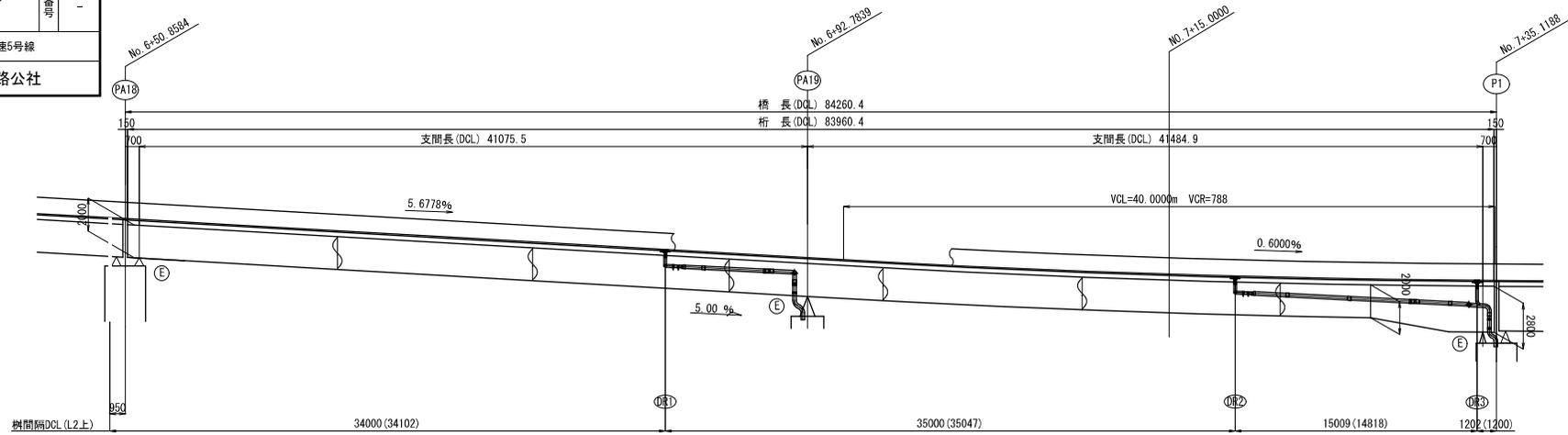
注記

1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. 特記なきスクラップは全てR=35とする。
3. ※印部材は、溶融亜鉛メッキを施す。付着量を、JIS H8641 HDZ177とする。ただし、鋼材については、板厚5mm以上6mm未満の部材はHDZ170 板厚3mm以上5mm未満の部材はHDZ163 板厚2mm以上3mm未満の部材はHDZ156 板厚1mm以上2mm未満の部材およびボルト・ナット類はHDZ149とする。

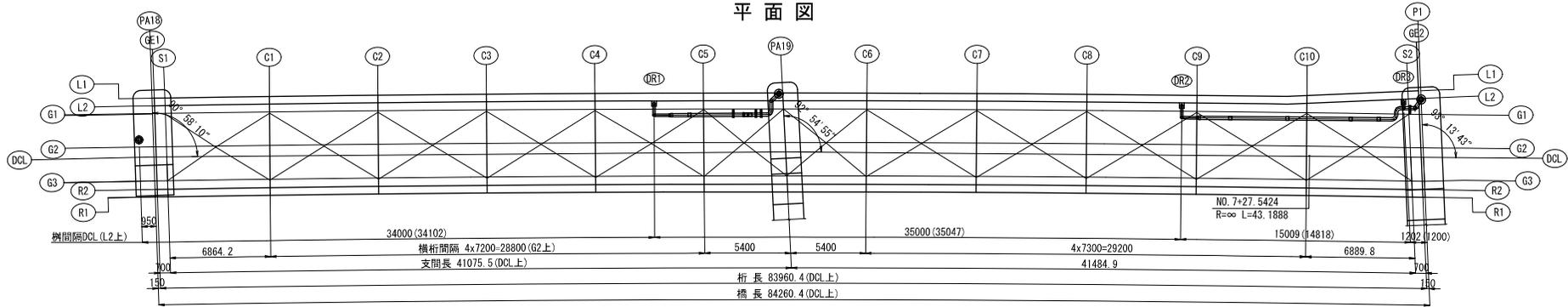
Dランプ第3橋 排水系統図 S=1:150

工事名	広島高速5号線品川CT橋上部工事(2工区)		
図面番号	78 / 97	縮尺	1/150
図名	Dランプ第3橋 排水系統図	番号	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

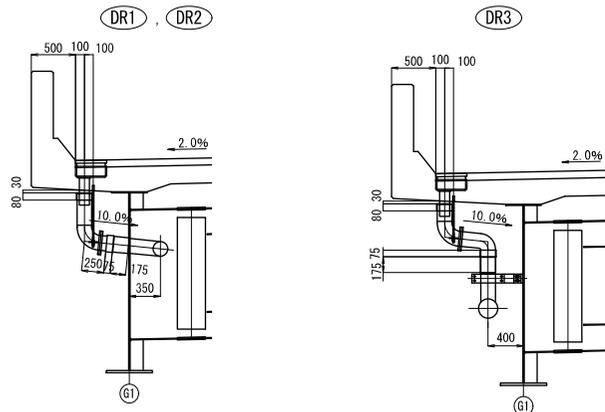
側面図



平面図



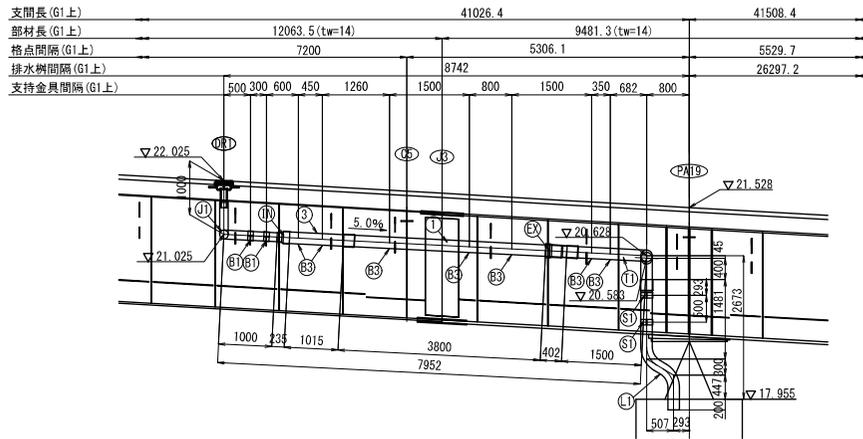
断面図



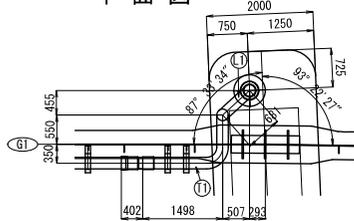
Dランプ第3橋 上部工排水装置(その1) S=1:50

工事名	広島高速5号線品川CT橋上部工事(2工区)		
図面番号	79 / 97	縮尺	1/50
図名	Dランプ第3橋 上部工排水装置(その1)	番号	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

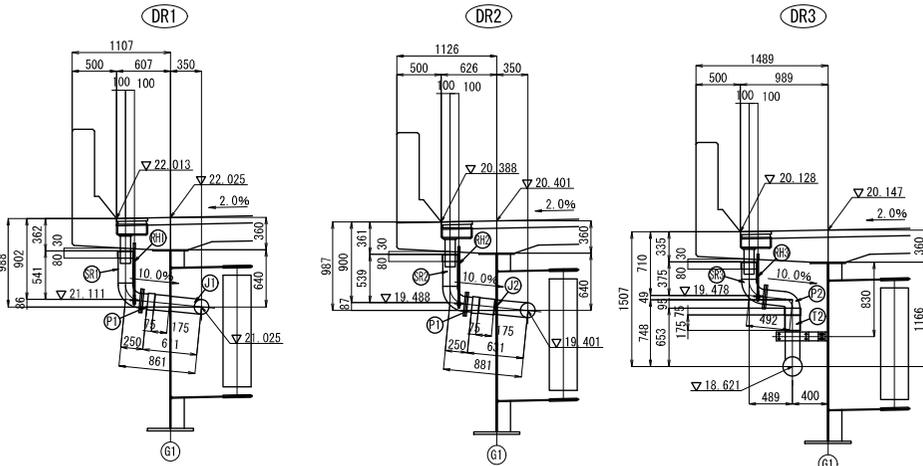
側面図



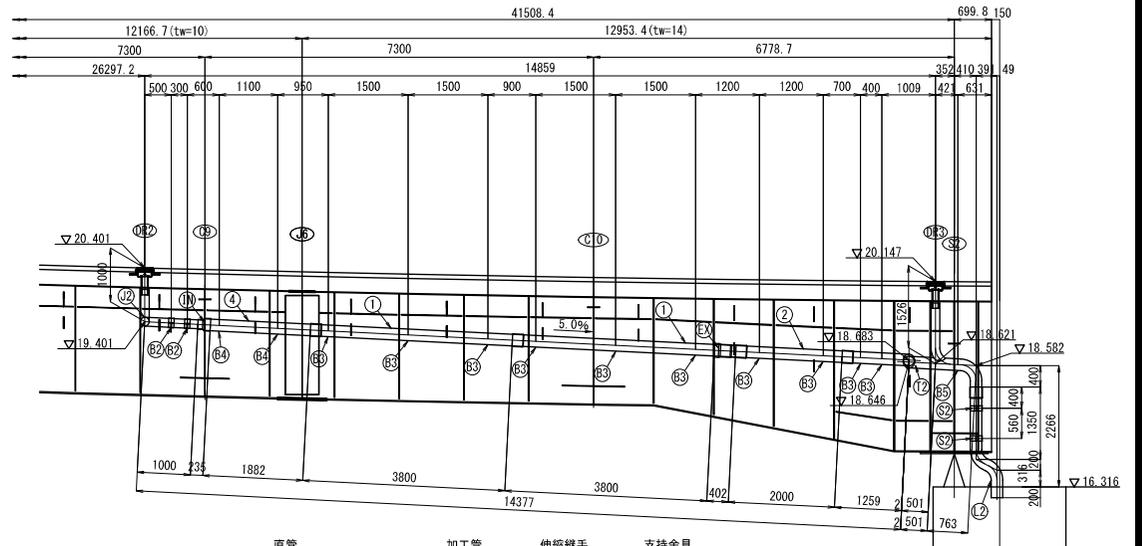
平面図



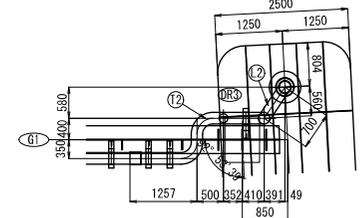
断面図 S=1:30



側面図



平面図

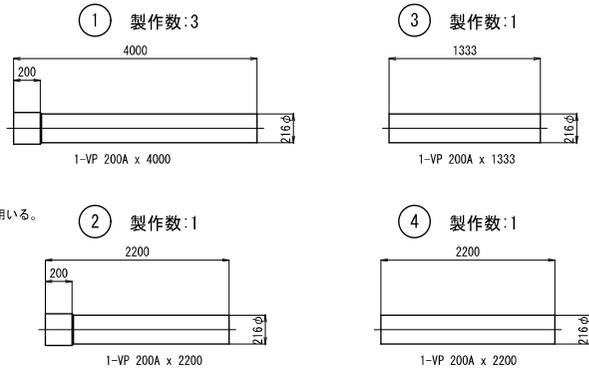


- | | | | |
|--|---|--|--|
| <p>面管</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 3-VP 200A x 4000 ② 1-VP 200A x 2200 ③ 1-VP 200A x 1333 ④ 1-VP 200A x 2200 | <p>加工管</p> <ul style="list-style-type: none"> T1 1個 T2 1個 P1 2個 P2 1個 SR1 1個 SR2 1個 SR3 3個 L1 1個 L2 2個 | <p>伸縮継手</p> <ul style="list-style-type: none"> EX 2個 IN 2個 <p>排水柵</p> <ul style="list-style-type: none"> DR1 1個 DR2 1個 DR3 1個 | <p>支持金具</p> <ul style="list-style-type: none"> B1 2個 B2 2個 B3 17個 B4 2個 B5 1個 RH1 1個 RH2 1個 RH3 1個 |
|--|---|--|--|

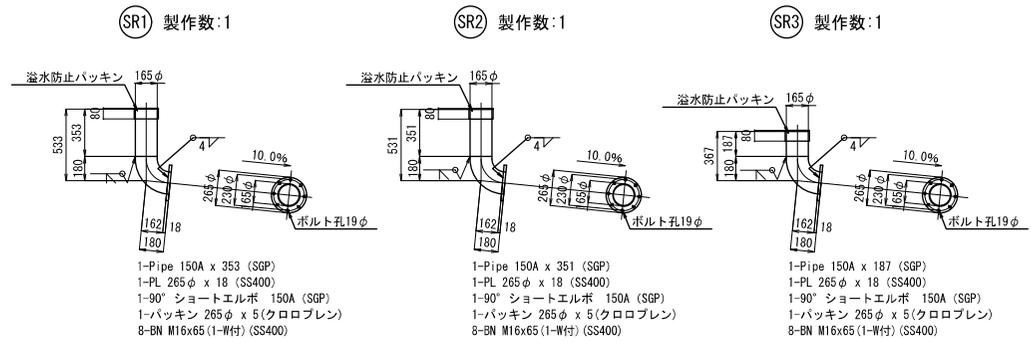
Dランプ第3橋 上部工排水装置(その2) S=1:20

工事名	広島高速5号線道路JCT側上部工事(2工区)		
図面番号	80 / 97	縮尺	1/20
図名	Dランプ第3橋 上部工排水装置(その2)	番号	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

直管



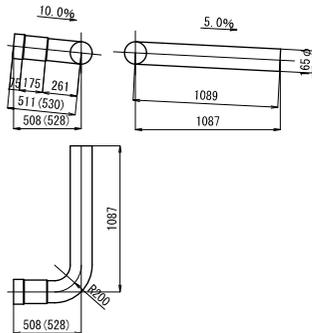
チーズ管



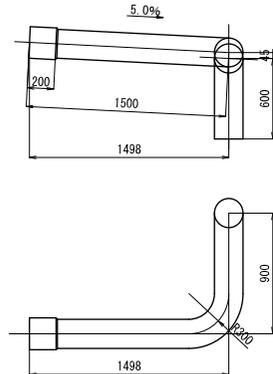
注記

- 材料は、全て溶融亜鉛メッキを施す。付着量を、JIS H8641 HDZT77とする。ただし、鋼材については、板厚5mm以上6mm未満の部材はHDZT70、板厚3mm以上5mm未満の部材はHDZT63、板厚2mm以上3mm未満の部材はHDZT56、板厚1mm以上2mm未満の部材およびボルト・ナット類はHDZT49とする。
- 普通ボルトは、全てゆるみ止めナットを使用する。
- ゴム板は、クロロブレンゴム(硬度40°以上)を用いる。

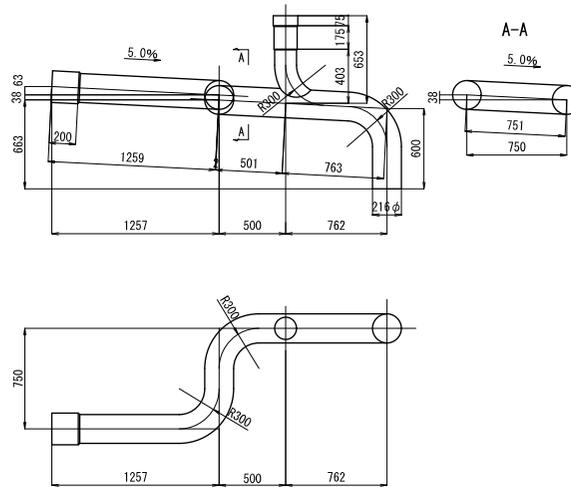
①J1 ①J2 製作数: 各1



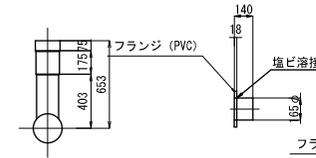
①T1 製作数: 1



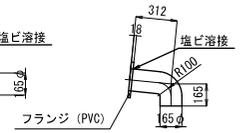
①T2 製作数: 1



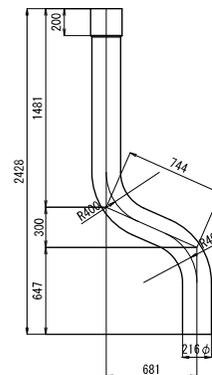
①P1 製作数: 2



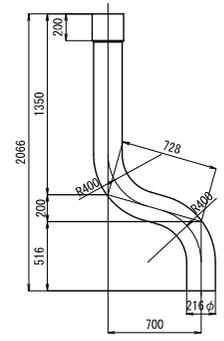
①P2 製作数: 1



①L1 製作数: 1



①L2 製作数: 1

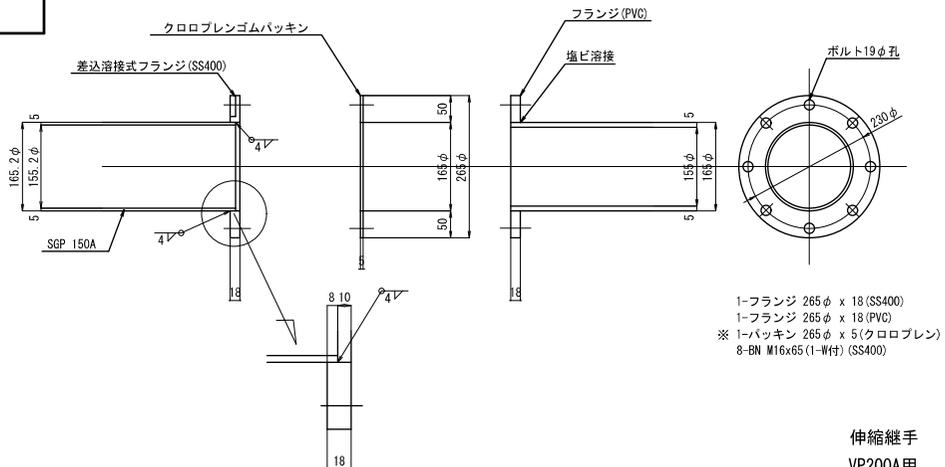


工事名	広島高速5号線道路JCT親上部工事(2工区)		
図面番号	81 / 97	縮尺	1/5
図名	Dランプ第3橋 上部工排水装置(その3)	番号	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

Dランプ第3橋 上部工排水装置(その3) S=1:5

SGP管接続詳細

SGP150A用 製作数:3



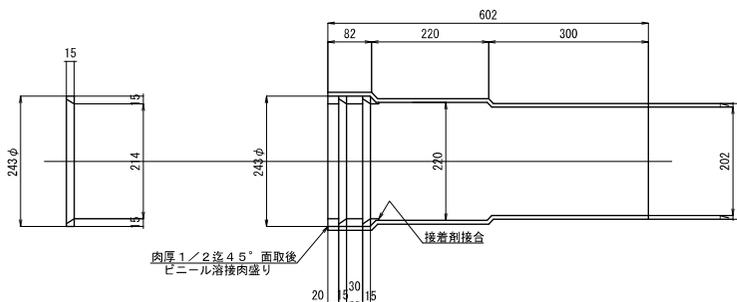
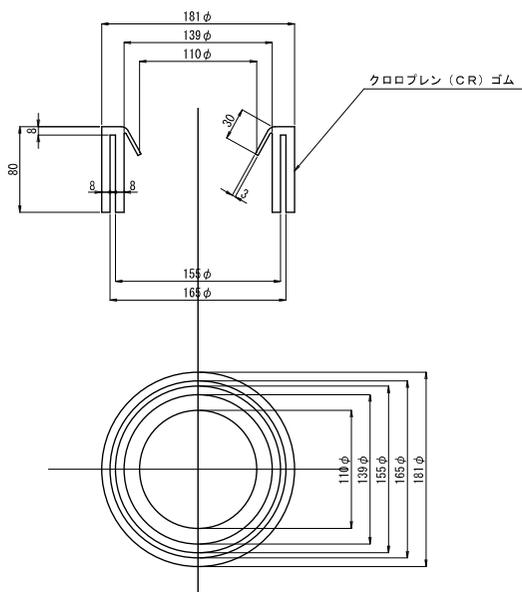
- 1-フランジ 265φ x 18 (SS400)
- 1-フランジ 265φ x 18 (PVC)
- ※ 1-パッキン 265φ x 5 (クロロブレン)
- 8-BN M16x65 (1-W付) (SS400)

伸縮継手 VP200A用

EX 製作数:2

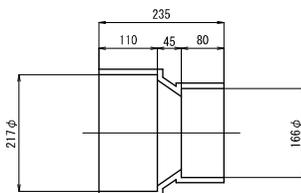
溢水防止用パッキン S=1:2.5

VP150A用 製作数:3



VP200A x VP150A用

IN 製作数:2



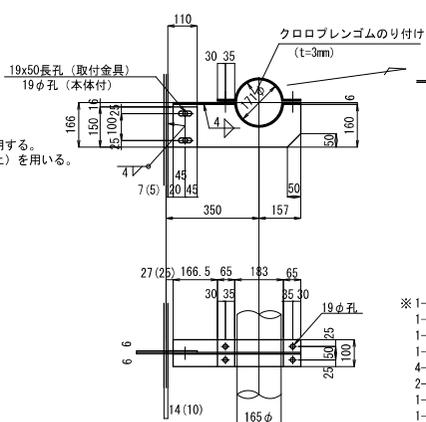
Dランプ第3橋 上部工排水装置(その4) S=1:10

支持金具

工事名	広島高速5号線道路JCT橋上部工事(2工区)		
図面番号	82 / 97	縮尺	1/10
図名	Dランプ第3橋 上部工排水装置(その4)	番号	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

(B1) (B2)

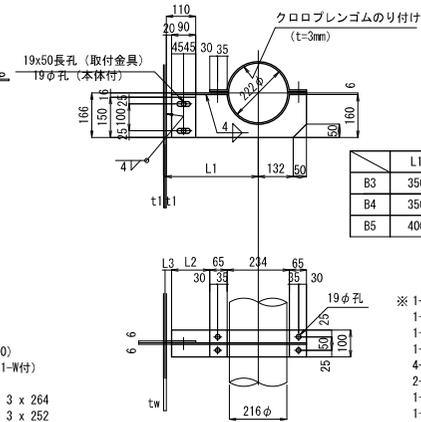
製作数: 2 (2)



- ※1-PL 110 x 6 x 150
- 1-PL 160 x 6 x 480 (482)
- 1-PL 100 x 6 x 575 (577)
- 1-PL 100 x 6 x 408 (SS400)
- 4-BN M16 x 40 (SS400) (1-W付)
- 2-TCB M16 x 40 (S8T)
- 1-クロロレンゴム 100 x 3 x 264
- 1-クロロレンゴム 100 x 3 x 252

(B3) ~ (B5)

製作数: n

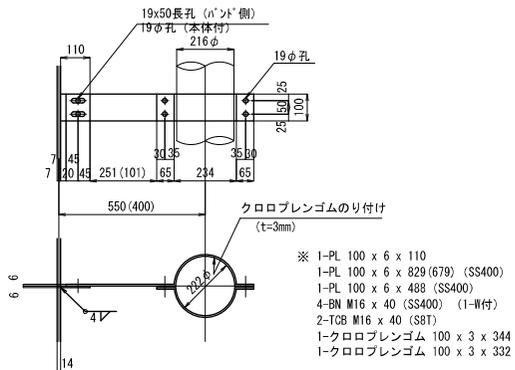


	L1	L2	L3	tw	t1	l1	l2	n
B3	350	141	27	14	7	629	505	2
B4	350	143	25	10	5	631	507	17
B5	400	191	27	14	7	679	555	1

- ※1-PL 110 x 6 x 150
- 1-PL 160 x 6 x 11
- 1-PL 100 x 6 x 12
- 1-PL 100 x 6 x 488 (SS400)
- 4-BN M16 x 40 (SS400) (1-W付)
- 2-TCB M16 x 40 (S8T)
- 1-クロロレンゴム 100 x 3 x 344
- 1-クロロレンゴム 100 x 3 x 332

(S1) (S2)

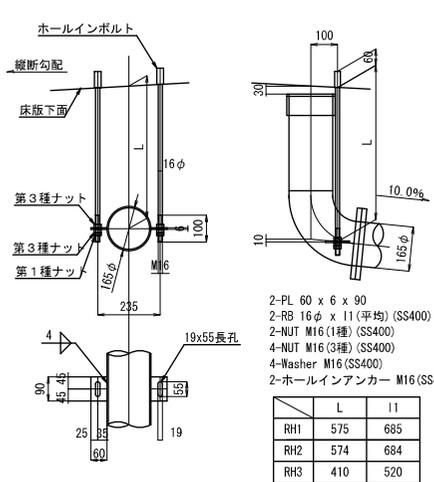
製作数: 2 (2)



- ※1-PL 100 x 6 x 110
- 1-PL 100 x 6 x 829 (679) (SS400)
- 1-PL 100 x 6 x 488 (SS400)
- 4-BN M16 x 40 (SS400) (1-W付)
- 2-TCB M16 x 40 (S8T)
- 1-クロロレンゴム 100 x 3 x 344
- 1-クロロレンゴム 100 x 3 x 332

(RH1) ~ (RH3)

製作数: 各1

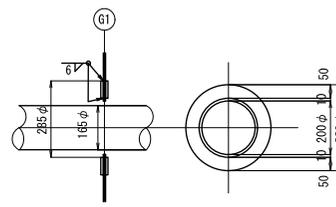


- 2-PL 60 x 6 x 90
- 2-RB 16φ x 11 (平均) (SS400)
- 2-NUT M16 (1種) (SS400)
- 4-NUT M16 (3種) (SS400)
- 4-Washer M16 (SS400)
- 2-ホールインアンカー M16 (SS400)

	L	l1
RH1	575	685
RH2	574	684
RH3	410	520

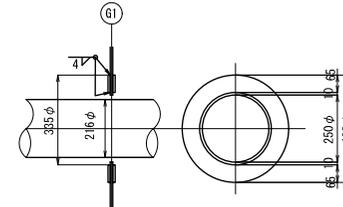
排水貫通孔詳細

製作数: 2



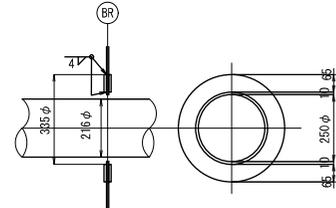
※2-PL φ320 x 14 (母材と同材質)
(数量は主桁で計上する。)

製作数: 2



※2-PL φ400 x 14 (母材と同材質)
(数量は主桁で計上する。)

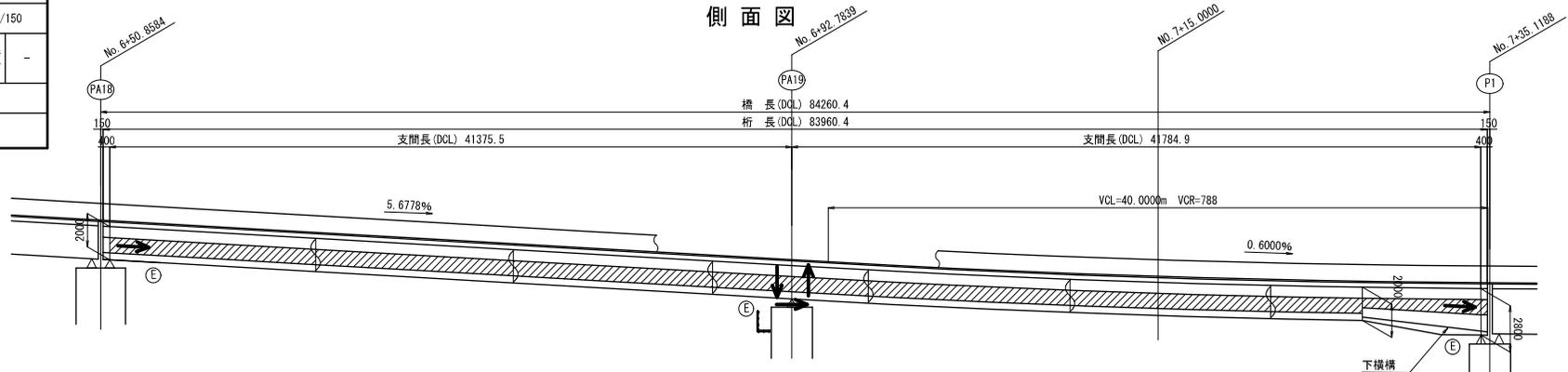
製作数: 3



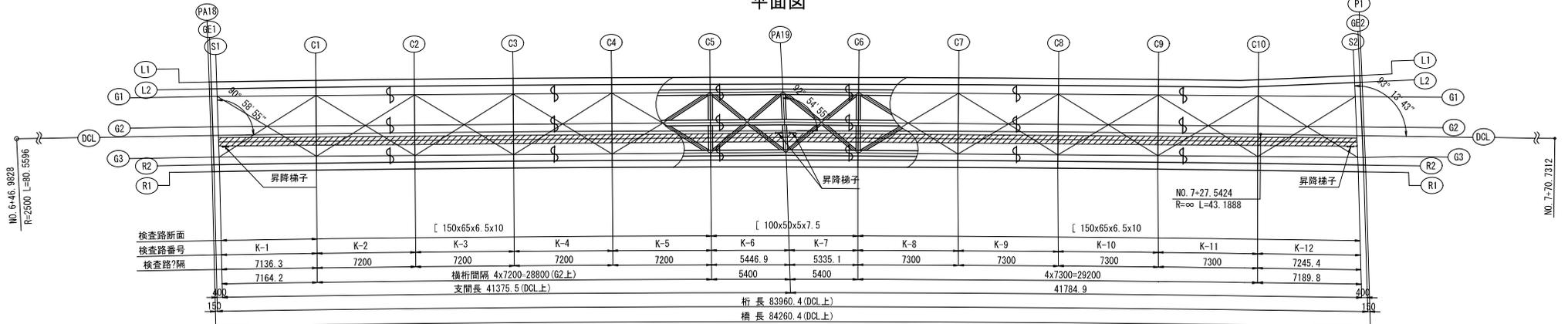
※2-PL φ400 x 9 (母材と同材質)
(数量は横桁で計上する。)

Dランプ第3橋 検査路系統図 S=1:150

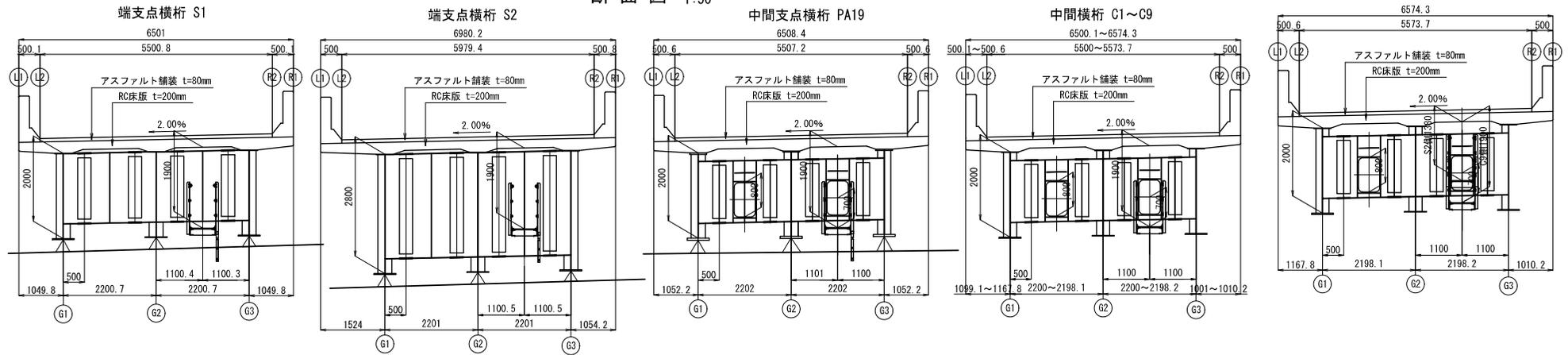
工事名	広島高速5号線品川CT橋上部工事(2工区)		
図面番号	84 / 97	縮尺	1/150
図名	Dランプ第3橋 検査路系統図	番号	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			



平面図



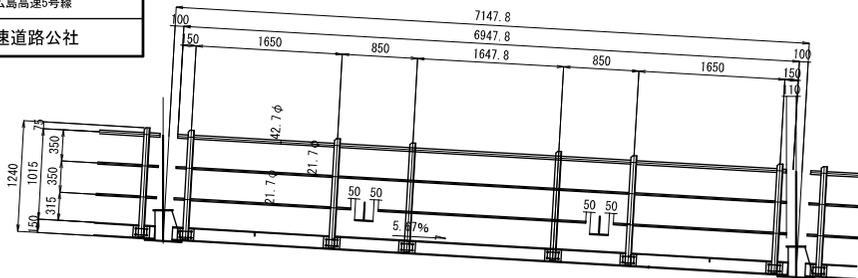
断面図 1:50



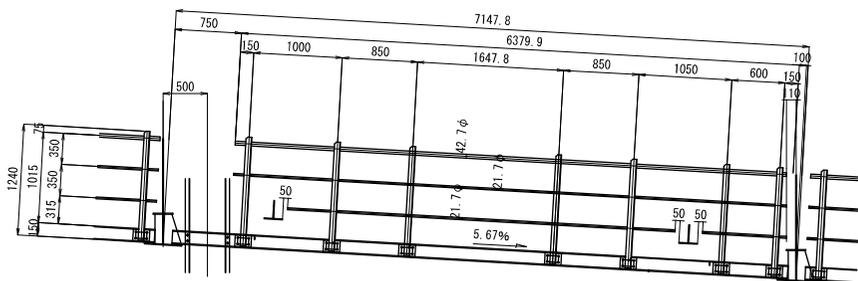
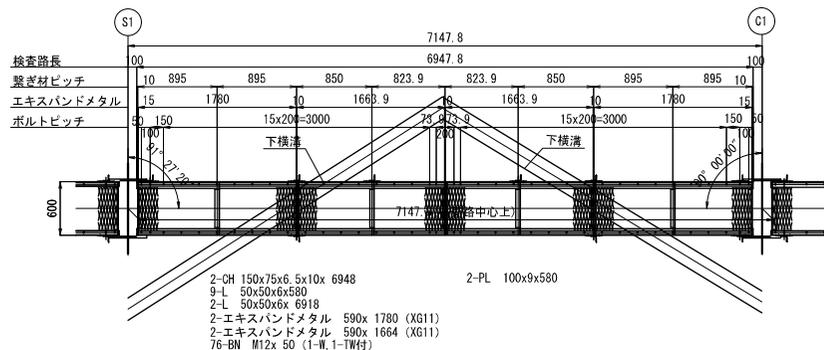
Dランプ第3橋 上部工検査路(その1) S=1:30

工事名	広島高速5号線道路JCT橋上部工事(2工区)		
図面番号	85 / 97	縮尺	1/30
図名	Dランプ第3橋 上部工検査路(その1)	番	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

K1
製作数:1



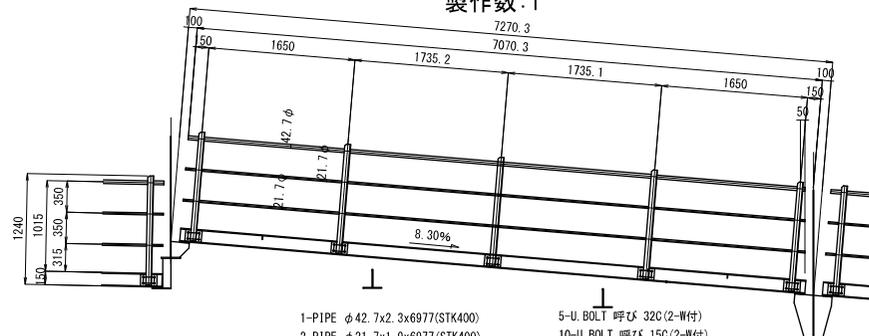
- 1-PIPE φ42.7x2.3x6872(STK400)
- 1-PIPE φ21.7x1.9x6892(STK400)
- 1-PIPE φ21.7x1.9x1991(STK400)
- 1-PIPE φ21.7x1.9x2346(STK400)
- 1-PIPE φ21.7x1.9x1955(STK400)
- 6-L 65x65x6x1220
- 6-PL 130x9x185(SM400A)
- 24-BN M16x40(2-W付)
- 6-U.BOLT 呼び 32C(2-W付)
- 12-U.BOLT 呼び 15C(2-W付)



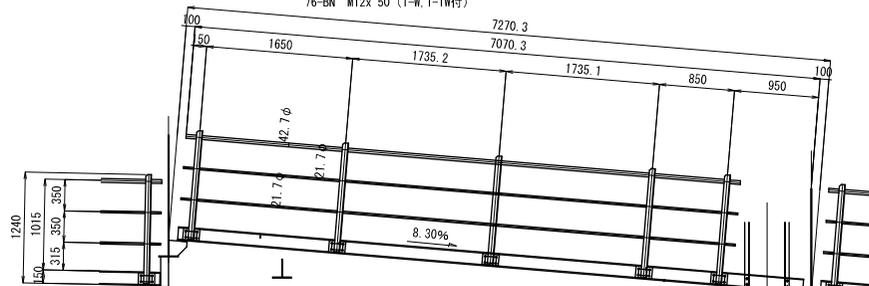
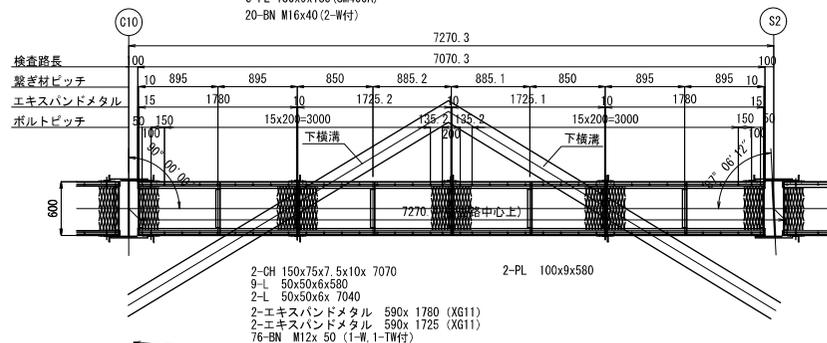
- 1-PIPE φ42.7x2.3x6222(STK400)
- 1-PIPE φ21.7x1.9x6242(STK400)
- 1-PIPE φ21.7x1.9x4376(STK400)
- 1-PIPE φ21.7x1.9x947(STK400)
- 7-L 65x65x6x1220
- 7-PL 130x9x185(SM400A)
- 28-BN M16x40(2-W付)
- 7-U.BOLT 呼び 32C(2-W付)
- 13-U.BOLT 呼び 15C(2-W付)

K12

製作数:1



- 1-PIPE φ42.7x2.3x6977(STK400)
- 2-PIPE φ21.7x1.9x6977(STK400)
- 5-L 65x65x6x1220
- 5-PL 130x9x185(SM400A)
- 20-BN M16x40(2-W付)
- 5-U.BOLT 呼び 32C(2-W付)
- 10-U.BOLT 呼び 15C(2-W付)



- 1-PIPE φ42.7x2.3x6270(STK400)
- 2-PIPE φ21.7x1.9x6270(STK400)
- 5-L 65x65x6x1220
- 5-PL 130x9x185(SM400A)
- 20-BN M16x40(2-W付)
- 5-U.BOLT 呼び 32C(2-W付)
- 10-U.BOLT 呼び 15C(2-W付)

注記

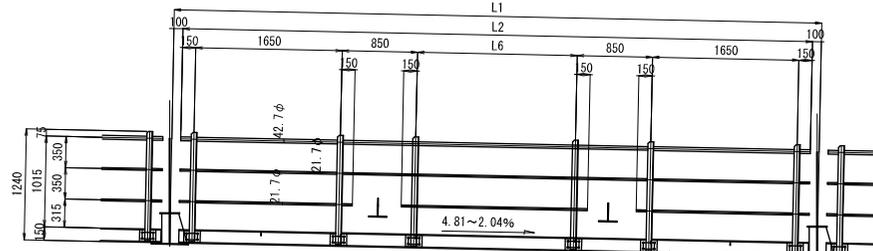
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3. ※印を除く鋼材は、全て溶融亜鉛メッキとする。ただし、鋼材については、板厚5mm以上6mm未満の部材はHDZ170 板厚3mm以上5mm未満の部材はHDZ163 板厚2mm以上3mm未満の部材はHDZ156 板厚1mm以上2mm未満の部材およびボルト・ナット類はHDZ149とする。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

Dランプ第3橋 上部工検査路(その2) S=1:30

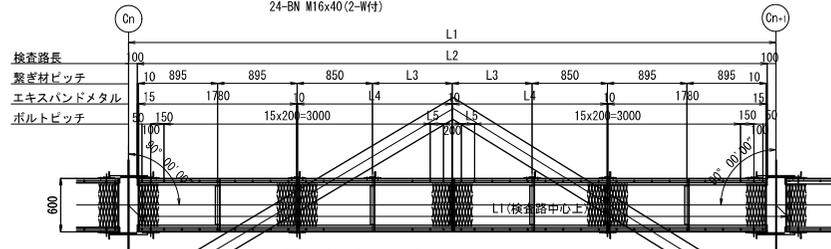
工事名	広島高速5号線道路JCT橋上部工事(2工区)		
図面番号	86 / 97	縮尺	1/30
図名	Dランプ第3橋 上部工検査路(その2)	番号	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

K8~K11

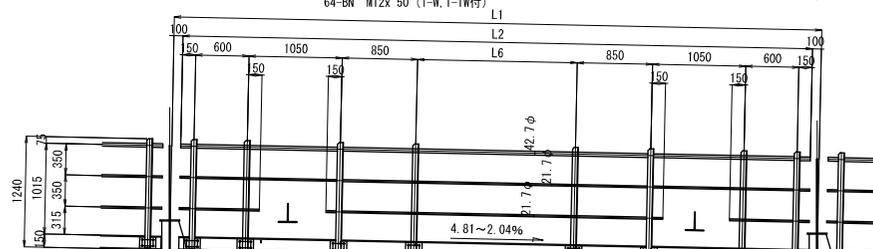
製作数:4



- 1-PIPE φ42.7x2.3xLL2 (STK400)
- 1-PIPE φ21.7x1.9xLL2 (STK400)
- 2-PIPE φ21.7x1.9x1950 (STK400)
- 1-PIPE φ21.7x1.9xLL5 (STK400)
- 6-L 65x65x6x1220
- 6-PL 130x9x185 (SM400A)
- 24-BN M16x40 (2-W付)
- 6-U. BOLT 呼び 32C (2-W付)
- 12-U. BOLT 呼び 15C (2-W付)



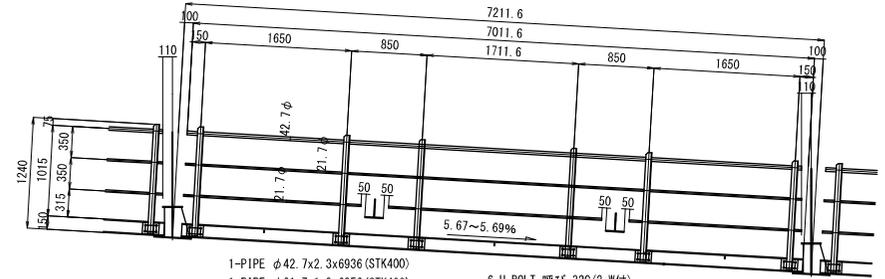
- 2-CH 150x75x6.5x10x LL2
- 9-L 50x50x6x580
- 2-L 50x50x6x LL1
- 2-エキスパンドメタル 590x 1780 (XG11)
- 2-エキスパンドメタル 590x LL4 (XG11)
- 64-BN M12x 50 (1-W, 1-TW付)
- 2-PL 100x9x580



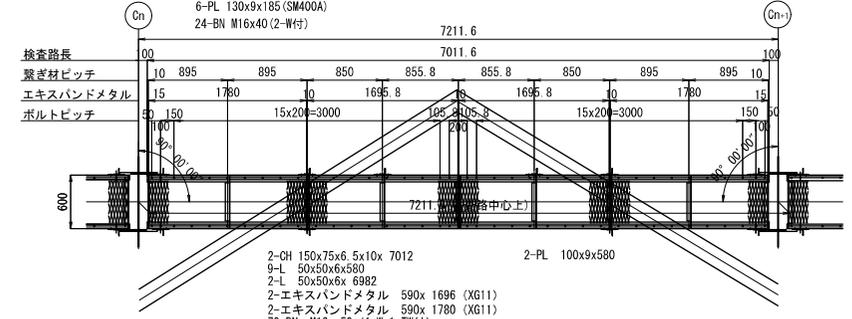
- 1-PIPE φ42.7x2.3xLL2 (STK400)
- 1-PIPE φ21.7x1.9xLL2 (STK400)
- 2-PIPE φ21.7x1.9x900 (STK400)
- 1-PIPE φ21.7x1.9xLL6 (STK400)
- 8-L 65x65x6x1220
- 8-PL 130x9x185 (SM400A)
- 32-BN M16x40 (2-W付)
- 8-U. BOLT 呼び 32C (2-W付)
- 16-U. BOLT 呼び 15C (2-W付)

	Cn	Cn+1	L1	L2	L3	L4	L5	L6	LL1	LL2	LL4	LL5	LL6	θ 1	θ 2
K8	C6	C7	7308.4	7108.4	904.2	1744.2	154.2	1808.4	7078	7108	1744	2108	3808	90° 00' 00"	90° 00' 00"
K9	C7	C8	7305.5	7105.5	902.8	1742.8	152.8	1805.5	7076	7106	1743	2106	3806	90° 00' 00"	90° 00' 00"
K10	C8	C9	7303.2	7103.2	901.6	1741.6	151.6	1803.2	7073	7103	1742	2103	3803	90° 00' 00"	90° 00' 00"
K11	C9	C10	7301.5	7101.5	900.8	1740.8	150.8	1801.5	7072	7102	1741	2102	3802	90° 00' 00"	90° 00' 00"

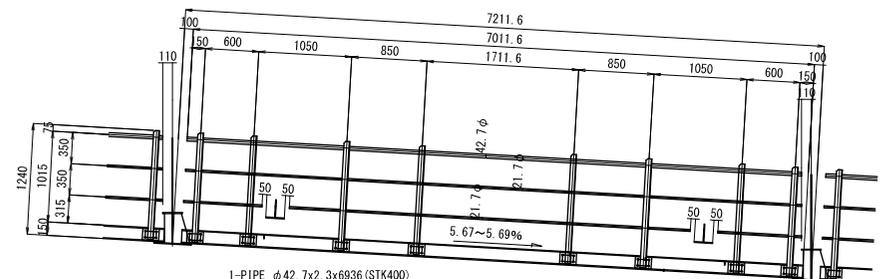
K2~K5
製作数:4



- 1-PIPE φ42.7x2.3x6936 (STK400)
- 1-PIPE φ21.7x1.9x6956 (STK400)
- 1-PIPE φ21.7x1.9x2002 (STK400)
- 1-PIPE φ21.7x1.9x2408 (STK400)
- 1-PIPE φ21.7x1.9x1945 (STK400)
- 6-L 65x65x6x1220
- 6-PL 130x9x185 (SM400A)
- 24-BN M16x40 (2-W付)
- 6-U. BOLT 呼び 32C (2-W付)
- 12-U. BOLT 呼び 15C (2-W付)



- 2-CH 150x75x6.5x10x 7012
- 9-L 50x50x6x580
- 2-L 50x50x6x 6982
- 2-エキスパンドメタル 590x 1696 (XG11)
- 2-エキスパンドメタル 590x 1780 (XG11)
- 70-BN M12x 50 (1-W, 1-TW付)
- 2-PL 100x9x580



- 1-PIPE φ42.7x2.3x6936 (STK400)
- 1-PIPE φ21.7x1.9x6956 (STK400)
- 1-PIPE φ21.7x1.9x883 (STK400)
- 1-PIPE φ21.7x1.9x4528 (STK400)
- 1-PIPE φ21.7x1.9x945 (STK400)
- 8-L 65x65x6x1220
- 8-PL 130x9x185 (SM400A)
- 32-BN M16x40 (2-W付)
- 8-U. BOLT 呼び 32C (2-W付)
- 16-U. BOLT 呼び 15C (2-W付)

- 注記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
 - ※印を除く鋼材は、全て溶融亜鉛メッキとする。付着量を、JIS H8641 HDZ177とする。ただし、鋼材については、板厚5mm以上6mm未満の部材はHDZ170、板厚3mm以上5mm未満の部材はHDZ163、板厚2mm以上3mm未満の部材はHDZ156、板厚1mm以上2mm未満の部材およびボルト・ナット頭はHDZ149とする。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

Dランプ第3橋 上部工検査路(その3) S=1:30

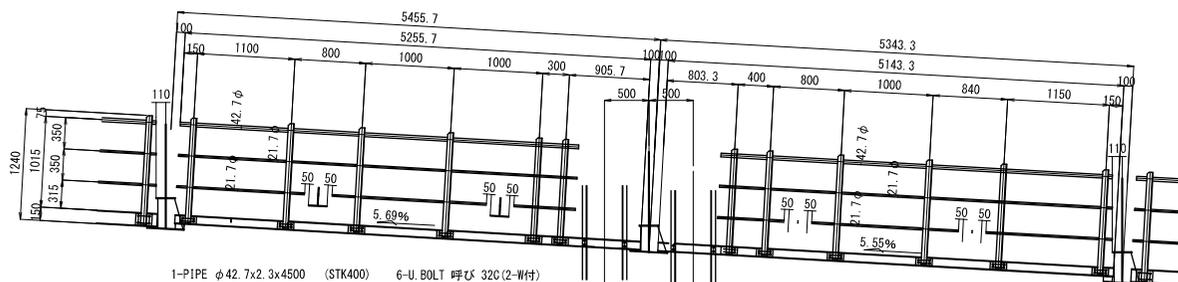
工事名	広島高速5号線品川CT橋上部工事(2工区)		
図面番号	87 / 97	縮尺	1/30
図名	Dランプ第3橋 上部工検査路(その3)	番号	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

K6

製作数:1

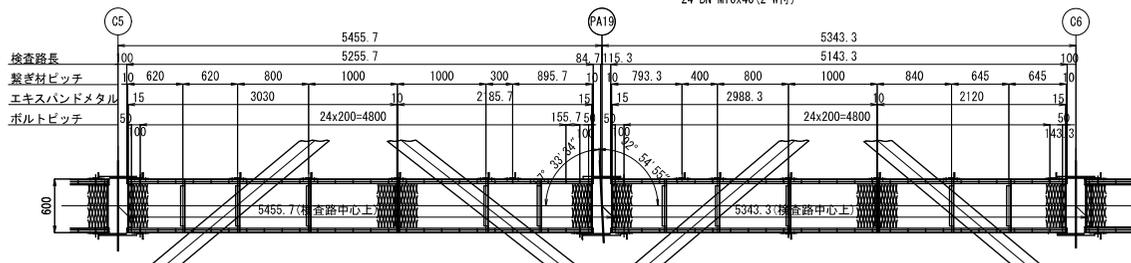
K7

製作数:1



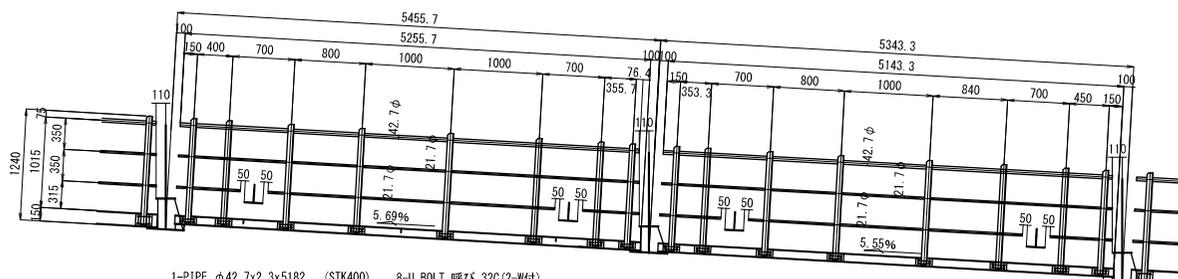
- 1-PIPE φ42.7x2.3x4500 (STK400) 6-U. BOLT 呼び 32C(2-W付)
 1-PIPE φ21.7x1.9x4500 (STK400) 12-U. BOLT 呼び 15C(2-W付)
 1-PIPE φ21.7x1.9x1444
 1-PIPE φ21.7x1.9x1743
 1-PIPE φ21.7x1.9x693
 6-L 65x65x6x1170
 6-PL 80x9x185(SM400A)
 24-BN M16x40(2-W付)

- 1-PIPE φ42.7x2.3x4418 (STK400) 6-U. BOLT 呼び 32C(2-W付)
 1-PIPE φ21.7x1.9x4437 (STK400) 12-U. BOLT 呼び 15C(2-W付)
 1-PIPE φ21.7x1.9x751
 1-PIPE φ21.7x1.9x1657
 1-PIPE φ21.7x1.9x1429
 6-L 65x65x6x1170
 6-PL 80x9x185(SM400A)
 24-BN M16x40(2-W付)



- 2-CH 100x50x5x7.5x5256 1-PL 100x9x580
 8-L 50x50x6x590 1-PL 100x59x580
 2-L 50x50x6x5226
 1-エキスバンドメタル 590x 3030 (XG11)
 1-エキスバンドメタル 590x 2186 (XG11)
 56-BN M12x 50 (1-W, 1-W付)

- 2-CH 100x50x5x7.5x5143 1-PL 100x9x580
 8-L 50x50x6x590 1-PL 100x59x580
 2-L 50x50x6x5113
 1-エキスバンドメタル 590x 2998 (XG11)
 1-エキスバンドメタル 590x 2120 (XG11)
 54-BN M12x 50 (1-W, 1-W付)



- 1-PIPE φ42.7x2.3x5182 (STK400) 8-U. BOLT 呼び 32C(2-W付)
 1-PIPE φ21.7x1.9x5202 (STK400) 16-U. BOLT 呼び 15C(2-W付)
 1-PIPE φ21.7x1.9x720
 1-PIPE φ21.7x1.9x3242
 1-PIPE φ21.7x1.9x640
 8-L 65x65x6x1170
 8-PL 80x9x185(SM400A)
 32-BN M16x40(2-W付)

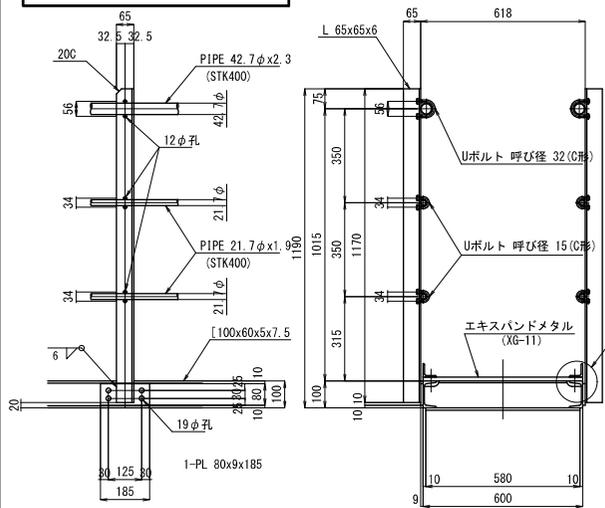
- 1-PIPE φ42.7x2.3x5071 (STK400) 8-U. BOLT 呼び 32C(2-W付)
 1-PIPE φ21.7x1.9x5091 (STK400) 16-U. BOLT 呼び 15C(2-W付)
 1-PIPE φ21.7x1.9x691
 1-PIPE φ21.7x1.9x3095
 1-PIPE φ21.7x1.9x704
 8-L 65x65x6x1170
 8-PL 80x9x185(SM400A)
 32-BN M16x40(2-W付)

- 注記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
 3. ※印を除く鋼材は、全て溶融亜鉛メッキとする。付着量を、JIS H8641 HDZ177とする。ただし、鋼材については、板厚5mm以上6mm未満の部材はHDZ170、板厚3mm以上5mm未満の部材はHDZ163、板厚2mm以上3mm未満の部材はHDZ156、板厚1mm以上2mm未満の部材およびボルト・ナット頭はHDZ149とする。
 4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

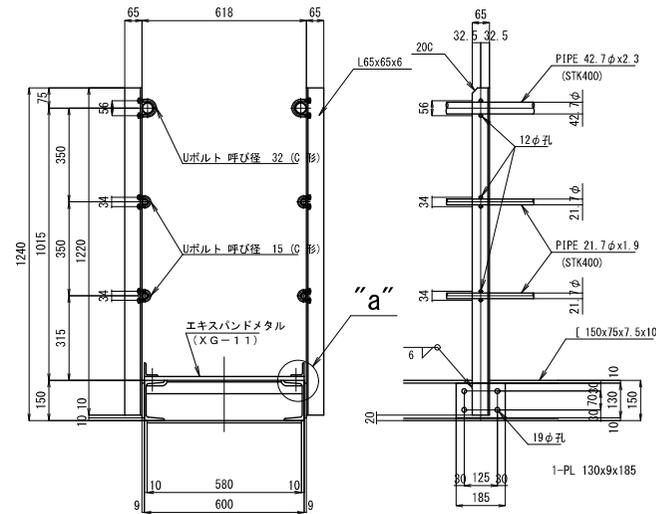
Dランプ第3橋 上部工検査路(その4) S=1:10

工事名	広島高速5号線品川CT橋上部工事(2工区)		
図面番号	88 / 97	縮尺	1/30
図名	Dランプ第3橋 上部工検査路(その4)	番号	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

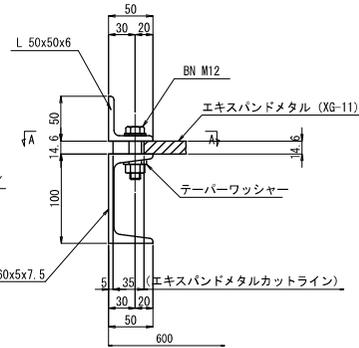
C5~C6 手すり詳細



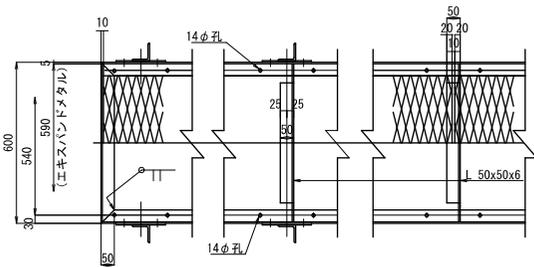
S1~C5, C6~S2 手すり詳細



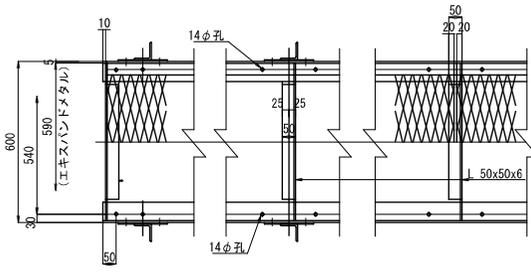
ボルト位置詳細 S=1:3



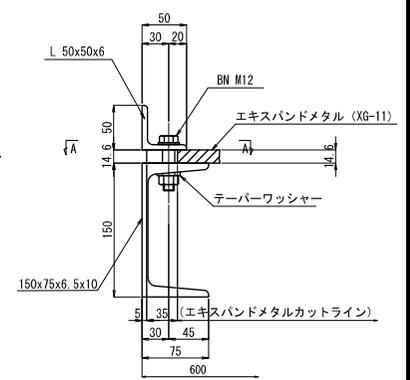
歩廊詳細



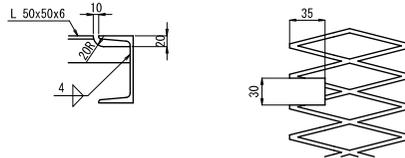
歩廊詳細



ボルト位置詳細 S=1:3



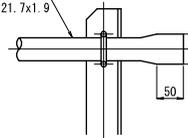
"a"部詳細 S=1:5 (ボルトとエキスパンドメタルが干渉する場合の切欠き)



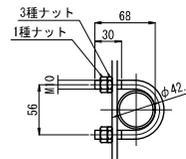
U. BOLT詳細 S=1:3

端部ズレ止め処理 S=1:5

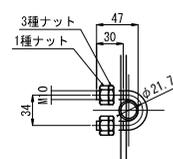
PIPE φ42.7x2.3
PIPE φ21.7x1.9



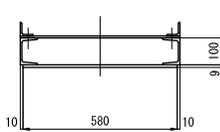
呼び 32C形
(φ42.7 PIPE用)



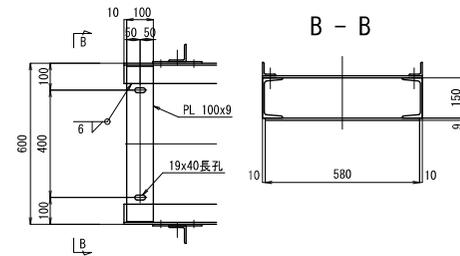
呼び 15C形
(φ21.7 PIPE用)



B - B



B - B



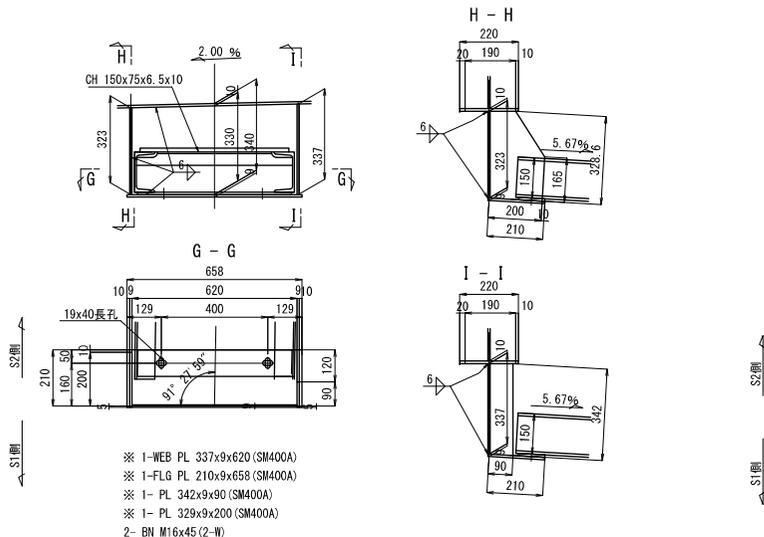
- 注記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
 - ※印を除く鋼材は、全て溶融亜鉛メッキとする。付着量を、JIS H8641 HDZT77とする。ただし、鋼材については、板厚5mm以上6mm未満の部材はHDZT70、板厚3mm以上5mm未満の部材はHDZT63、板厚2mm以上3mm未満の部材はHDZT56、板厚1mm以上2mm未満の部材およびボルト・ナット類はHDZT49とする。ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

Dランプ第3橋 上部工検査路(その5) S=1:10

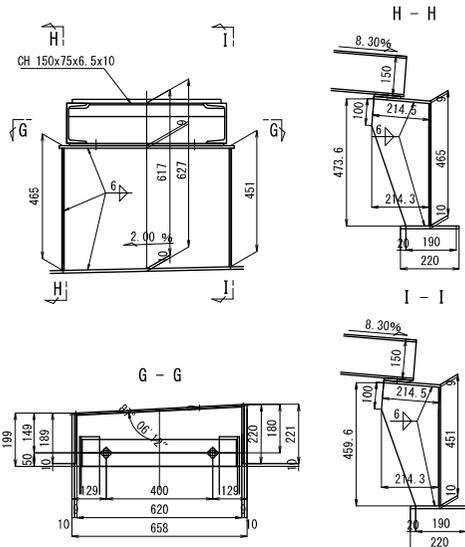
受け台詳細

工事名	広島高速5号線道路CT橋上部工事(2工区)		
図面番号	89 / 97	縮尺	1/10
図名	Dランプ第3橋 上部工検査路(その5)	番号	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

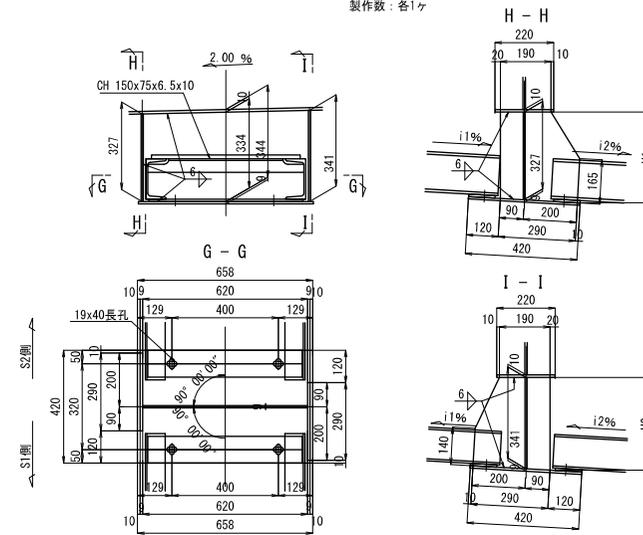
S1
製作数：1ヶ



S2
製作数：1ヶ

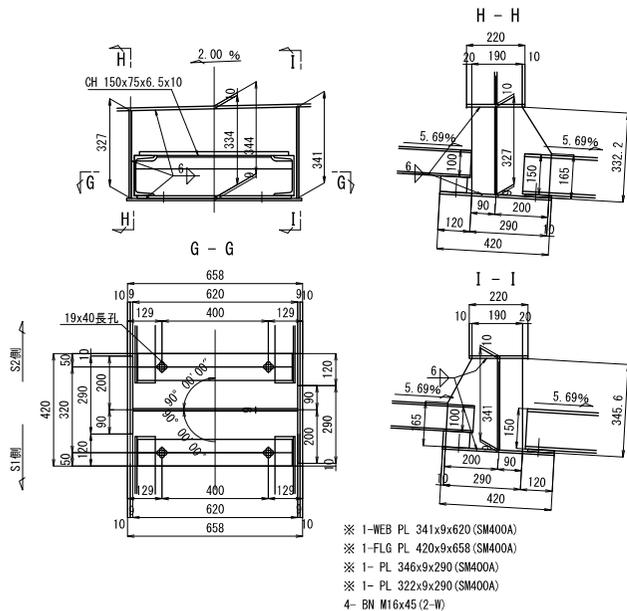


C1~C4, C7~C9
製作数：各1ヶ



	i2%	H1	H2	LL1	LL2
C1	5.67	338.34	346.1	338	346
C2	5.68	338.36	346.1	338	346
C3	5.68	338.36	346.1	338	346
C4	5.68	338.36	346.1	338	346
C7	3.89	334.78	344.5	335	345
C8	2.97	332.94	343.7	333	344
C9	2.04	331.08	342.8	331	343

C5
製作数：1ヶ



注記

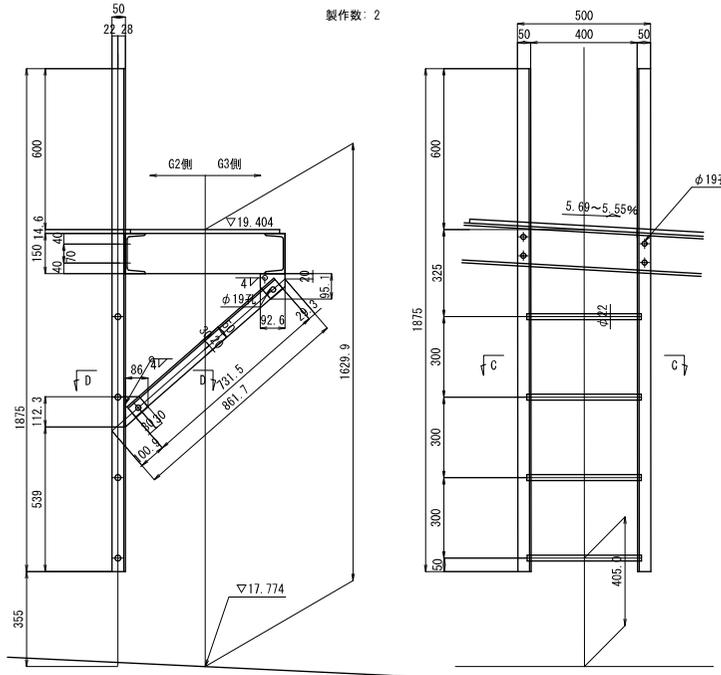
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
- ※印を除く鋼材は、全て溶融亜鉛メッキとする。ただし、鋼材については、板厚5mm以上6mm未満の部材はHDZ170板厚3mm以上5mm未満の部材はHDZ163板厚2mm以上3mm未満の部材はHDZ156板厚1mm以上2mm未満の部材およびボルト・ナット類はHDZ149とする。
- ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

Dランプ第3橋 上部工検査路(その7) S=1:10

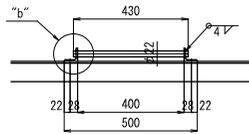
工事名	広島高速5号線広島JCT橋上部工事(2工区)		
図面番号	91 / 97	縮尺	1/10
図名	Dランプ第3橋 上部工検査路(その7)	番号	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

PA19昇降梯子詳細

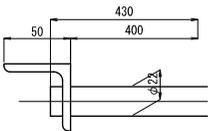
製作数: 2



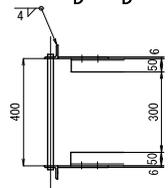
C - C



"b"部詳細 S=1:2



D - D

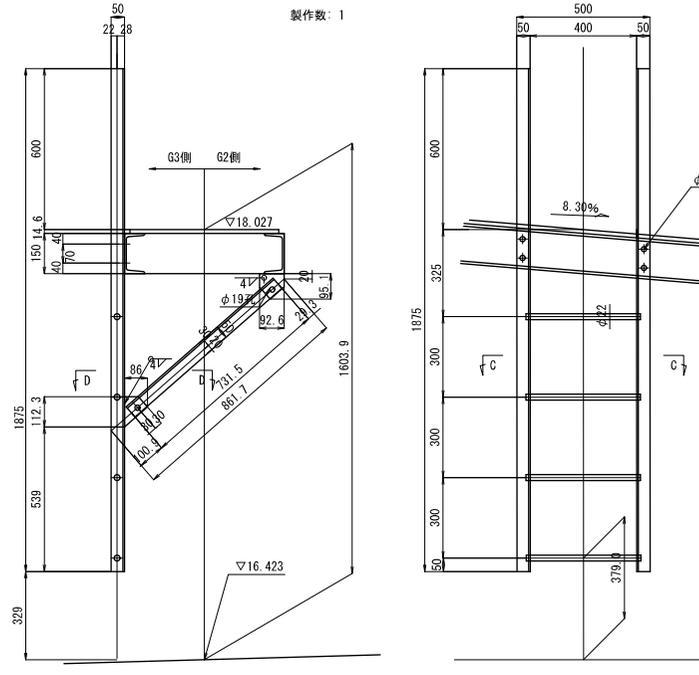


製作数: 2

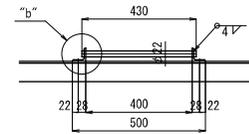
- 2-L 50x50x6x1875
- 4-RB ϕ 22x430
- 4-BN M16x40 (2-W)
- 2-L 50x50x6x732
- 2-PL 93x6x95 (SM400A)
- 2-PL 112x6x86 (SM400A)
- 4-BN M16x40 (2-W)

S2昇降梯子詳細

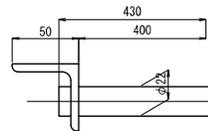
製作数: 1



C - C



"b"部詳細 S=1:2



製作数: 1

- 2-L 50x50x6x1875
- 4-RB ϕ 22x430
- 4-BN M16x40 (2-W)
- 2-L 50x50x6x732
- 2-PL 98x6x95 (SM400A)
- 2-PL 112x6x86 (SM400A)
- 4-BN M16x40 (2-W)

注記

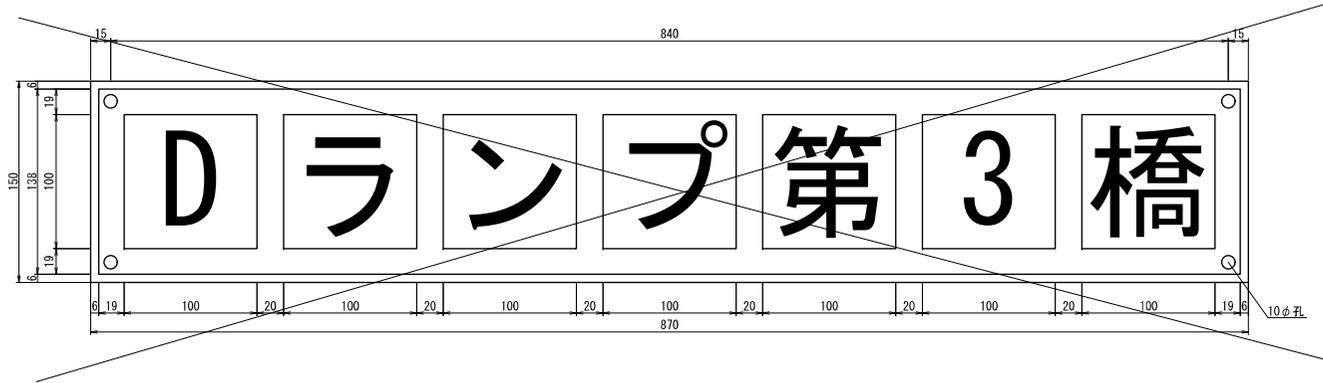
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て緩止めナットを使用すること。
3. ※印を除く鋼材は、全て溶融亜鉛メッキとする。ただし、鋼材については、板厚5mm以上6mm未満の部材はHDZ170、板厚3mm以上5mm未満の部材はHDZ163、板厚2mm以上3mm未満の部材はHDZ156、板厚1mm以上2mm未満の部材およびボルト・ナット類はHDZ149とする。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

Dランプ第3橋 橋歴板 S=1:2

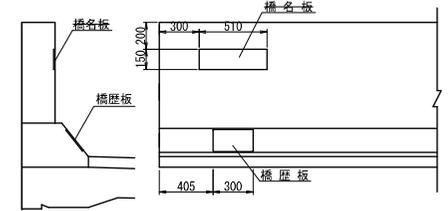
工事名	広島高速5号線道路JCT橋上部工事(2工区)		
図面番号	92 / 97	縮尺	1/2
図名	Dランプ第3橋 橋歴板	番号	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

注記

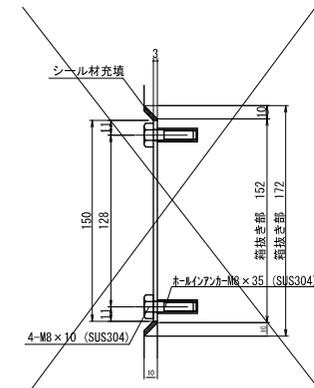
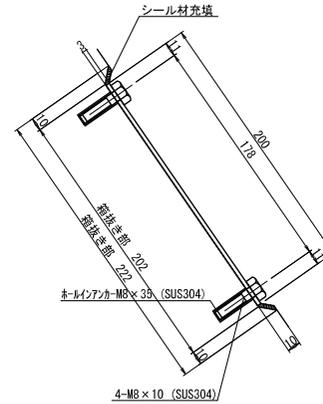
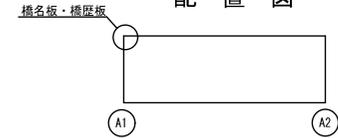
1. 橋歴板の材質は、青銅鋳物 (BC6) とする。
2. ベースプレートの材質は、SM400A とする。
3. 取付ボルトは、丸小ねじ (C2700W) とする。
4. 文字は丸ゴシックとする。
5. 文字輪郭部は、5ミリの浮出しとし、浮出し部は、パフ仕上げとする。
6. 地肌は黒色エナメル焼付けとする。



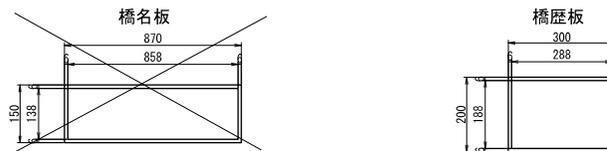
橋名板・橋歴板設置位置図



配置図



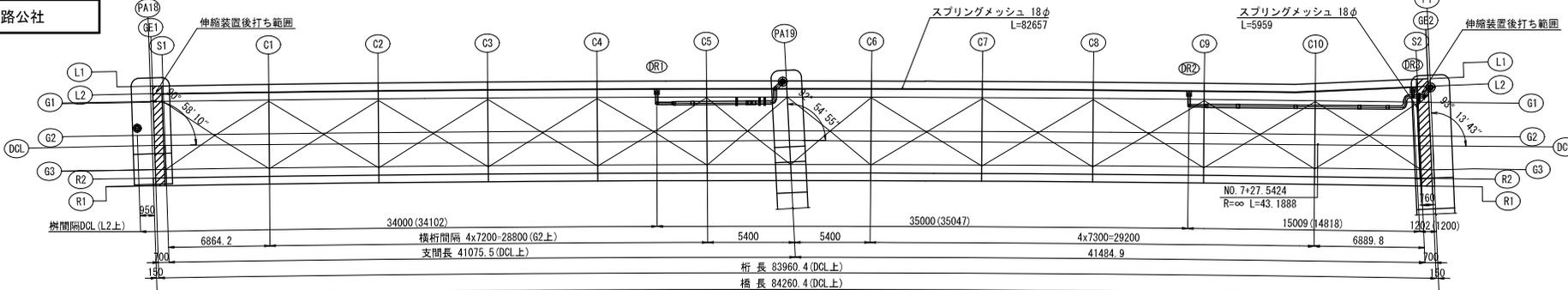
箱抜き正面図



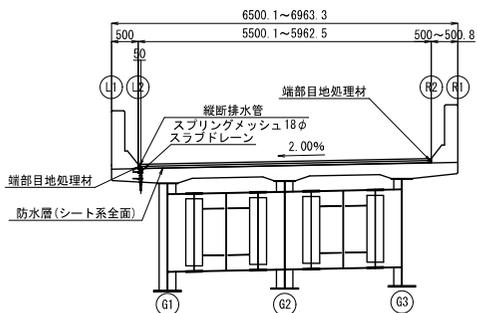
Dランプ第3橋 橋面排水工(その1) S=1:150

工事名	広島高速5号線品川CT橋上部工事(2工区)		
図面番号	93 / 97	縮尺	1/150
図名	Dランプ第3橋 橋面排水工(その1)	番号	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

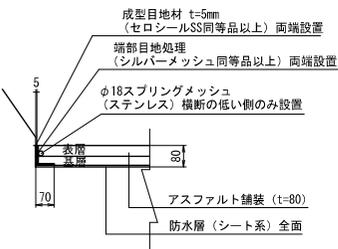
平面図



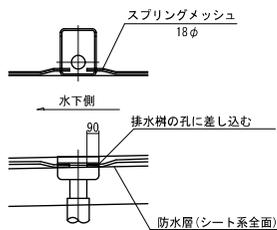
断面図 1:50



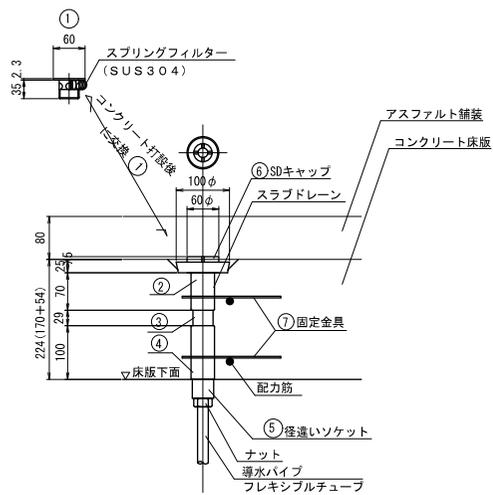
防水層詳細図 S=1:10



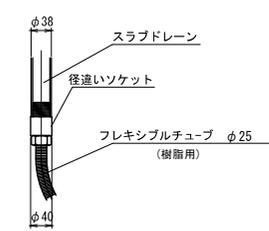
排水柵と縦断排水管の取合 S=1:20



スラブドレン詳細 S=1:5



スラブドレン・フレキシブルチューブ連結部詳細図 S=1:5



⑦ スラブドレン固定金具 S=1:5



⑤ 径違いソケット



材料表

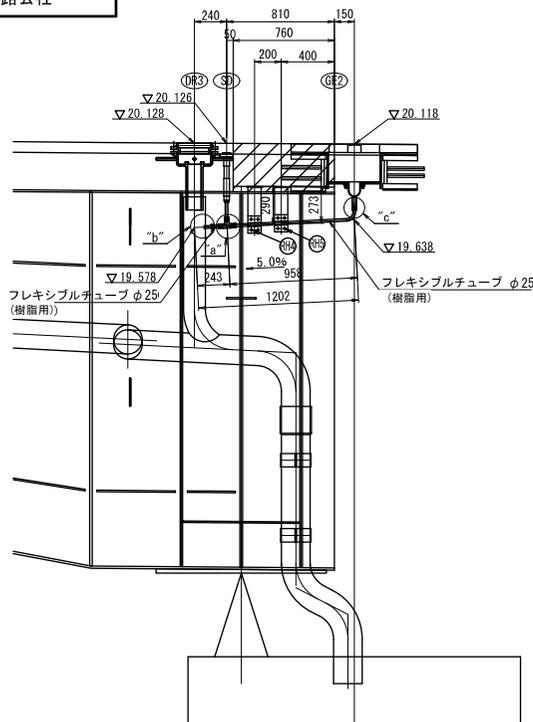
部品名	寸法	備考
① 本体構成部品	Φ34.0x8x35	鋼管(垂鉛メッキ仕上げ)キャップ付き(2.3t x Φ60)
② 本体構成部品	Φ42.7x6x70	鋼管(垂鉛メッキ仕上げ)
③ 本体構成部品	Φ34.0x8x29	鋼管(垂鉛メッキ仕上げ)
④ 本体構成部品	Φ42.7x6x100	鋼管(垂鉛メッキ仕上げ)
⑤ 本体構成部品	Φ40.0x11.5x80	樹脂製
⑥ SDキャップ	Φ100x45	樹脂製
⑦ 固定金具	Φ6(Φ44リング状)	普通鉄線
導水パイプ	φ25	フレキシブルチューブ(樹脂用)

名称	規格	単位	数量	備考
アスファルト舗装面積		m ²	456.063	
防水層		m ²	456.063	
端部目地処理		m	176.635	
成型目地材		m	176.635	
スプリングメッシュ	φ18	m	88.516	ステンレス 82.557+5.959
フレキシブルチューブ	φ25	m	1.200	樹脂用 0.070+0.120+1.010
スラブドレン		個	1	
ソケット		個	1	
固定金具		個	2	
支持金具		個	2	

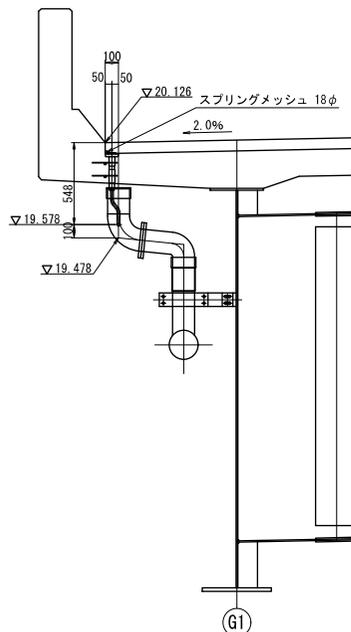
Dランプ第3橋 橋面排水工(その2) S=1:20

工事名	広島高速5号線道路JCT橋上部分工事(2工区)		
図面番号	94 / 97	縮尺	1/20
図名	Dランプ第3橋 橋面排水工(その2)	番号	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

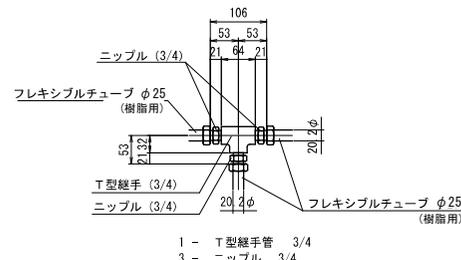
側面図



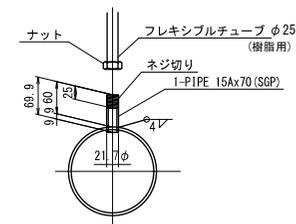
正面図



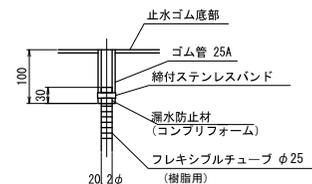
"a"部詳細 S=1:5



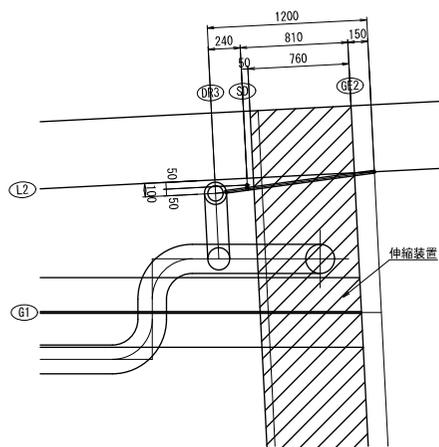
"b"部詳細 S=1:5



"c"部詳細 S=1:5

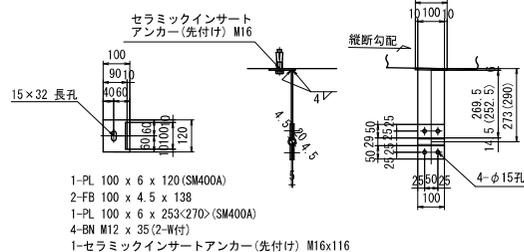


平面図



支持金具詳細 1:10

RH4, RH5 製作数: 各1



注記

- 特記なき材質は全てSS400とする。
- ※印以外は、全て溶融亜鉛メッキを施す。付着量を、JIS H8641 HDZT77とする。ただし、鋼材については、板厚5mm以上6mm未満の部材はHDZT70 板厚3mm以上5mm未満の部材はHDZT63 板厚2mm以上3mm未満の部材はHDZT56 板厚1mm以上2mm未満の部材およびボルト・ナット類はHDZT49とする。

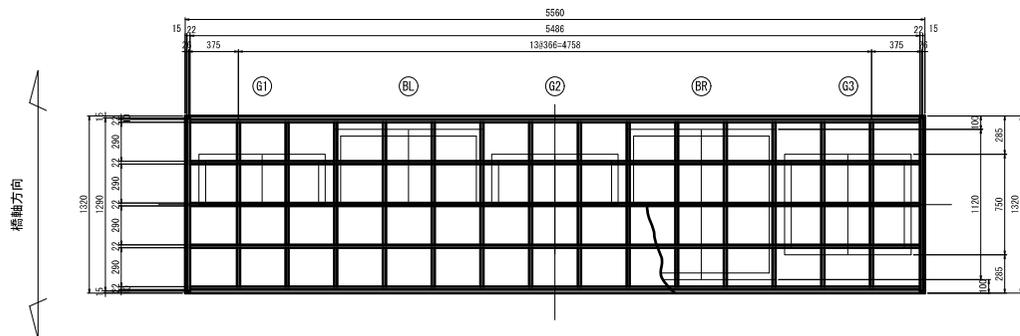
Dランプ第3橋 沓座構造図(その1) S=1:20

工事名	広島高速5号線品川CT橋上部工事(2工区)		
図面番号	95 / 97	縮尺	1/20
図名	Dランプ第3橋 沓座構造図(その1)	番号	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

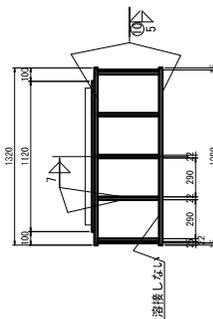
PA18橋脚

鋼製台座

平面図

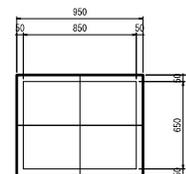


側面図

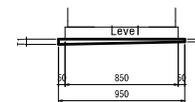
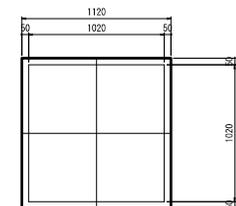


沓座プレート

荷重支持支承
(G1, G2, G3)

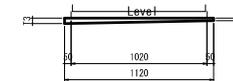


バッファ
(BL, BR)



1-BED PL 750 x tx 950

	T1	T2	t
G1	39	21	41
G2	49	31	51
G3	41	23	43

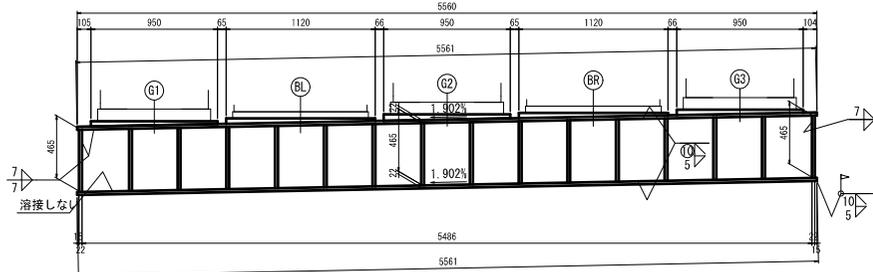


1-BED PL 1120 x tx 1120

	T3	T4	t
BL	41	19	43
BR	41	19	43

Dランプ第3橋

正面図



- 製作数: 1基
 2 - BED PL 5561 x 22x 1320
 2 - R1B PL 1290 x 22x 465
 5 - R1B PL 5486 x 22x 465
 56- R1B PL 290 x 22x 465

Dランプ第3橋 脊座構造図(その2) S=1:20

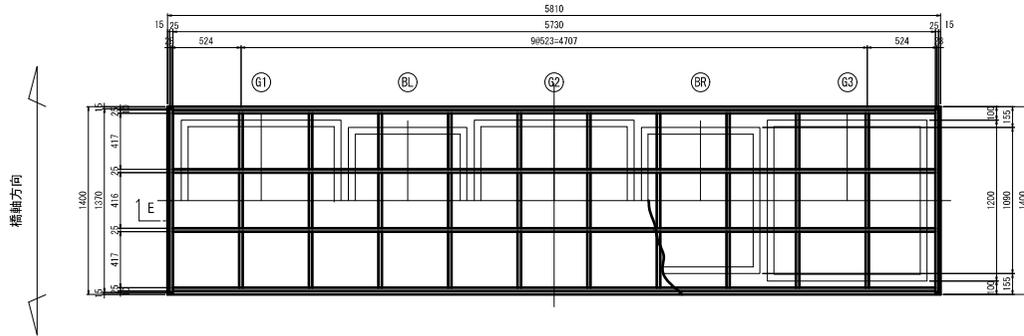
工事名	広島高速5号線品川CT橋上部工事(2工区)		
図面番号	96 / 97	縮尺	1/20
図名	Dランプ第3橋 脊座構造図(その2)	番	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

PA19橋脚

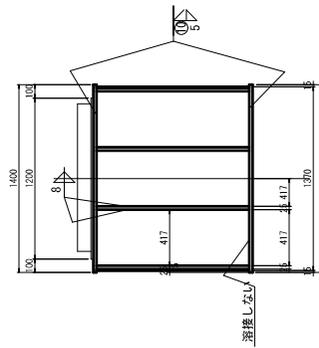
鋼製台座

脊座プレート

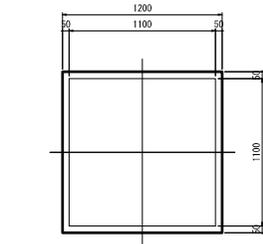
平面図



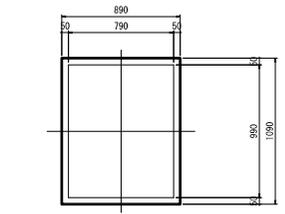
側面図



荷重支持支承
(G1, G2, G3)

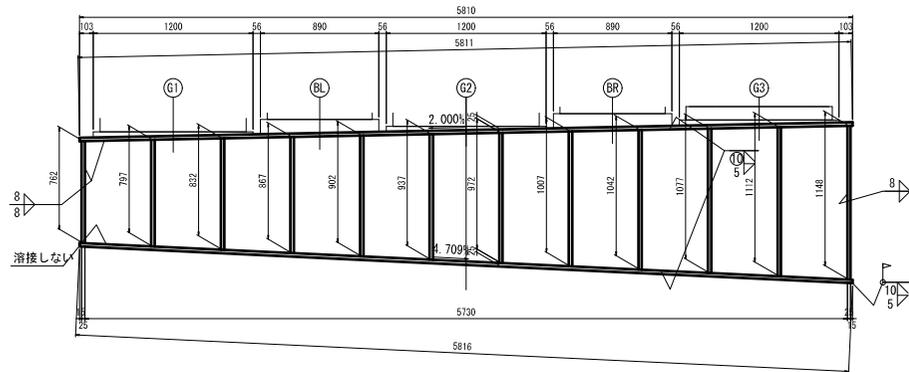


バッファー
(BL, BR)



Dランプ第3橋

正面図



- 製作数 : 1基
- 1 - BED PL 5811 x 25x 1400
 - 1 - BED PL 5816 x 25x 1400
 - 1 - RIB PL 1370 x 25x 762
 - 1 - RIB PL 1370 x 25x 1148
 - 4 - RIB PL 5730 x 25x 1148
 - 2 - RIB PL 417 x 25x 797
 - 1 - RIB PL 416 x 25x 797
 - 2 - RIB PL 417 x 25x 832
 - 1 - RIB PL 416 x 25x 832
 - 2 - RIB PL 417 x 25x 867
 - 1 - RIB PL 416 x 25x 867
 - 2 - RIB PL 417 x 25x 902
 - 1 - RIB PL 416 x 25x 902
 - 2 - RIB PL 417 x 25x 937
 - 1 - RIB PL 416 x 25x 937
 - 2 - RIB PL 417 x 25x 972
 - 1 - RIB PL 416 x 25x 972
 - 2 - RIB PL 417 x 25x 1007
 - 1 - RIB PL 416 x 25x 1007
 - 2 - RIB PL 417 x 25x 1042
 - 1 - RIB PL 416 x 25x 1042
 - 2 - RIB PL 417 x 25x 1077
 - 1 - RIB PL 416 x 25x 1077
 - 2 - RIB PL 417 x 25x 1110
 - 1 - RIB PL 416 x 25x 1110

1-BED PL 1200 x tx 1200

	T1	T2	t
G1	42	18	44
G2	42	18	44
G3	42	18	44

1-BED PL 890 x tx 1090

	T3	T4	t
BL	108	90	110
BR	108	90	110

Dランプ第3橋 沓座構造図(その3) S=1:20

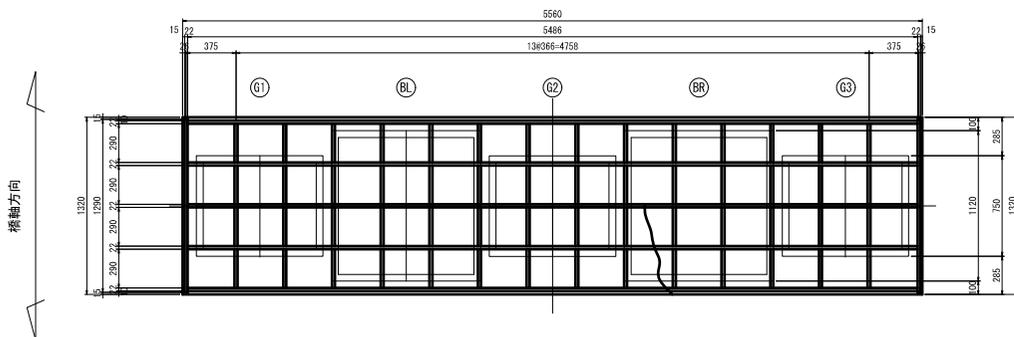
工事名	広島高速5号線道路JCT橋上工(2工区)		
図面番号	97 / 97	縮尺	1/20
図名	Dランプ第3橋 沓座構造図(その3)	番号	-
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

PA19橋脚

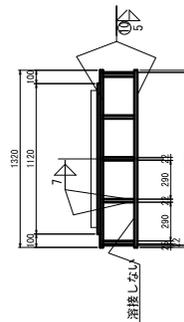
鋼製台座

沓座プレート

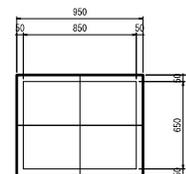
平面図



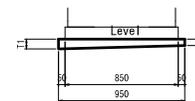
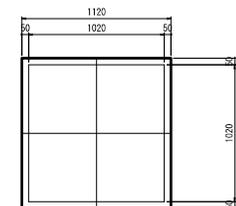
側面図



荷重支持支承
(G1, G2, G3)

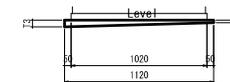


バッファー
(BL, BR)



1-BED PL 750 x tx 950

	T1	T2	t
G1	14	47	76
G2	64	38	66
G3	38	11	40

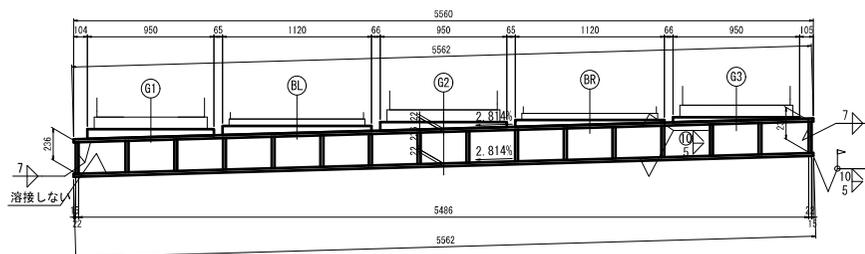


1-BED PL 1120 x tx 1120

	T3	T4	t
BL	69	37	71
BR	50	19	52

Dランプ第3橋

正面図



製作数: 1基
 2 - BED PL 5562 x 22x 1320
 2 - RIB PL 1290 x 22x 236
 5 - RIB PL 5486 x 22x 236
 56 - RIB PL 290 x 22x 236